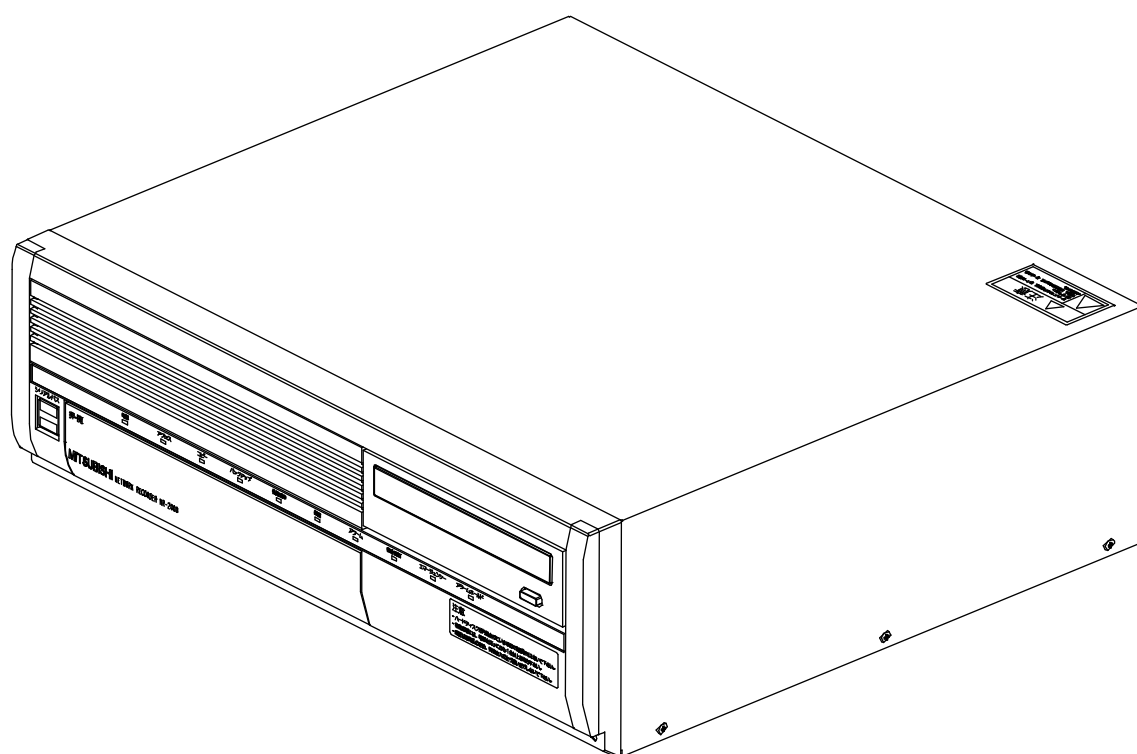
MITSUBISHI

ネットワークレコーダー

形名

NR-2000/2010/2020

取扱説明書/保証書

このたびは三菱ネットワークレコーダーをお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用になる前に、正しく安全にお使い頂くため、この取扱説明書を必ずお読みください。
そのあと大切に保管し、必要なときにお読みください。
保証書は、この取扱説明書の裏表紙についていますので、お買い上げ販売店の記入をお受けください。

本書に記載の内容は、予告なく仕様の変更、改廃を行なう場合があります。

この取扱説明書は再生紙を使用しております。

U871Z172001B
2009 年 3 月作成
SM-Y7923B

［もくじ］

:操作上の参考にしてください。
操作上、参考にしていただきたい情報を記載しています。

:お気をつけください。
操作上、気をつけていただきたい情報を記載しています。

参考 ⇨ :参照頁をご覧ください。
参照項目と頁数を記載しています。

1. 安全のために必ずお守りください

ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり、正しくご使用してください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる場所に保管してください。

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重症などの重大な結果に結びつく可能性があるもの。	**注意** 誤った取扱いをしたときに、障害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

■ 図記号の意味は次の通りです。

絶対に行なわないでください	絶対に分解・修理はしないでください	絶対に触れないでください
必ず指示に従い、行ってください	必ず電源プラグをコンセントから抜いてください	
絶対に水にぬらさないでください	絶対にぬれた手で触れないでください	

警告

ローカルイ プラグを抜く	**万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜く** 異常のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。

	工事・修理は販売店に依頼する 工事・修理には技術と経験が必要であり、お客様自身で行うと、火災、感電、けが、故障の原因になります。 必ず販売店にご依頼ください。	禁止	**不安定な場所には置かない** ソファーや椅子、ぐらついた台の上や傾いた場所などに置くと、落ちたり倒れたりして、けがの原因になります。
使用禁止	**煙が出ている、変なにおいがするなど、異常が生じたときは、電源プラグをすぐ抜く** 異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を切ったあと電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。	使用禁止	**落としたり、キャビネット(天板)を破損したりした場合は使わない** 火災や感電の原因になります。

電源プラグが、すぐ抜ける場所	**電源プラグを、コンセントからすぐに抜くことができる場所に設置する** 異常発生時、電源プラグをコンセントからすぐに抜くことができないと、火災の原因になります。	水ぬれ禁止	**水で濡らさない** 火災や感電の原因となります。雨天、降雪中、水辺、窓辺での使用は特に注意してください。
禁止	**内部に異物を入れない** 通風口や排気口から金属や燃えやすいものなどが入ると、火災や感電の原因となります。	禁止	**通風口、排気口をふさがない** ●風通しの悪い狭い場所に置かない ●じゅうたんや布団の上に置かない ●テーブルクロスなどをかけない 通風口、排気口をふさぐと、故障の原因となったり、正常に動作しないことがあります。
付属の電源コード	**付属の AC 電源コードを使用し、アース端子つきのコンセントにつなぐ** 性能低下や火災の原因となりますので、かならず付属の AC 電源コードをご使用してください。アース端子は安全のための接地アースです。コンセントにアース端子がない場合は、アース工事を販売店にご依頼ください。電源プラグのアース端子をガス管・水道管・避雷針などに絶対に取り付けないでください。	交流 100V	**正しい電源電圧(交流 100V)で使うまた、配線器具の定格電流を超えない** 交流 100V 以外の電圧で使用した場合や配線器具の定格電流を超えて使用すると、火災や感電の原因となります。また、たこ足配線はしないでください。
禁止	**AC 電源コードを傷つけない** ●重いものをのせない ●引っ張らない ●ねじらない ●無理に曲げない ●加熱しない ●加工しない ●束ねない コードに傷がつくと、火災や感電、故障の原因となります。AC 電源コードの芯線が露出したり断線したりするなど、コードが痛んだときは、すぐに販売店に修理をご依頼ください。	接触禁止	**雷が鳴り出したら本体および電源プラグには触れない** 感電の原因になります。
水ぬれ禁止	**花びんやコップ、植木鉢、小さな金属物などを上に置かない** 内部に水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。	禁止	**ポリ袋で遊ばない** 幼児の手の届くところに置くと、頭からかぶるなどしたときに口や鼻をふさぎ、窒息し死亡する恐れがあります。
分解禁止	**キャビネット(天板)をはずしたり、改造しない** 内部には電圧の高い部品があり、触れると感電の原因となります。 また、改造するとショートや発熱により、火災や感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は、販売店にご依頼ください。		

⚠注意

設置禁止	**設置場所は、次のような場所に置かない** ●湿気やほこりの多い場所●油煙や湯気などが当たる場所●直射日光の当たる場所●熱器具の近く●閉め切った自動車内など、高温になるところ●製氷倉庫など、低温になるところ●自動車内など振動が多いところ●温泉地など、硫化水素などのガスが発生するところ●海岸近くなど、塩分の多いところ このような場所に置くと、ショートや発熱、AC 電源コードの皮膜が溶けるなどにより、火災や感電、故障、変形の原因となることがあります。
禁止	**立てた状態で置かない、電源をいれない** 故障の原因になります。
禁止	**本レコーダーの上に重いものを置かない、本レコーダーの上にのらない** バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。
内部清掃	**定期的に内部の掃除を依頼する** 内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となる場合があります。内部清掃については、販売店にご相談してください。
ぬれ手禁止	**濡れた手で電源プラグを抜き差ししない** 感電の原因となることがあります。
プラグを持つ	**電源プラグを持って抜く** AC 電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。
ほこりを取る	**電源プラグのほこりなどは定期的に取り、差込みの具合を点検する** ほこりがつくなどで、コンセントへの差込みが不完全な場合は、火災や感電の原因となることがあります。
禁止	**段積みはしない** 本レコーダーやその他の接続機器を、複数台段積みしないでください。故障の原因となることがあります。

禁止	**接続したまま本レコーダーを移動させない** AC 電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。電源が入った状態で移動させると内蔵 HDD を破損させる恐れがあります。AC 電源コードや接続コードをはずしたことを確認し、1 分以上たったあとで移動させてください。
禁止	**強い磁気を持っているものを近づけない** 映像に悪い影響を与えたり、記録が損なわれることがあります。
プラグを抜く	**長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いておく**
プラグを抜く	**お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行なう** 感電の原因となる場合があります。
日本専用	**本レコーダーは国内専用です。** 放送方式、電源電圧の異なる海外では使用できません。また、海外でのアフターサービスもできません。
	定期的な吸排気口のお掃除を 吸排気口の目詰まりを定期的に点検、掃除してください。目詰まりにより装置が正常に作動しないことがあります。
すきまをあける	**まわりに 15cm 以上隙間をあける（特に後面）** 内部に熱がこもり、火災の原因となります。放熱をよくするために、他の機器から離して設置してください。
禁止	**国外での使用禁止** 本レコーダーを使用できるのは日本国内のみです。外国では使えません。 This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.
禁止	**ゴム足を取外さない** ゴム足を取外さないでください。故障の原因となることがあります。

安全上のご注意

動作電源の確認　装置後面の AC 電源コード差込み口に AC100V を入力してください。
電源コードを外部の AC コンセントに接続する場合には電圧の確認をしてください。

接地　電気ショックから人体を守るために、必ず付属の電源コードをアース端子つきコンセントに差込み、ケーブルを通して接地してください。

設置上の注意　高温、多湿の場所や、ごみ、ほこり等の多い場所は避けてください。
また、水は絶対かからないようにしてください。

使用上のご注意

配線時に本体内部に配線くずなどの異物が入らないように注意してください。
キャビネット(天板)等をはずして、ユニット内のプリント基板、部品は触らないようにしてください。
故障の原因となります。

マウス操作について

- 高速でマウスボタンを押した場合、押したように見えても入力されない、又は、画面表示が乱れる場合があります。ボタンはゆっくりと押してください。

ハードディスク(HDD)について

- 本レコーダーは、精密機器である HDD を搭載しております。本レコーダーの取扱いには、十分ご注意ください。
- 本レコーダーに振動や衝撃を与えないでください。特に通電中や HDD へのアクセス中は、故障の原因となりますので十分ご注意ください。
- 記録・再生の動作中または通電中に、電源プラグを抜かないでください。
- 本レコーダーは、記録運用中に HDD 等に軽微な故障が発生した場合、自動復帰で記録運用を継続するシステムを搭載しておりますが、故障の早期発見のため、1 年ごとに点検を依頼されることをお勧めします。
- 本レコーダーの電源を切ってから少なくとも 1 分間は移動させないでください。

DVD-R/RW ドライブについて

- 本レコーダーは、レーザー規格(IEC60825-1,EN60825-1)“クラス 1 レーザー機器”に分類される DVD-R/RW ドライブを搭載しています。
- 本レコーダーで記録した映像・音声データのみコピーができます。
- 市販の映画ソフトや本レコーダー以外の機器で記録されたデータは再生できません。
- 次のようなディスクは使わないでください。
  紙やシールなどを貼ったり、傷がついたディスク
  ラベルがはがれていたり、のりがはみ出しているディスク
  ひび割れ、変形、接着剤などで補修したディスク
- DVD-R/RW ドライブを分解及び改造をしないでください。感電の原因になります。
  また、ディスクトレイが開いた状態で、内部のレーザー光線を直視すると視覚障害を起こす恐れがあります。内部を覗きこまないでください。修理・点検・交換作業を行なう販売店や作業者においても分解及び改造をしないでください。

設置場所の移動

- 移動させるときは、必ず装置後面にある MAIN スイッチを OFF にし、完全に停止したことを確認後、電源プラグをコンセントから抜いてください。通電中に過度な衝撃を与えると、機器内部の電子部品や HDD を傷めることがあります。特に電源ランプまたはアクセスランプの点滅中はご注意ください。
- 移動させるときは、内部に衝撃を与えないように緩衝材などで包んでください。

大切な記録の場合

- 必ず事前にテスト記録を行い、正常に記録されていることを確認してください。
- 本レコーダーを使用中、本レコーダーもしくは接続機器等の不具合により、記録されなかったり正常に再生できなくなったりした場合、その内容の補償について責任は負えません。
- 万一の故障や事故に備えて、大切な記録の場合は定期的にバックアップをとられることをお勧めします。

コピーについて

・　コピーには、CD-RW を使用しないでください。

［推奨メディア］

動作確認済みのディスクについて

弊社では、以下のディスクについて動作確認をいたしましたので、ご購入ならびにご使用の参考にしてください。

DVD ディスク	メーカ名	型番	備考
DVD-R(8x)	ソニー株式会社(SONY)	20DMR12HPSS	8 倍速ビデオ用
	三菱化学メディア株式会社(MITSUBISHI)	DHR47HR10	8 倍速データ用
	TDK 株式会社(TDK)	DR120DPWB30PS	8 倍速ビデオ用
	日立マクセル株式会社(maxell)	DR120WPB.20SP A	8 倍速ビデオ用

注意点

・上記の情報は2008年11月時点のものです。製造メーカの都合により、予告なく生産中止になる場合があります。最新の情報や上記以外のディスクによる動作状況につきましては、販売店にご確認ください。

・上記の動作確認済みディスクは、本機の動作やコピーしたデータの保証をするものではありません。なお、使用するメディアによっては、ドライブとの相性により、データのコピーに失敗することがあります。

2. ご注意

本書に記載した内容は、予告なしに変更することがあります。

本書に記載した内容は、商品性や特定の目的に対する適合性を保証するものではなく、当社はそれらに関して責任を負いません。また、本書の記載の誤り、あるいは本書の配布、内容、利用にともなって生じる偶発的、結果的損害に関して責任を負いません。

本書の内容は、著作権によって保護されています。本書の一部または全部を書面により事前の許可なくして複写、転載、翻訳することは禁止されています。

お買い求めいただいた機種と本書に記載されているイラストが異なる場合がありますので、ご了承ください。

Microsoft、MS、MS-DOS、Microsoft Windows 95、Microsoft Windows 98、Microsoft windows NT、Microsoft Windows 2000 および Microsoft Windows XP は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

その他引用された会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

3. 特長

MELOOKμシステムは、高解像度(SXVGA)の映像を記録し配信できることが最大の特長です。

また、MELOOKμカメラは NR-2000/2010/2020(以下、本レコーダーと記載します)に直結され、三菱独自伝送方式の採用により本レコーダー側で最高画質のライブ監視が可能となります。

また、カメラ駆動電源やカメラ制御機能は本レコーダーに内蔵し、簡単な設置作業や操作性が可能となり、これらによってシステム全体は、本レコーダーと MELOOKμカメラのみで極めてシンプルに構成されるため、トータルコストでは従来のアナログシステムを上回る低コスト化を実現します。

さらに MELOOKμカメラと本レコーダーとの間に専用の延長アダプタを 100m 毎に接続することにより、最大 500m の延長が可能です。また、増設 HDD ユニットにより、レコーダー内部の HDD(NR-2000:250GB×2 台、NR-2010:500GB×2 台、NR-2020:1TB×2 台)と合わせ最大約 9TB の記録容量を持つことができます。

このほか、ネットワークを通じて、従来の DIGITAL MELOOK ネットワークカメラに接続したり、遠隔 PC と通信したりすることも可能です。

(1) 高解像度(SXVGA)映像記録
最大 30fps/8 系統の高解像度映像記録が可能です。
アラーム記録として高解像度の静止画保存が可能です。(将来拡張予定)

(2) IP設定不要の簡単設定
MELOOKμカメラは、レコーダー直結ですぐ動作します。
なお、DIGITAL MELOOKネットワークカメラをご使用の場合は、IPの設定が必要となりますので、販売店にご相談してください。

(3) カメラ駆動電源、カメラコントロール機能
カメラ電源やコントロール機能は、レコーダーに内蔵されています。

(4) シリアルバスによる拡張性
シリアルバス(USB)により HDD の増設が可能です。

(5) コピー機能
DVD-R/RW,CD-R,USB メモリへの録画映像のコピーが可能です。

(6) 最高画質でライブ画像の描画表示
最大 16 分割画面でライブ及び再生表示が可能です。

(7) 音声記録
MELOOKμカメラ(NC-2000)搭載のマイクからの音声を記録可能です。(最大 1ch)

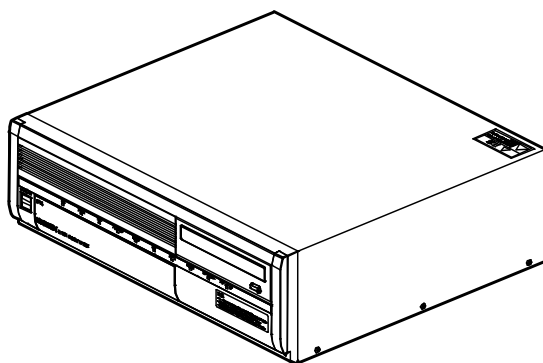
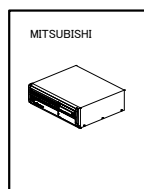
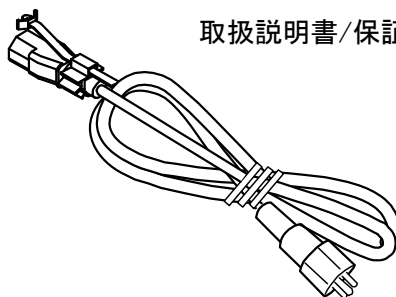
(8) 暗号秘匿
本レコーダーは、暗号化技術「Brouillard」を搭載しています。

➡ Brouillard(ブルイヤール):三菱電機が開発した、機器組込み用高性能暗号化アルゴリズムで映像データの暗号化などをリアルタイムに高速処理することができます。

(9) 通信機能
遠隔地からレコーダーの状態やライブ・再生映像の確認が可能です。

4. 製品構成

同梱

1. ネットワークレコーダー(本体) ……………………………………………… 1 台
2. AC 電源コード(3 極、抜け防止クランパー付き) …………………………… 1 本
3. 取扱説明書/保証書 …………………………………………………………… 1 冊
4. ケーブルクランパー …………………………………………………………… 1 個

(!) マウス、モニタは同梱されていません。市販の USB 対応マウスおよび SXGA 対応モニタ購入の上、ご使用してください。

5. 仕様

映像	入力	MELOOKμカメラ×8 系統(下記 A もしくは B) A） SXVGA(1280×960),15fps B） VGA(640×480),30fps
	入力カメラ台数	MELOOKμカメラ　最大 8 台
	出力	RGB 出力(SXGA：1280×1024)×1 系統
音声	入力	G.711(μ-Law)信号×8 系統
	出力	アナログ出力×1 系統
記録	記録媒体	内蔵 HDD　NR-2000:250GB×2 台,NR-2010:500GB×2 台,NR-2020:1TB×2 台
	記録符号化方式	A)映像　　動　画：M-JPEG 静止画：JPEG B)音声(1 系統のみ)　G.711(μ-Law)
	画質レベル調整	5 段階　(符号化圧縮率)
	記録レート	A)SXVGA(1280×960)　最大 30fps/全 8 系統 B)VGA(640×480)　　最大 120fps/全 8 系統
	記録サイズ変換	SXVGA→SXVGA 又は VGA,VGA→VGA
	記録モード	ノーマル記録,アラーム記録,エマージェンシー記録
	記録運用	通常,ミラーリング
	プログラム記録	独立 16 プログラム×1 セット 日時設定：毎日・任意曜日・特定日指定,動作指定：カメラ毎の設定が可能です。
	ミラーリング記録	内蔵 HDD のみで S/W によるミラーリング動作を行います。
	リピート記録	記録容量が最大になった場合,古い記録部分から上書き記録を実行します。
再生	再生モード	通常再生,早送り(最大:8 倍速),早戻し(最大:8 倍速),逆再生,一時停止 ちょっと前再生,ライブ中再生
	検索機能	アラーム検索,タイムデート検索
表示	画面分割数	単画面,4 画面,9 画面,10 画面,13 画面,16 画面
	表示モード	ライブ表示,再生表示,ライブ中再生表示,シーケンス表示
	メニュー	GUI
	言語表示	日本語
	情報表示	現在時刻,再生時刻,カメラ名称,故障履歴,操作履歴 記録先頭,終端の時刻表示
	部分拡大	単画面ライブ又は再生表示を×2(面積比 4 倍),×4(面積比 16 倍)で拡大表示
	表示レート	A)ライブ　(A)SXVGA　15fps/1～16 画面 (B)VGA　　30fps/1 画面,15fps/4～16 画面 B)再生　(A)SXVGA　最大　15fps/1 画面,最大　30fps/8 画面 (B)VGA　　最大　30fps/1 画面,最大 120fps/16 画面
セキュリティ	パスワード	ログイン時のパスワードにより,操作範囲を 3 段階で管理します。
	暗号化	映像データ記録の暗号化,設置時の暗号処理 ON/OFF 設定が可能です。
CPU		CeleronD 352　3.2GHz
OS		Windows XP Embedded
内蔵ストレージ	HDD	S-ATA HDD(NR-2000:250GB,NR-2010:500GB,NR-2020:1TB)×2 台
	DVD	S-ATA DVD ドライブメディア：DVD-R/RW,CD-R
	CF	コンパクトフラッシュ(1GB)×1 枚
メインメモリ		DDR2-SDRAM 512MB×2 枚
電源電圧/周波数		AC100V±10V　50Hz/60Hz±2Hz
定格電流		4A 以下(400W 以下)(最大カメラ 8 台接続時)
動作温度範囲		5℃～40℃
動作湿度範囲		20%～80%(結露なきこと)
保管温度範囲		-20℃～60℃
塗装色		パールホワイト
外形寸法		425(W)×132.5(H)×375(D)mm(ゴム足及び突起物除く)
質量		15kg以下

(!) 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

6. 使用許諾

6.1. ソフトウェア使用許諾契約書

本使用許諾契約書は、ネットワークレコーダー「NR-2000/2010/2020」(以下、「本レコーダー」といいます)にインストールされているソフトウェア(以下、「本プログラム」といいます)の使用許諾条件を規定するものです。
お客様が本使用許諾契約のすべての条項を十分ご理解の上、すべての条項に同意される場合にのみ使用が可能です。

第 1 条(使用)

(1)お客様は、本使用許諾契約書に従って本製品を使用するためにのみ、本プログラムを使用することができます。

(2)お客様は、本製品の使用を含め、本プログラムを何らかの形でご使用された場合には、お客様は本使用許諾契約書に同意されたことになります。

第 2 条(制限)

(1)お客様は、本プログラムを複製、変更、解析、サブライセンス及び/又は領布することはできません。本使用許諾契約書に従わずに本プログラムを使用、複製、変更、解析、サブライセンス、領布する行為は、それ自体が無効であり、且つ、本使用許諾契約書がお客様に許諾している一切の権利を自動的に消滅させます。

第 3 条(非独占・譲渡不能)

(1)お客様に本使用許諾条件に基づき許諾される権利は、非独占的な権利です。また、お客様は、第三者に対し、本使用許諾条件に基づき許諾された権利を譲渡もしくは担保に供することなど他人の権利の目的とすることはできません。

第 4 条(保証及び免責)

(1)三菱電機は、仕様書に定めた指定環境にて使用された本プログラムが、仕様どおりに動作することを保証します。

(2)三菱電機は、本プログラムが、使用者の特定の使用目的に適合すること及び/又は有用であることについての保証はしません。

(3)三菱電機は、上記に加え、法律上の請求原因の如何を問わず、本プログラムの瑕疵、本プログラムの性能・品質・安全性及び技術上、経済上その他一切の事項(製造物責任を含みますが、これに限定されません。)について、責任を負いません。

(4)三菱電機はお客様が本契約に基づき許諾された権利を行使することにより生じたお客様及び/又は第三者の損害及び/又は第三者からお客様に対する請求に対して、法律上の請求原因の如何を問わず、一切の責任を負いません。

(5)三菱電機は、上記に加え、法律上の請求原因如何に拘わらず、本プログラムに関連する及び/又は起因する一切の直接、間接、特別損害その他一切の損害に関し、三菱電機の予見の有無を問わず、一切の責任を負いません。

(6)三菱電機は、本使用許諾契約書第 4 条規定が適法に認められることを前提として、お客様に権利を許諾しています。従いまして、本使用許諾契約書第 4 条規定の全部又は一部が認められない場合(例えば、ある国又は地域において法律によって三菱電機が保証範囲を制限することが認められない場合。但し、これに限定されません。)においては、直ちに且つ自動的に本使用許諾契約書は終了し、お客様に許諾された一切の権利は自動的に消滅します。この場合、本契約は締結時に遡り解除され、三菱電機はいかなる責任も負わず、また、かかる条件の下でのみ本契約終了までの期間に限り三菱電機が所有する著作権の使用者による侵害行為は免責されます。

第 5 条(著作権)

本プログラムの著作権は、三菱電機に帰属します。

(1)本使用許諾契約書に明示的にお客様に与えられていない権利は、すべて三菱電機に留保されます。

第 7 条(準拠法及び雑測)

本使用許諾契約書の準拠法は、日本法とします。

(1)お客様は、本プログラムを輸出し又は日本国外に持出す場合、又は日本国内で非住居者に開示もしくは提供する場合には、外国為替及び外国貿易法(以下「外為法」という)及びその関連法令、安全保障輸出管理に関する国際合意、国連決議及び武器輸出三原則を尊守するものとします。本プログラムが外為法に規制されない貨物・技術であっても、お客様は、大量破壊兵器等(核兵器、生物・化学兵器又はこれらを運搬するミサイル等)、通常兵器、または原子炉、原子力用タービン・発電気等の原子力に関連する用途には、いかなる態様であっても使用しないものとし、さらに、かかる用途に流用されることが予測されるまたはそのおそれがある場合には、間接、直接を問わず、本プログラムの提供を行わないものとします。

(2)本使用許諾契約書は、三菱電機の権限のある事業所長以上の者が署名した文書による場合を除き、変更することはできません。

6.2. マイクロソフト・エンドユーザー使用許諾契約書(EULA)

お客様は、Microsoft Corporation の関連会社(「MS」)から三菱電機株式会社(「三菱電機」)に使用許諾されているソフトウェアを組み入れたデバイス(「本デバイス」)を購入されています。MS 製のこれらインストールされているソフトウェア製品は、付属の媒体、印刷物及び「オンライン」の又は電子的ドキュメンテーションとともに(「本ソフトウェア」)、国際的な知的所有権法及び条約によって保護されています。製造業者、MS 及びそのサプライヤ(Microsoft Corporation を含む)が、本ソフトウェアの権原、著作権及びその他の知的財産権を所有しています。本ソフトウェアは仕様許諾されるものであって、販売されるものではありません。全権留保。

本ソフトウェアが真正であり、本ソフトウェアに真正な「出所に関する証明書」が同梱されている場合に限って、本エンドユーザー使用許諾契約書は有効であり、エンドユーザーに権利を許諾するものです。お客様のソフトウェアが真正なものであるかを確認するための詳細な情報は、http://www.microsoft.com/piracy/howtotell をご覧ください。

お客様が、この「エンドユーザー使用許諾契約書」(「EULA」)に同意されない場合には、本デバイスを使用し又は本ソフトウェアを複製しないでください。代わりに、返金を受けるため、未使用のデバイスの返品方法についての指示を仰ぐため三菱電機に速やかに連絡してください。これに限定されませんが、本デバイスの使用を含め、本ソフトウェアを何らかのかたちでご使用された場合には、お客様は EULA に同意(又は以前の同意を追認)されたことになります。

ソフトウェアライセンスの許諾　本 EULA は、お客様に、本ソフトウェアに対する以下の権利を許諾するものです。

- お客様は、本ソフトウェアを本デバイス上でのみ使用できます。

- **機能制限**　お客様は、三菱電機がそのために設計し、販売する本デバイスの限定的機能(特定のタスク又はプロセス)を提供するためにのみ、本ソフトウェアを使用することが許諾されます。本ライセンスは、本デバイス上でその他のソフトウェアプログラムもしくは機能を使用すること、又は、限定的機能を直接的にサポートしていない追加ソフトウェアプログラムもしくは機能を本デバイスに組み込むこと一切を、明示的に禁じるものです。前記規定にかかわらず、お客様は、本デバイスに、本デバイスの管理、性能拡張及び/又は予防的な保守の目的に限り、システムユーティリティ、リソースマネジメント又は同様なソフトウェアをインストールし又は有効にすることができます。

- 仮にお客様が、本デバイスを Microsoft Windows Server 製品(例:Microsoft Windows Server 2003)にアクセスし又はそれらのサービスもしくは機能を利用するために使用し、あるいは本デバイスを、ワークステーション又はコンピューティングデバイスに Microsoft Windows Server 製品にアクセスさせ又はそれらによるサービスもしくは機能を利用させるために使用する場合には、お客様には、本デバイス及び/又はかかるワークステーションあるいはコンピューティングデバイスについて、クライントアクセスライセンスを取得していただく必要が生ずることがあります。詳細は、お客様のご使用中の Microsoft Windows Server 製品のエンドユーザー使用許諾契約書をご覧ください。

- **対障害性機能がないこと**　本ソフトウェアは対障害性機能がありません。三菱電機が独自に、本デバイス上での本ソフトウェアの使用法について決定しており、MS、は本ソフトウェアがかかる使用に適しているかを判定するために十分なテストを三菱電機が行なっているものと信頼しています。

- **ソフトウェアに係る保証の排除**　本ソフトウェアは、「現状」で、すべての欠陥とともに提供されます。満足のいく品質、性能、正確性及び作業に関するリスクのすべて(過失の不存在を含む)は、お客様が負担されます。また、本ソフトウェアのお客様の利用が妨げられない保証又は第三者の権利を侵害していないとの保証はありません。お客様が、本デバイス又は本ソフトウェアに関する何らかの保証を既に受領されている場合にも、これらの保証は MS に由来するものではなく、MS を拘束するものではありません。

- **ある種の損害賠償についての免責**　法律により禁じられている場合を除き、MS は、本ソフトウェアの使用又は性能に起因する又はこれに関連する一切の間接的、特別の、派生的又は付随的損害賠償につき何らかの責任も負わないものとします。かかる制限は、何れかの救済方法につきその本質的な目的が達成できなくなる場合であっても、適用されるものとします。いかなる場合も、MS は、二百五十米ドル(U.S.＄250.00)を超える金額については、一切、責任を負わないものとします。

- **使用制限**　本ソフトウェアは、本ソフトウェアに誤作動があった場合に、デバイスもしくはシステムのオペレータその他に、障害もしくは死亡といった予見可能な危険をもたらす結果となるような、各施設の稼動、航空機のナビゲーション又は通信システム、飛行管制、又はその他のデバイスもしくはシステムといった、フェイルセイフ機能を必要とする危険な環境で使用し又は再販売されるものとして設計されておらず、またこのように使用、再販売することを意図してもおりません。

- **リバースエンジニアリング、逆コンパイル及び逆アセンブルの制限**　お客様は、本ソフトウェアをリバースエンジニアリング、逆コンパイル又は逆アセンブルすることはできません。但し、本制限にかかわらず、かかる行為が準拠法により明示的に認められている場合には、その範囲に限ってこの限りではありません。

- **デバイスのコンポーネントとしてのソフトウェアー移転**　本ソフトウェアを、同時に、異なったコンピュータで共有し、移転し又は使用することはできません。本ソフトウェアは、単一の統合された製品としての本デバイスとともに使用許諾されるものであり、本デバイスとともにのみ使用することができます。仮に本ソフトウェアが本デバイスに伴われていない場合には、お客様は、本ソフトウェアを使用することはできません。お客様は、本デバイスの永久的な売却又は譲渡の一環としてのみ、本 EULA に基づく権利を永久的に譲渡することができます。但し、お客様は、この場合、ソフトウェアの複写/複製を一切、留保してはなりません。本ソフトウェアがグレードアップされている場合には、本ソフトウェアの以前のバージョンも共に譲渡しなければなりません。本譲渡には、「出所に関する証明書」のラベルも含めなければなりません。本譲渡は、物品の委託のような不完全な譲渡であってはなりません。譲渡の前に、本ソフトウェアを受領するエンドユーザーは、EULA の全ての条件に同意しなければなりません。

- **データの使用の同意**　お客様は MS、Microsoft Corporation 又はそれらの関連会社が、本ソフトウェアに関連する製品サポートサービスの一環として、何れかの態様で技術情報を収集し、これを使用することができることに同意されるものとします。MS、Microsoft Corporation 又はそれらの関連会社は、その製品を改善し又はお客様にカスタマイズされたサービス又はテクノロジをご提供する目的でのみ本情報を使用することができます。MS、Microsoft Corporation 又はそれらの関連会社は、この情報を第三者に開示することができますが、但しお客様を個人的に特定できないかたちによるものとします。

- **インターネットゲーム/アップデート機能**　本ソフトウェアが、本ソフトウェア内にインターネットゲーム又はアップデート機能を提供するものであり、またはお客様がこれを利用されることを選択された場合には、この機能を実装するために、一定のコンピュータシステム、ハードウェア及びソフトウェア情報を使用することが必要になります。これらの機能を使用することにより、お客様は MS、Microsoft Corporation 及び/又はその指定する代理人が、もっぱらその製品を改良するため、又はお客様にカスタマイズされたサービスもしくは技術をご提供する目的でのみ、この情報を使用することを明示的に承諾されたこととします。MS 又は Microsoft Corporation は、この情報を第三者に開示することができますが、但し、お客様を個人的に特定できないかたちによるものとします。

- **インターネットベースのサービスコンポーネント**　本ソフトウェアは、ある種のインターネットベースのサービスの使用を可能にし、容易にするコンポーネントを含んでいることがあります。お客様は MS、Microsoft Corporation 又はそれらの関連会社が、お客様が利用されている本ソフトウェアを含んでいることがあります。お客様は、MS、Microsoft Corporation 又はそれらの関連会社が、お客様が利用されている本ソフトウェアのバージョン及び/又はそのコンポーネントを自動的に確認できること、また本ソフトウェアのアップグレード又はサプリメントを提供して、お客様の本デバイスに自動的にダウンロードすることができることを了承し、これに同意されているものとします。
Microsoft Corporation 又はそれらの関連会社は、お客様を個人的に特定するため又はお客様に連絡をとるために使用できる何らかの情報を収集するため、これらの機能を使用しません。これらの機能の詳細については、
http://go.microsoft.com/fwlink/?linkId=25243 の「プライバシーに関する声明」をご覧ください。

- **サードパーティサイトへのリンク**　本ソフトウェアを使用されることにより、お客様が、サードパーティサイトにリンクされることがあります。このサードパーティサイトは、MS 又は、Microsoft Corporation が管理しておらず、MS 又は、Microsoft Corporation は、かかるサードパーティサイトのコンテンツ、サードパーティサイトに含まれるいかなるリンク、又はサードパーティサイトのいかなる変更もしくはアップデートにも責任を負いません。MS 又は、Microsoft Corporation は、いかなるサードパーティのサイトからのウェブキャスティング又はそこから受け取るいかなる形式の伝送にも責任を負いません。MS 又は、Microsoft Corporation はお客様の便宜のためにのみ、これらのサードパーティサイトへのリンクを提供しているもので、何れかのリンクを含めていることをもって、MS 又は、Microsoft Corporation が、かかるサードパーティサイトを後援していると解してはなりません。

- **セキュリティに関する通知**　セキュリティ破り及び悪意のあるソフトウェアから保護するために、お客様のデータとシステム情報を定期的にバックアップし、またファイアーウォール等のセキュリティ機能を使用し、セキュリティアップデートをインストールして使用してください。

- **レンタル/業務用ホスティングサービス禁止**　お客様は、本ソフトウェアをレンタル、リース、貸与してはならず、また本ソフトウェアを使用して業務用ホスティングサービスを提供してはなりません。

- **コンポーネントの分離**　本ソフトウェアは単一製品として使用許諾されています。そのコンポーネントパーツを、複数のコンピュータで使用するために分離することはできません。

- **追加ソフトウェア/サービス**　本 EULA は、お客様が本ソフトウェアを最初に入手された日から後に、お客様が三菱電機、MS、Microsoft Corporation 又はそれらの子会社から取得されることのある本ソフトウェアのアップデート、サプリメント、アドオンコンポーネント又は本ソフトウェアのインターネットベースのサービスコンポーネント(「補足コンポーネント」)に適用されます。但し、お客様が更新された条件を承諾し又はその他の契約が適用される場合はこの限りではありません。かかる補足コンポーネントとともに他の条件が提供されておらず、本補足コンポーネントがMS、Microsoft Corporation 又はそれらの子会社によりお客様に提供されている場合には、お客様は、本 EULA と同一の条件に基づき、かかる会社から使用許諾を受けます。但し(i)EULA の目的では、補足コンポーネントを提供する MS、Microsoft Corporation 又はそれらの子会社が、三菱電機に代わってかかる補足コンポーネントのライセンサーとなり、(ii)準拠法により認められる最大の範囲で、補足コンポーネント及び補足コンポーネントに関連するサポートサービス(もしあれば)は、すべての欠陥を伴った現状で提供されることを除きます。本ソフトウェアに関するその他のすべての保証の排除、障害の制限、下記に規定する特別規定及び/又はその他は、かかる補足コンポーネントに適用されます。MS、Microsoft Corporation 又はそれらの子会社は、本ソフトウェアの使用を通じてお客様に提供し又は利用されるインターネットベースのサービスを中止できる権利を留保します。

- **リカバリメディア**　本ソフトウェアが、個別の媒体で、三菱電機により提供され、「リカバリメディア」とラベルが貼付されている場合には、お客様が、本デバイスに当初よりインストールされていた本ソフトウェアを修復し又は再インストールするために限って、お客様は「リカバリメディア」を使用することができます。

- **バックアップコピー**　お客様は、本ソフトウェアのバックアップコピーを1部作成することができます。お客様は、バックアップコピーを、アーカイブ又は再インストール目的に限って使用することができます。本 EULA 又は現地の法律で明示的に規定されている場合を除き、お客様は、その他の場合に、本ソフトウェア付属の印刷物を含め、本ソフトウェアの複写/複製を行なうことはできません。お客様は、バックアップコピーを、他のユーザーに貸付け、レンタルし、貸与し、又はその他の方法で譲渡することはできません。

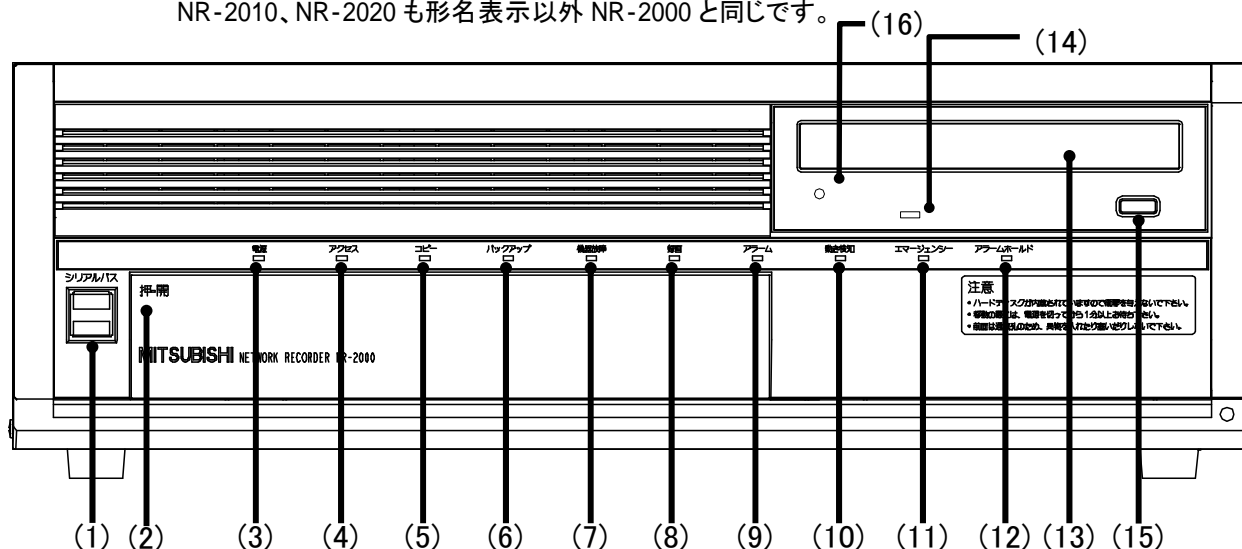
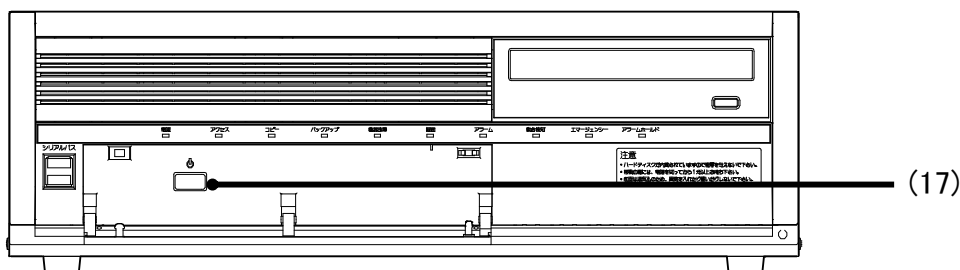
- **ライセンスのエンドユーザープルーフ**　本ソフトウェアを本デバイス上、又はコンパクトディスクもしくはその他の媒体で取得された場合には、真正なる本ソフトウェア 1 部に付随する真正な「ライセンスの証拠」/「出所に関する証明書」のラベルが、本ソフトウェアの使用許諾コピーであることを証明します。有効であるためには、本ラベルが本デバイスに貼付されているか、又は三菱電機のソフトウェアのパッケージに掲載していなければなりません。お客様が三菱電機以外からラベルを別途受け取られた場合には、それは、無効です。お客様が本ソフトウェアを使用できるライセンスを許諾されていることを証明するためには、お客様は、ラベルを本デバイス又はパッケージに貼付しておかなければなりません。

- **製品サポート**　本ソフトウェアの製品サポートは、MS、Microsoft Corporation 又はそれらの関連会社もしくは子会社によっては提供されておりません。製品サポートを必要とされる場合には、本デバイスのドキュメンテーションに記載されている三菱電機サポート係りの電話番号宛て、ご連絡ください。本 EULA に関してご不明な点がある場合、また理由のいかんを問わず三菱電機に連絡をとりたい場合には、本デバイスのドキュメンテーション記載の住所にお問い合わせください。

- **契約終了**　三菱電機は、その他のいかなる権利の制限を受けることなく、お客様がライセンス許諾条件を順守しない場合には、本 EULA を終了することができます。かかる場合には、お客様は、本ソフトウェア及びコンポーネント部分のすべてを破棄しなければなりません。

- **輸出規制**　お客様は、本ソフトウェアが、アメリカ合衆国及び欧州連合(EU)の輸出管理に服すことを了承されているものとします。お客様は、アメリカ合衆国及びその他の政府が発したエンドユーザー、最終使用目的及び仕向地に関する規制のみならず、アメリカ合衆国輸出管理規制を含め、これらの製品に適用されるすべての国際法及び国内法を遵守することに同意されるものとします。詳細については、http://www.microsoft.com/exporting/を参照してください。

7. 各部の名称と働き

■**本体前面部**：下図は、NR-2000/NR-2010/NR-2020 の前面部です。図は、形名表示 NR-2000 を示します。
NR-2010、NR-2020 も形名表示以外 NR-2000 と同じです。

■**本体前面部(ドア内部)**

(1)シリアルバスポート
シリアルバス端子を持つ機器に接続するための入力端子です。(2 ポート)

(2)ドア
ドアを開く場合、この位置を押してください。

(3)電源ランプ
後面部 MAIN スイッチが ON のときに電源ボタンを押すと、点灯し装置の電源が起動します。

(4)アクセスランプ
内蔵 HDD や外部接続機器にアクセスしているときに点滅します。

(5)コピーランプ
コピー動作中に点灯します。

(6)バックアップランプ
バックアップ動作中に点灯します。

(7)機器故障ランプ
機器が故障したことを検知して点灯します。

(8)録画ランプ
録画可能状態のときに点灯します。

(9)アラームランプ
アラームが発生したときに点灯します。

(10)動き検知ランプ
動き検知機能が動作中に点灯します。

(11)エマージェンシーランプ
エマージェンシー記録中に点灯します。

(12)アラームホールドランプ
アラームホールド中に点灯します。

(13)ディスクトレイ
記録データのコピーをとるためのDVDやCDを挿入します。

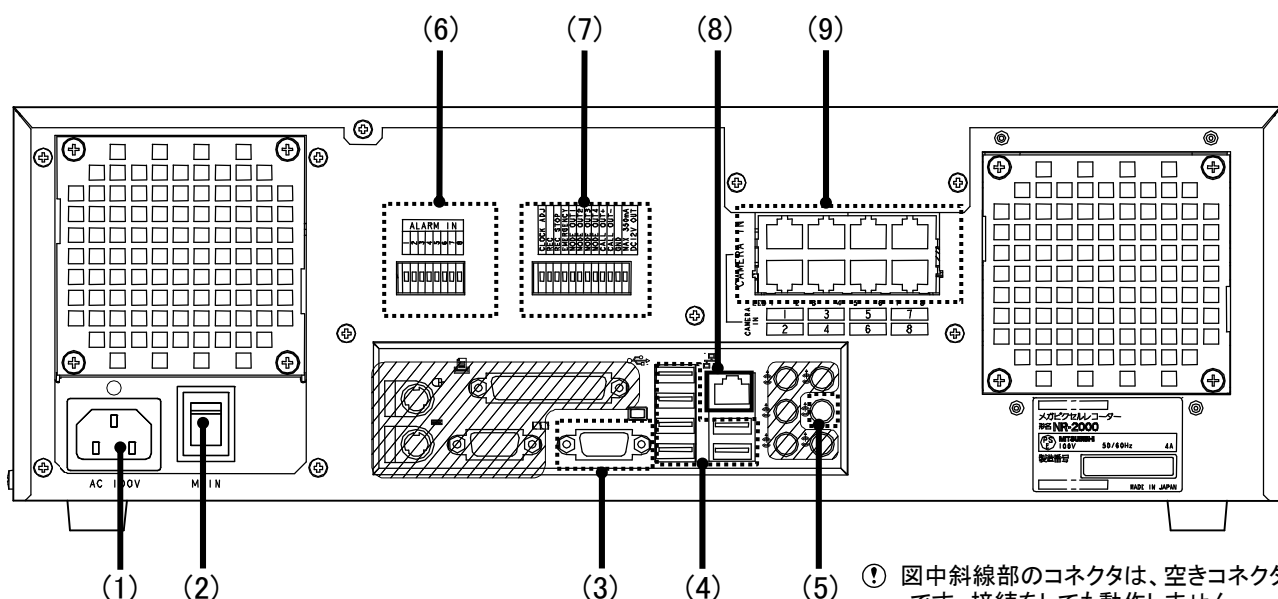
(14)BUSYランプ
DVDドライブ動作中に点灯または点滅します。

(15)開閉ボタン
ディスクトレイを開閉するときに押します。
(!) 記録メディアを挿入し画面上に認識されると、前面の開閉ボタンでは取り出しができません。デバイス設定画面で『取出し』ボタンを押して取り出してください。
参考 「10.1.10.デバイス設定」80 頁を参照してください。

(16)イジェクトホール
開閉ボタンを押してもディスクが取り出せなかったときに、緊急で使用します。
(!) 必ず電源を OFF にした状態で、クリップなどを差込んで強く押してください。

(17)電源ボタン
後面部の MAIN スイッチが ON のときに押すと電源が入ります。

■ **本体後面部**：下図は、NR-2000/NR-2010/NR-2020 の後面部です。図は、形名表示 NR-2000 を示します。
NR-2010、NR-2020 も形名表示以外 NR-2000 と同じです。

ⓘ 図中斜線部のコネクタは、空きコネクタです。接続をしても動作しません。

(1)AC 電源コード差込み口
付属の AC 電源コードを差込みます。

ⓘ アース端子は、安全のための接地アースです。
本レコーダーの AC 電源コードは必ずアース付きの AC100V のコンセントに差込んでください。

(2)MAIN スイッチ
主電源スイッチです。本レコーダーの起動時に ON にしてください。

ⓘ MAIN スイッチの ON/OFF は、30 秒以上の間隔をおいて実施してください。

(3)モニタ OUT 端子
SXGA 対応モニタに接続してください。

(4)シリアルバスポート
シリアルバス端子を持つ機器に接続するための入出力端子です。本レコーダーのバスパワーを使用した外部機器の電源制御機能は、使用しないでください。バスパワーは使用できません。本レコーダーでは、外付け HDD を接続し、記憶容量の拡張用として使用できます。

(5)音声用ミニジャック(AUDIO OUT)端子
ミニジャックピンの音声出力端子です。

(6)ALARM IN 端子
アラーム信号を入力するための端子です。

ⓘ 複数のアラーム信号（例：AIN2 から AIN4）が同時に入力された場合、番号の小さいアラーム信号（例：AIN2）のみが受け付けられます。なお、アラーム信号が受け付けられてから 1 秒間は、他のアラーム信号を受け付けることはできません。

(7)I/O 端子
①CLOCK ADJ 端子
時刻表示の時刻を合わせるための入力端子です。この端子に信号が入力されると「システム設定」の設定時刻で設定した時刻にリセットされます。

参考 「10.1.12時刻設定」84 頁を参照してください。

②REC 端子
記録を開始させるための入力端子です。

③REC STOP 端子
記録を停止させるための入力端子です。

④EMERGENCY 端子
強制的にエマージェンシー記録モードへ移行させるための入力端子です。

⑤MODE OUT 端子(1～4)
本レコーダーの状態を外部に伝えるための出力端子です。

⑥CALL OUT+/CALL OUT-端子
本レコーダーの障害を外部に知らせるための端子(アイソレーション端子)です。

⑦GND端子
共有のグランド端子です。

⑧DC 12V OUT 端子
直流電圧出力のための端子で、MAIN スイッチと電源ボタンが ON の場合にのみ出力します。最大電流は 350mA です。

(8)ネットワーク HUB 端子
DIGITAL MELOOK ネットワークカメラを接続するための端子です。

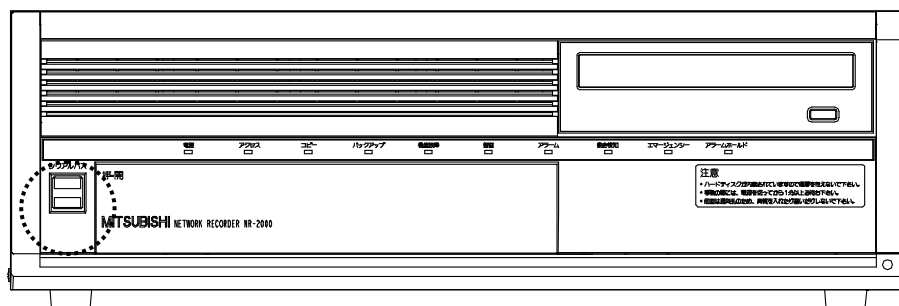
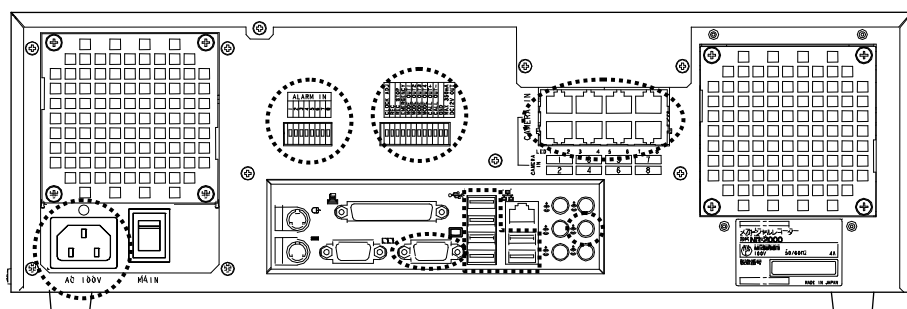
(9)カメラ端子
MELOOK μ カメラを接続するための端子です。

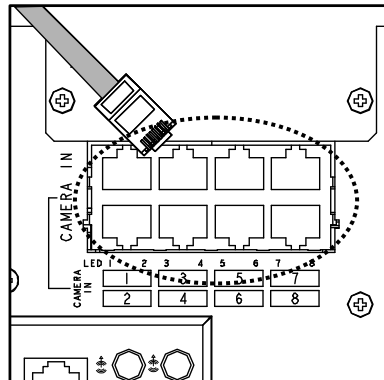
8. 接続のしかた

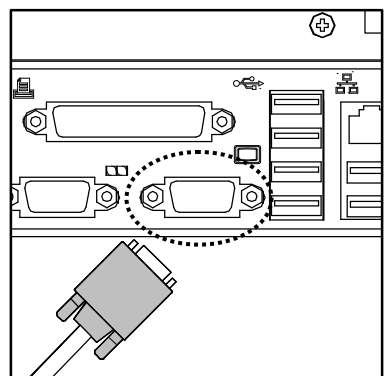
8.1. 全体の構成

- LAN ケーブルは、ギガビットイーサネット対応エンハンストカテゴリー5e 相当のケーブル、マウスは、USB 対応マウス、モニタは、SXGA 対応モニタをそれぞれお使いください。また、上図で指定した以外の機器は接続しないでください。
- 本レコーダーやその他の接続機器を、複数台段積みしないでください。故障の原因となることがあります。
- 動作確認しているスイッチング HUB は、「10.2.1.DIGITAL MELOOK ネットワークカメラの接続」87 頁を参照してください。

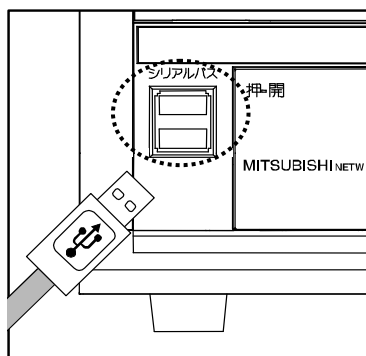
8.2. 各機器の接続のしかた

本レコーダーの電源を入れる前に接続をしてください。
下図は、NR-2000/NR-2010/NR-2020 の後面部です。図は、形名表示 NR-2000 を示します。
NR-2010、NR-2020 も形名表示以外 NR-2000 と同じです。

本体前面部

本体後面部

8.2.1. MELOOK μ カメラケーブルの接続

(1)MELOOK μ カメラからのケーブルを接続します。
　(差込む際はコネクタの向きを間違えないように確認します)
(2)「カチッ」と音がするまで、しっかりと奥まで差込みます。

8.2.2. モニタケーブルの接続

(1)モニタからのケーブルを接続します。(差込みの上下を確認します)
(2)抜けないように、しっかりと奥まで差込み、ネジを締め付けてください。

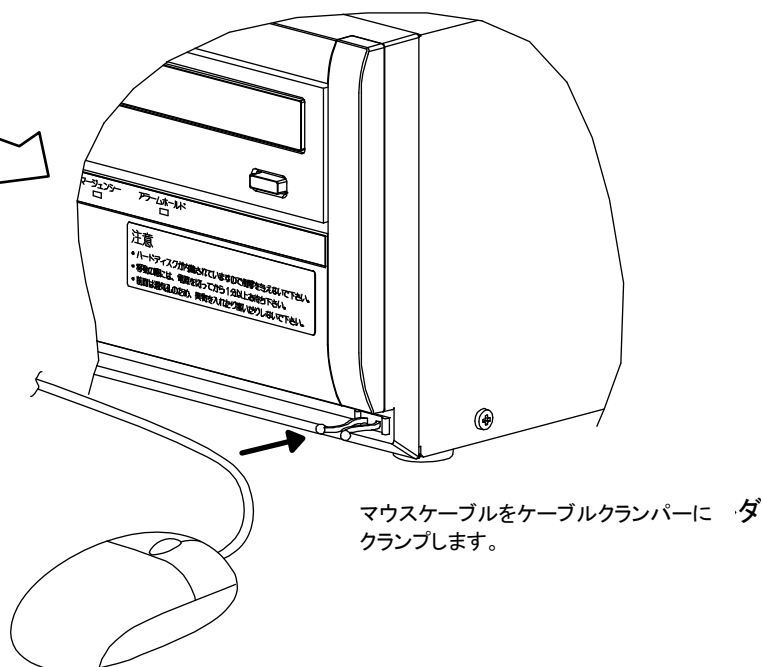
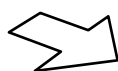
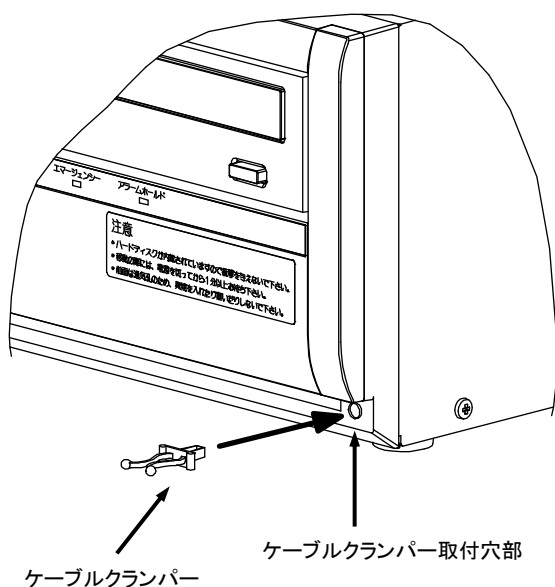
SXGA 対応モニタをご使用してください。

8.2.3. マウスの接続

(1)マウスの USB ケーブルを接続します。
(2)抜けないように、しっかりと奥まで差込みます。

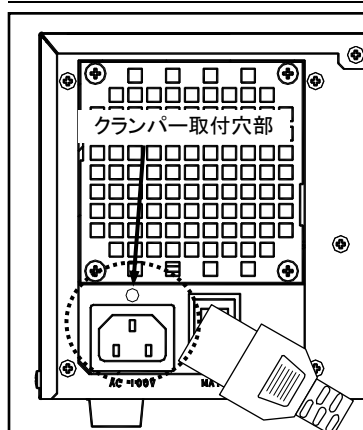
- マウスは、マイクロソフト製:Basic Optical Mouse V2.0 を動作確認しています。それ以外は、販売店にご相談してください。
- 必要に応じて下図を参考に、マウスケーブルの処理を行なってください。

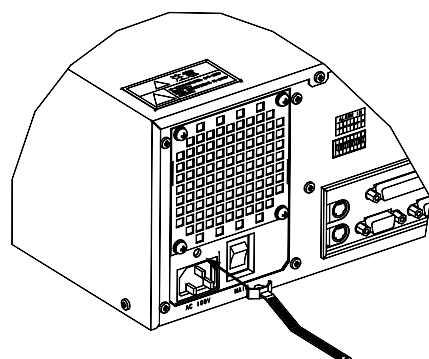
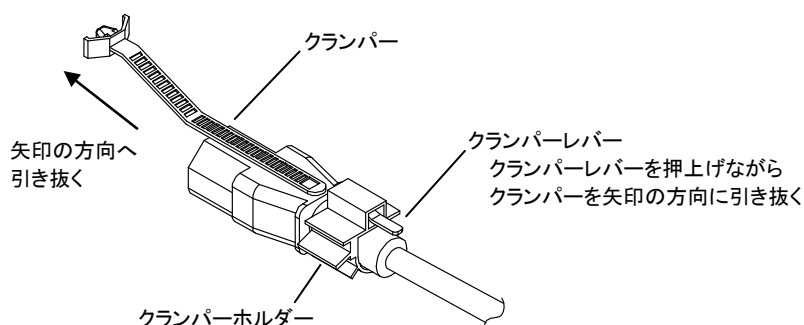
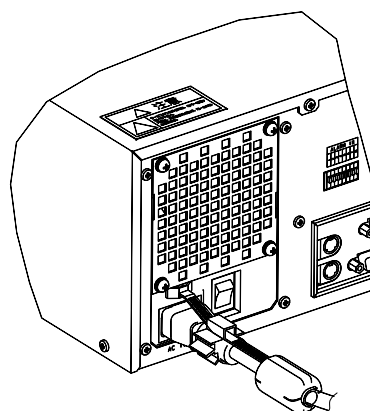
  ①ケーブルクランパーを本レコーダー側に取り付けます。
  ②マウスケーブルをケーブルクランパーにクランプし、マウスケーブルを処理します。

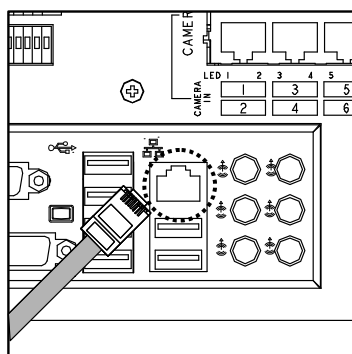
(!) ケーブルクランパーは、本体に同梱されています。

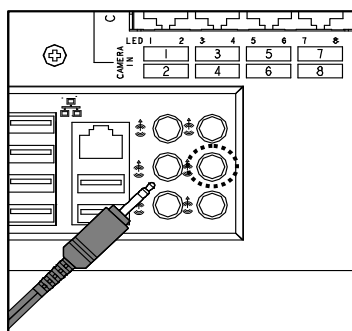
ケーブルクランパー取付穴部

ケーブルクランパー

マウスケーブルをケーブルクランパーに
クランプします。

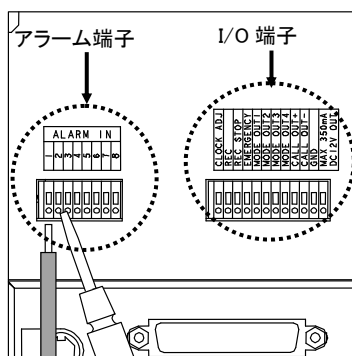
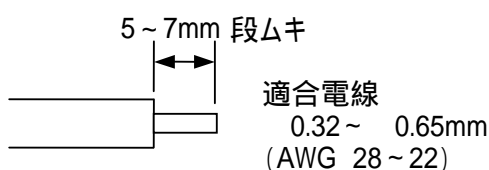
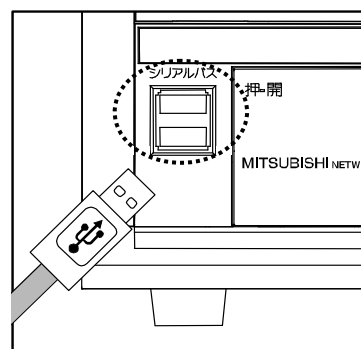
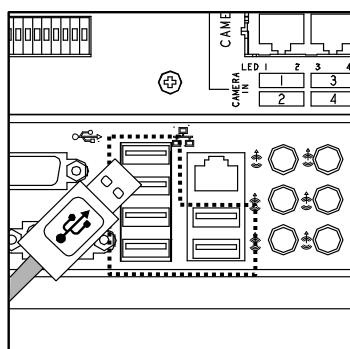
8.2.4.　AC電源コードの接続

(1)左図および下図を参考に AC 電源コードを接続します。
(2)クランパーを AC 電源コードに取り付けられているクランパーホルダーから引き抜きます。
(3)クランパーを本体側に取り付けます。
(4)AC 電源コードをしっかりと奥まで差込みます。このとき、クランパーをクランパーホルダーの穴部に差込み、AC 電源コードが脱落しないようにします。

(!) クランパーとクランパーホルダーは、AC 電源コードに装着して付属されています。

クランパーを本体の取付穴部に
挿入する

AC 電源コードを奥まで差込む。
このとき、クランパーをクランパーホルダー
の穴部に差込むこと

8.2.5. LANケーブルの接続(DIGITAL MELOOKネットワークカメラを使用するとき)

(1)LAN ケーブルを接続します。
(2)「カチッ」と音がするまで、しっかりと差込みます。

8.2.6. 音声用ミニジャック(AUDIO OUT)の接続(音声を使用するとき)

(1)音声用ミニジャックを接続します。
(2)抜けないようにしっかりと奥まで差込みます。

音声は、単画面と 4 画面で出力します。
DIGITAL MELOOK カメラを使用する場合は、最大の記録レートに
制限がありますので詳細については、販売店にご相談してください。

8.2.7. アラーム端子またはI/O端子の接続 (アラーム機能を使用するとき)

(1)アラーム機器接続のリード線を接続します。
(2)接続する端子部のボタンをマイナスドライバなどで押しながらリード線を
　差込みます。
(3)抜けないように、しっかりと奥まで差込みます。
　接続線の加工は、下図を参考にしてください。

8.2.8. USB機器の接続(コピー用USBメモリ、増設HDDユニット)

本体前面部

本体後面部

(1)機器の USB ケーブルもしくはコネクタを接続
　します。
(2)抜けないように、しっかりと奥まで差込みます。

USB メモリは、下記を動作確認しています。
BUFFALO：RUF,RUF2 シリーズ
I･O DATA：TB-ST シリーズ
それ以外は、販売店にご相談してください。
なお、セキュリティ対応の USB メモリは、動作
致しませんのでご注意ください。

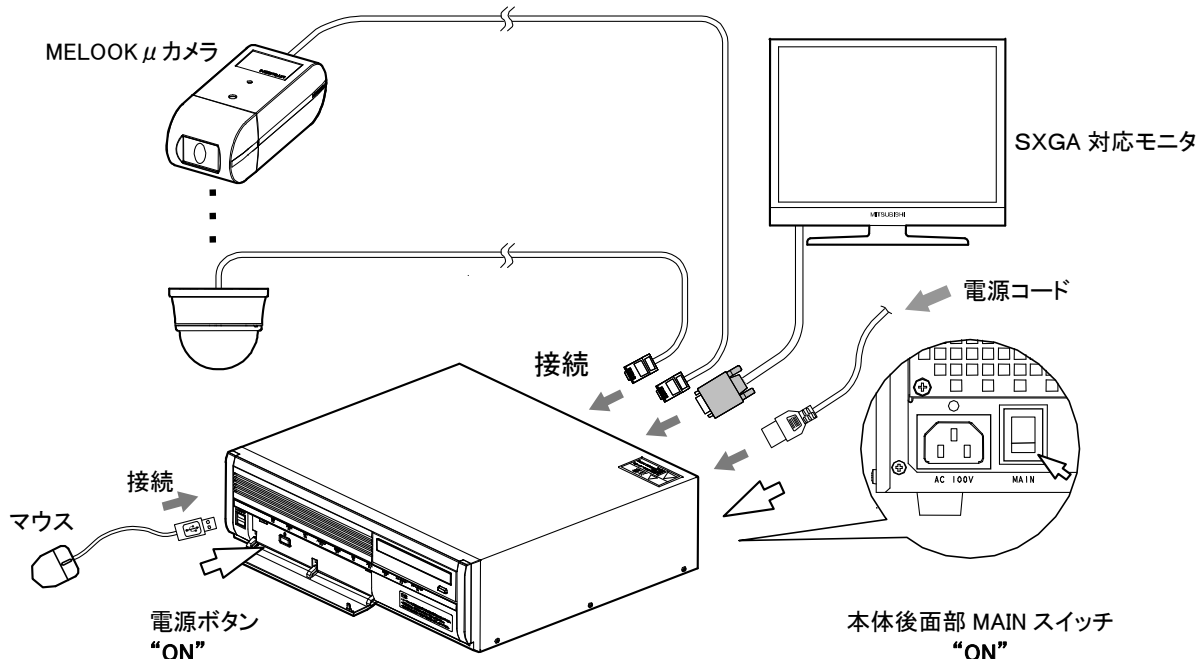
参考 増設 HDD の接続に関しては、「10.2.2.増設 HDD ユニットの接続」88 頁を参照してください。

9. 基本操作

9.1. 初めてお使いになる場合

本レコーダーは、MELOOK μ カメラ、モニタ、及びマウスを接続し、電源を入れるだけで動作します。
初めてお使いになる場合には、下記の手順に従い操作してください。

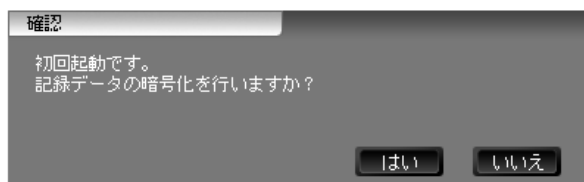
○ **接続と配線**

以下の機器は下図のとおりです。 参考 「8.接続のしかた」19 頁を参照してください。

○ **電源を ON し、本レコーダーを起動する。** 参考 「9.2.基本的な操作」26 頁を参照してください。

本体後面部の MAIN スイッチを ON にした後、本体前面部のドアを開けて電源ボタンを押すと
本レコーダーが起動します。

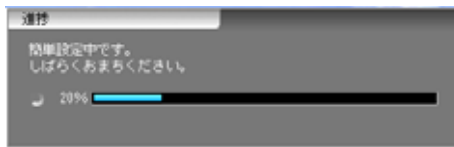
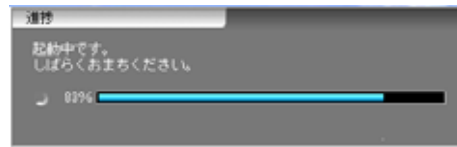
起動中・設定中には、電源の操作などは行わないでください。故障の原因となります。

○ **暗号化設定の選択**

本レコーダーを初めて起動する場合に、記録データの暗号化処理をするか否かの選択をします。
起動後に図のような選択画面を表示します。『はい』又は『いいえ』を選択してください。

暗号化設定画面

本項目の設定は、初回起動時のみ行います。起動後の設定変更はできません。設定変更が必要になった場合は、
販売店にご相談してください。

○ **起動画面の表示**

本レコーダーは暗号化設定の終了後に簡単設定を開始し起動します。

簡単設定中画面

起動中画面

(!) 起動中・設定中には、電源の操作などは行わないでください。故障の原因となります。

○ **初期画面の表示**

起動画面に続き、「カメラ 1」に接続された映像を表示します。

(!) カメラ未接続で起動した場合には、カメラ未登録となります。

○ **時刻設定**

本レコーダーの時刻を設定します。

参考 ⇨ 「10.1.12.時刻設定」84 頁を参照してください。

○ **パスワードを変更する**

各種操作・設定を実施するためにユーザー切替えを行うパスワードを、工場出荷時の設定から変更してください。

参考 ⇨ 「10.1.11.パスワードの設定」82 頁を参照してください。

参考 ⇨ その他の操作方法や各種設定項目については
「9.2.基本的な操作」26 頁、「10.応用操作」56 頁を参照してください。

(!) カメラのケーブル配線などは、工事業者に依頼してください。

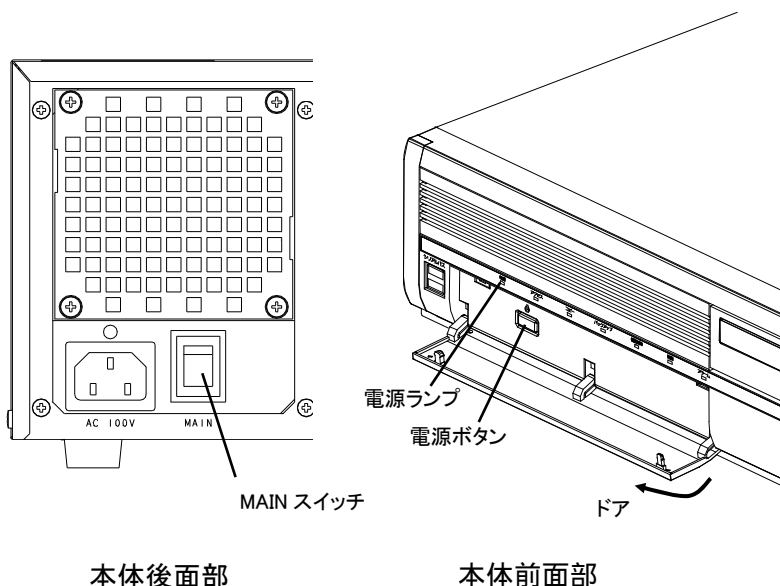
9.2. 基本的な操作

本項では装置の基本的な操作について説明します。

(!) 本レコーダーの操作は、すべてマウスを使って操作します。画面をタッチして操作はできません。

9.2.1.　電源のON/OFFについて

(1)装置の電源を ON するには、本体後面部の MAIN スイッチを『｜』側(ON)にします。
(2)MAIN スイッチを ON にしても電源が入らない場合、もしくは既に MAIN スイッチが ON になっているときには、本体前面部のドアを開けて電源ボタンを“ON”してください。
(3)電源ランプ(電源)が点灯しているとき、本レコーダーの電源が入っています。
(4)電源 ON 状態で本体前面部のドア内の電源ボタンを押すと、本レコーダーは電源 OFF 処理を行います。
(5)装置の終了処理が完了すると、電源ランプ(電源)が消灯し自動的に電源 OFF します。

本体後面部　　本体**前面部**

(!) MAIN スイッチの ON/OFF は、30 秒以上の間隔をおいて実施してください。

(!) 電源投入後は、本体後面部の MAIN スイッチで OFF 操作をしないでください。

(!) 本体前面部のドア内部にある電源ボタンを押して電源 OFF 操作をしてください。電源ランプが消灯してから、本体後面部の MAIN スイッチを OFF にしてください。

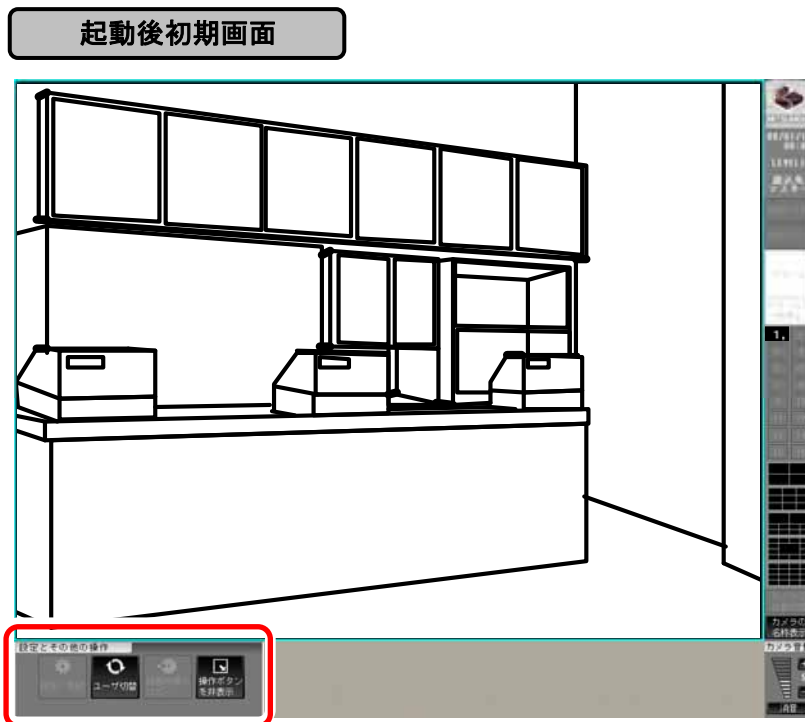
(!) 装置の電源を強制的に OFF にするときには、必ずアクセスランプ(アクセス)の消灯を確認してから本体後面部の MAIN スイッチを OFF にしてください。
このアクセスランプが点灯中に装置の電源を強制的に OFF にすると故障の原因になります。

(!) 電源投入直後のユーザーレベルは、ユーザーレベル 1 になります。

参考 ⇨ ユーザーレベルの詳細は「9.3.ユーザーレベル」32 頁を参照してください。

9.2.2.　ユーザー切替えをする

ライブ映像の表示だけでなく、記録・再生の設定や映像データのコピーなどを実施する場合には、下記要領でユーザー切替えが必要です。

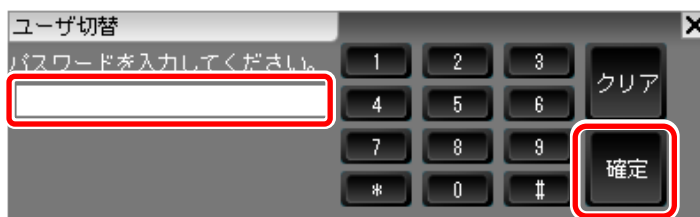
起動後初期画面

「設定とその他の操作」パネル

工場出荷時のユーザー切替えのパスワードは下記の通りです。
　ユーザーレベル 2：*****
　ユーザーレベル 3：04140502

参考 ユーザーレベルの詳細は「9.3.ユーザーレベル」32 頁を参照してください。

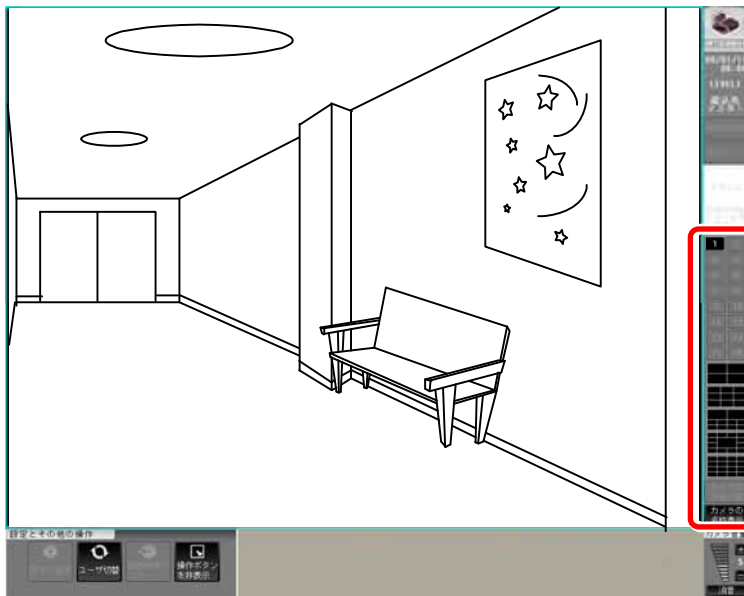
(1)画面左下の「設定とその他の操作」パネルの『ユーザ切替』ボタンを押します。

設定とその他の操作パネル

(2)「ユーザ切替」パネルにパスワードを右側のテンキーで入力し、『確定』ボタンを押してユーザー切替えを実施します。

ユーザ切替パネル

9.2.3. 画面の表示を変更する

「画面制御」パネルを使って、画面の表示方法を変更します。

起動後初期画面

画面制御パネル

画面制御パネル詳細

(1) ライブ映像の表示カメラを『単画切替』ボタンで選択変更します。

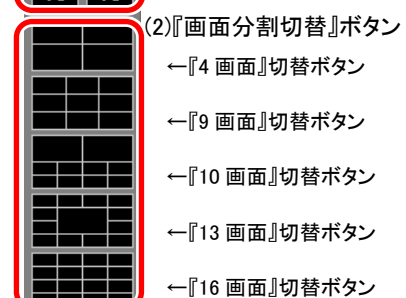
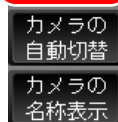
例: 3 ボタンを押すとカメラ番号 3 の映像に切替わります。

(2)『画面分割切替』ボタンで画面分割変更します。

例: ボタンを押すと 13 分割画面に切替わります。

(3)カメラの自動切替えを実施する場合に、『カメラの自動切替』ボタンを押すことで、映像が自動的に切替わります。

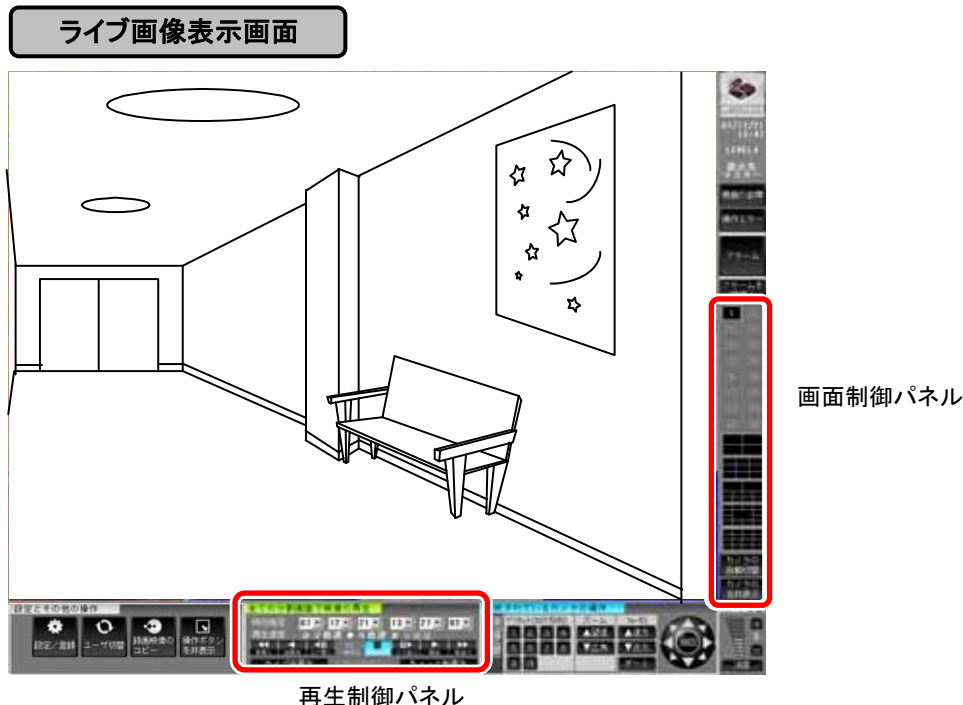
(4)表示画面中にカメラ名称を表示させる場合に、『カメラの名称表示』ボタンを押します。画面左上にカメラ名称が表示されます。

- 装置に接続されたカメラのみ表示されます。
- 分割画面表示中は選択されている画面が水色の枠で表示されます。
- 分割画面表示中に映像を割付けていない部位も選択することができます。この場合、映像は表示されませんが異常ではありません。
- 音声は映像と多少ずれて出力しますが異常ではありませんので予めご了承ください。

9.2.4. 録画映像を再生する

録画映像再生の操作を実施します。

この操作を実施するには、ユーザーレベルをレベル 2 もしくはレベル 3 に変更してください。

参考 ユーザーレベルの詳細は「9.3.ユーザーレベル」32 頁を参照してください。

ライブ画像表示画面

画面制御パネル

再生制御パネル

(1)「画面制御」パネルの『単画切替』ボタンで再生したいカメラを選択します。

(2)「再生制御」パネルの『時刻指定』ボタンで時刻指定し、『再生』ボタンを押します。

(3)画面が時刻指定された時刻より、記録されている画像を再生します。

(!) 指定時刻が最古時刻よりも前を指定して再生した時には、最古データを再生します。
また、未来の時刻を指定して再生した時には未来の時刻に近い最新映像で一時停止します。

⇦『時刻指定』ボタンで再生したい時刻を入力します。

⇦『再生』ボタンで再生を開始します。

再生制御パネル

このとき、「再生制御」パネルは再生中表示に切替わります。緑色の枠が表示され再生中であることを示します。再生を終了するときやコマ送りなどをする場合には、それぞれのボタンを押して操作します。

⇦ 再生中はボタンの色が水色に変わり、操作が実行中であることを示します。

再生制御パネル(再生中)

(!) 音声は映像と多少ずれて再生しますが異常ではありません。

(!) カメラの自動切替えは実施できません。(無効表示となります)

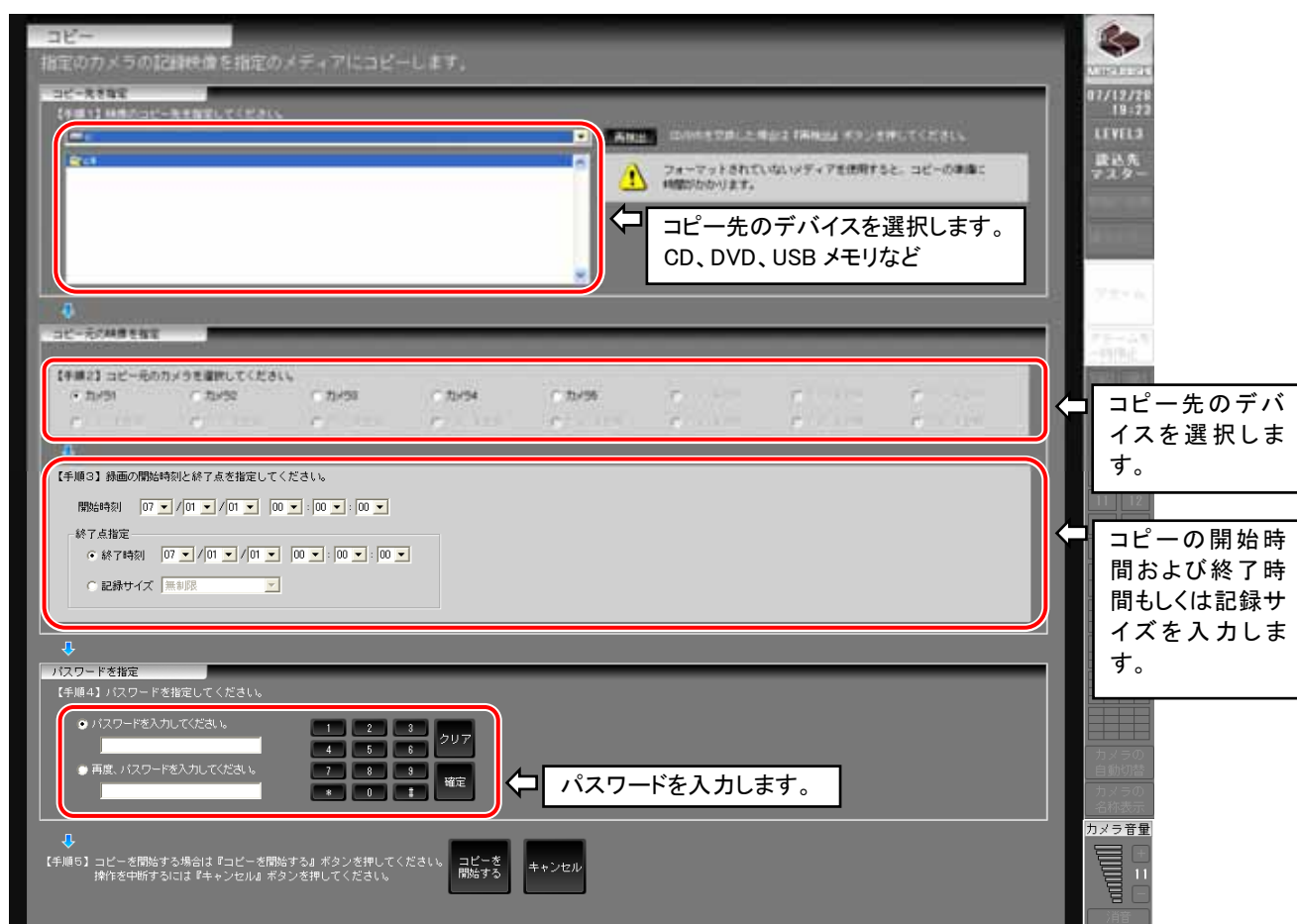
9.2.5. 録画映像をコピーする

録画映像のコピー操作を実施します。画面に示される【手順】に従って操作してください。
この操作を実施するには、ユーザーレベルをユーザーレベル 3 に変更してください。

参考 ユーザーレベルの詳細は「9.3.ユーザーレベル」32 頁を参照してください。

設定とその他の操作パネル

「設定とその他の操作」パネルで『録画映像のコピー』ボタンを押します。

録画映像のコピー

コピー画面

(1)CD-R、DVD-R/RW もしくは USB メモリのいずれかを装着します。
USBメモリを接続する際は、「10.1.10. デバイス設定」80 頁を参照しデバイス登録を実施してください。

(2)次に、「設定とその他の選択」パネルの『録画映像のコピー』ボタンを押し、「コピー」画面を表示させます。

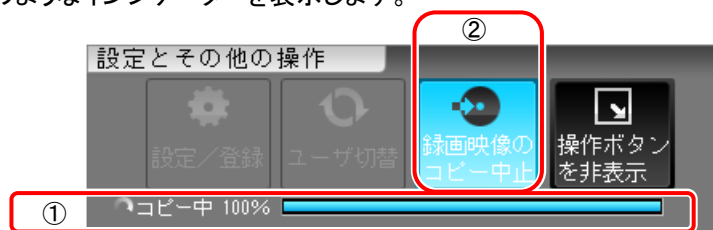
(3)【手順 1】「映像のコピー先を指定してください。」のコピー先フォルダ表示エリアに表示される、コピー先のデバイスを選択します。

(4)【手順 2】「コピー元のカメラを選択してください。」内にあるボタンからコピー元の映像を指定します。
  ⚠ コピーできるカメラ映像は 1 カメラのみです。

(5)【手順 3】「録画の開始時刻と終了点を指定してください。」内の「開始時刻」、「終了時刻」、
(または「記録サイズ」)の容量を選択し、コピーする開始時刻と終了時刻を入力してください。
(終了点指定はコピー先の記録サイズを選択することにより、終了時刻を選択しなくてもコピーが可能です。)

(6)【手順 4】「パスワードを指定してください。」内にある「パスワードを入力してください」に最大 8 文字までのパスワードを右側のテンキーで入力してください。
パスワードを入力後、『確定』ボタンをマウスでクリックすると「再度、パスワードを入力してください。」にチェックマークが自動的に移り、再度同じパスワードを入力します。
  ⚠ 本パスワードはコピー画像を再生する際に使用するパスワードとなります。
  ここで設定したパスワードは忘れないようにしてください。

(7)「コピーを開始する」場合は『コピーを開始する』ボタンをクリックしてください。
  また、操作を中断するには『キャンセル』ボタンを押してください。

(8)コピーが開始されると表示画面が前画面に戻り、画面左下の「設定とその他の操作パネル」の下に①のようなインジケーターを表示します。

コピー実行中は、①「コピー中」インジケーターにより、コピーの進捗状況を表示します。
コピー実行中に、②『録画映像のコピー中止』ボタンをクリックすると、実行中のコピーをキャンセルするためのメッセージが表示されます。『はい』を選択した場合、コピーを中止し『いいえ』を選択した場合には、コピーが続行されます。コピーを中止した場合には、中止した時刻までの録画映像のデータがコピーされます。

⚠ CD-R/DVD-R は追記できません。追記が必要な場合は、DVD-RW を使用してください。

⚠ CD/DVD メディアについては、メディア、ドライブの相性により正常に書き込みできないことがあります。その場合は、別のメディアで再度書き込みを行ってください。

⚠ 大切なデータは書き込み後、記録されていることを確認してください。

⚠ USB メモリは複数接続した場合、識別できないため、複数接続しないでください。

⚠ コピー完了後、コピーデバイスが USB 接続である場合は USB を取外すかどうかのメッセージを表示します。
『はい』を選択後は、デバイスを取外すことが可能となります。
『いいえ』を選択した場合はデバイスの取外しを行わず、コピーを終了します。
コピーデバイスが、CD、DVD の場合にはコピー完了後自動で排出されます。

⚠ コピーしたデータを別の PC で再生する場合、コピー時に専用の簡易ビューワがコピーされます。専用のビューワを使用して再生してください。
なお、再生する PC にパケットライティングソフトウェアがインストールされている場合、正常にメディアが認識できないことがあります。ご注意ください。
パケットライティングソフトウェアがインストールされていない PC で再生してください。

⚠ コピーには、CD-RW を使用しないでください。

⚠ コピー終了時刻は書き込んだ最後のデータの時刻を表示しています。指定された終了時刻とは一致しない場合があります。

⚠ CD-R,DVD±R については、90%以降のクローズ進捗が表示されないことがありますが動作異常ではありませんのでクローズするまでお待ちください。

⚠ USB メモリへのコピー中は、USB メモリを取外さないでください。

9.3. ユーザーレベル

本レコーダーは、パスワードによって使用できる範囲を 3 段階で管理します。
使用者に合わせたユーザーレベルを設定することにより、本レコーダーの取扱いに関する制限を設けることができます。
本レコーダーを起動した状態では「ユーザーレベル 1」が自動的に設定されます。

(1) ユーザーレベル 1: 一般ユーザー 画像閲覧のみ可能
(2) ユーザーレベル 2: 高レベルユーザー カメラ操作・録画映像再生可能
(3) ユーザーレベル 3: 管理者レベル 各種設定が可能

参考 ユーザーレベル変更のためのパスワードは、安全のためお客様で上記の工場出荷時の設定より変更することをお勧めします。「10.1.11.パスワードの設定」82 頁を参照してください。

工場出荷時のユーザーレベル変更のためのパスワードは以下のとおりです。
ユーザーレベル 1: 無し(起動時自動設定)
ユーザーレベル 2: *****
ユーザーレベル 3: 04140502

ユーザーレベルと制御・設定項目

項目		ユーザーレベル 1	ユーザーレベル 2	ユーザーレベル 3
画面制御		○	○	○
カメラ制御		×	△	○
コピー		×	×	○
再生制御		×	○	○
設定項目	情報表示	×	×	○
	システム設定	×	×	○
	ネットワーク設定	×	×	○
	カメラ設定	×	×	○
	映像表示設定	×	×	○
	記録設定	×	×	○
	スケジュール設定	×	×	○
	アラーム設定	×	×	○
	デバイス設定	×	×	○
	パスワード設定	×	×	○
	時刻設定	×	×	○
	管理設定	×	×	○

表中「△」印は一部制限があります。詳細は「9.4.8.カメラ制御パネル」50 頁を参照してください。

パスワード変更後、パスワードを忘れるとユーザーレベル切替えができなくなります。
パスワードを忘れた場合には、販売店にご相談してください。

9.4. 画面説明

本項では、本レコーダーの各画面と基本的な操作方法を記載します。

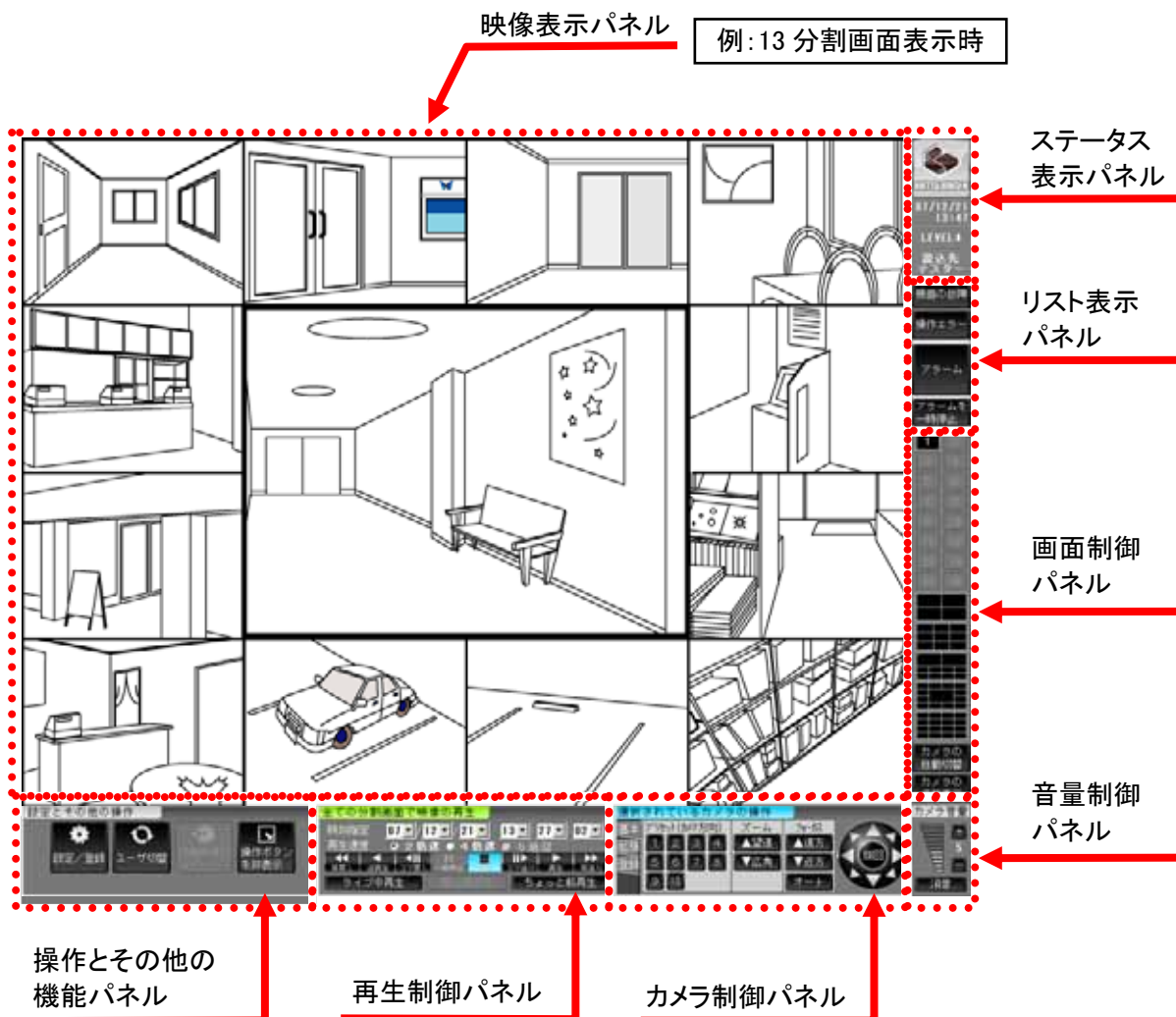
9.4.1. 通常(メイン)画面について

本装置の電源を入れると、下図画面を表示します。

本レコーダーに初めて電源を入れた場合、出荷時設定の表示となるため、単画面表示となります。
本項では 13 分割画面を例にして説明します。

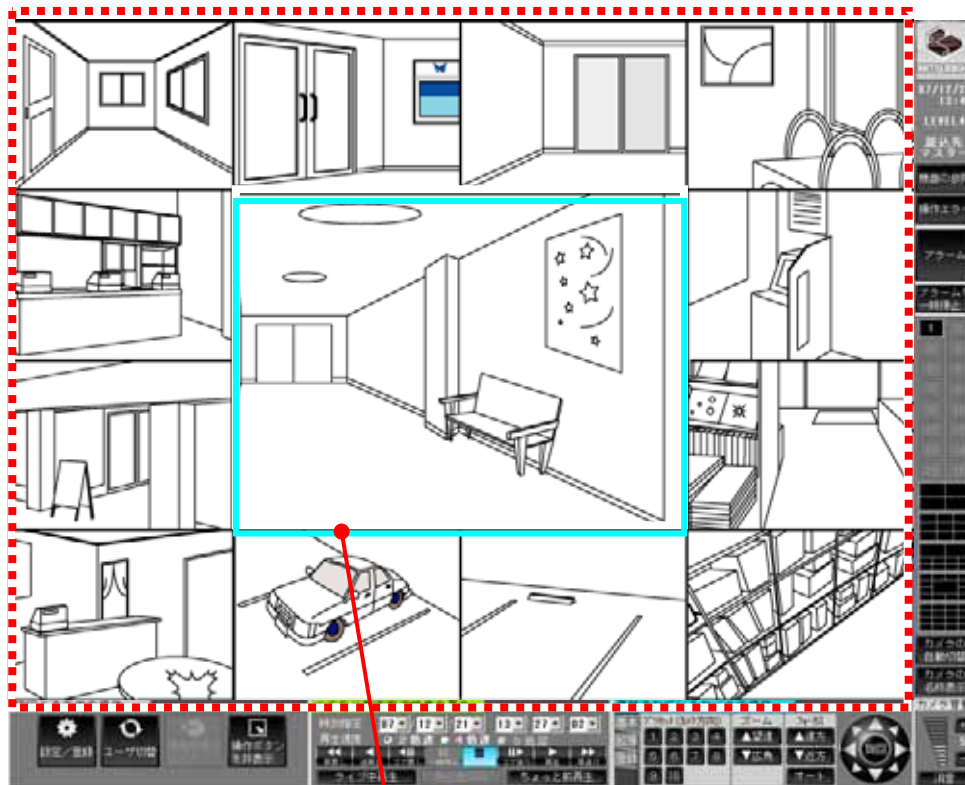
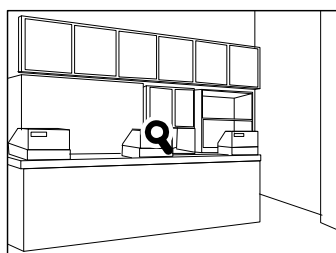
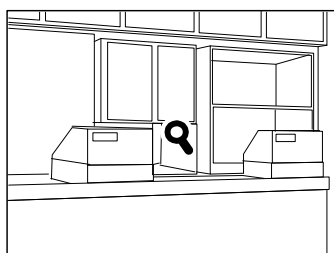
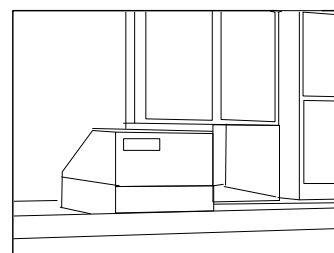
画面左側および下側の各制御パネルを使って本装置の操作を行います。
各制御パネルの使い方は次項以降で説明します。

- ・映像表示パネル
- ・ステータス表示パネル
- ・リスト表示パネル
- ・画面制御パネル
- ・音量制御パネル
- ・カメラ制御パネル
- ・再生制御パネル
- ・設定とその他の操作パネル

カメラ制御パネルは、MELOOK μ 旋回カメラ NC-2750 が接続されていない場合表示されません。

9.4.2.　映像表示パネル

ライブまたは記録した映像を表示します。

- 単画面、4 画面、9 画面、10 画面、13 画面、16 画面を表示します。
- 選択中の映像には、周りに枠(ライブ中：水色/再生中：緑色)を表示します。
- 単画面表示中に、表示パネルを右クリックすると、部分拡大(ズーム)のポップアップメニューを表示します。
- 部分拡大(ズーム)状態の場合で表示パネル上を左クリックすると、クリックしたその地点を中心に拡大表示を行います。

ⓘ ズーム機能は単画面表示のみ有効となります。

ⓘ ズームしたい所でマウスをクリックすると、アイコンが虫眼鏡に変わります。
続けてクリックすると、通常画面が 2 倍、4 倍と変化します。4 倍後の状態で、再度クリックすると通常画面に戻ります。
ズーム状態で画面切替えすると、ズーム状態が解除されます。
また、ズーム状態で、表示パネル上を右クリックし「ズーム解除」をクリックすることでズーム状態が解除されます。

通常画面　　2 倍画面　　4 倍画面

9.4.3. 設定とその他の操作パネル

設定と登録モードへの切替え、コピー及び全画モードへの動作モード切替え制御を行なうパネルです。

設定とその他の操作パネル

(1)『設定/登録』ボタン	設定と登録モードに切替えを行なうボタンです。 (!) レベル 3 のみ使用可能な機能です。
(2)『ユーザ切替』ボタン	ユーザーレベルの切替えを行なうボタンです。
(3)『録画映像のコピー』ボタン	録画映像のコピーまたはバックアップ保存を行なうボタンです。 (将来拡張予定) (!) レベル 3 のみ使用可能な機能です。
(4)『操作ボタンを非表示』ボタン	映像表示領域の切替え(通常画/全画)を行なうボタンです。

9.4.3.1. 『設定/登録』ボタン

本レコーダーの各種設定および登録を行います。

(!) レベル 3 のみ使用可能な機能です。

設定/登録
設定情報を変更します。

設定項目を指定
【手順1】設定項目を指定してください。
情報表示
システム設定
映像表示設定
記録設定
スケジュール設定
アラーム設定
デバイス設定
パスワード設定
時刻設定

情報表示
情報表示を行います。

『デバイス稼動状況』

デバイス接続状況

デバイス	状態
内蔵HDD(C)	稼動中
内蔵HDD(D)	稼動中
CD/DVD(E)	稼動中
USBメモリ(F)	停止中
USBメモリ(G)	停止中
増設HDD(H)	稼動中
増設HDD(I)	停止中
増設HDD(J)	稼動中
増設HDD(K)	停止中

マスターデバイス情報

名称	記録状態	全容量	最古時刻	最新時刻
マスターデバイス	記録中	15(GB)	081003_11:55:37	081003_12:55:37

記録再開　リピート記録が無効で残容量がなくなった場合は『記録再開』ボタンを押してください。記録が再開され、最古データから上書きされます。

『カメラ接続状態』

名称	状態	画像サイズ	受信レート	ステータス
カメラ1	接続中	VGA	30fps	00000000
MELOOK μ-2	未接続			
カメラ3	接続中	VGA	30fps	00000000
MELOOK μ-4	未接続			
カメラ5	接続中	VGA	30fps	00000000
MELOOK μ-6	未接続			
カメラ7	接続中	VGA	30fps	00000000
MELOOK μ-8	未接続			
カメラ9	接続中	－	－	－
DIGITAL MELOOK-2	接続中	－	－	－
DIGITAL MELOOK-3	接続中	－	－	－
DIGITAL MELOOK-4	接続中	－	－	－
DIGITAL MELOOK-5	未接続	－	－	－
DIGITAL MELOOK-6	未接続	－	－	－
DIGITAL MELOOK-7	接続中	－	－	－
DIGITAL MELOOK-8	未接続	－	－	－

最新の状態を表示する場合は『更新』ボタンを押してください。　更新

最初の画面に戻る

MITSUBISHI
07/12/21 11:56
LEVEL4
読込先マスター
カメラ音量

(1)　(2)　(3)

(1)項目選択エリア　設定できる各項目を表示します。

(2)項目別設定エリア　「項目選択エリア」で選択した項目に対応する設定画面を表示します。

(3)『最初の画面に戻る』ボタン　設定ファイルを変更している場合は本ボタンクリック時、パソコンを再起動させる画面が表示され、再起動実施後に設定変更が有効となります。変更がない場合は、設定画面からメイン(通常)画面に戻ります。

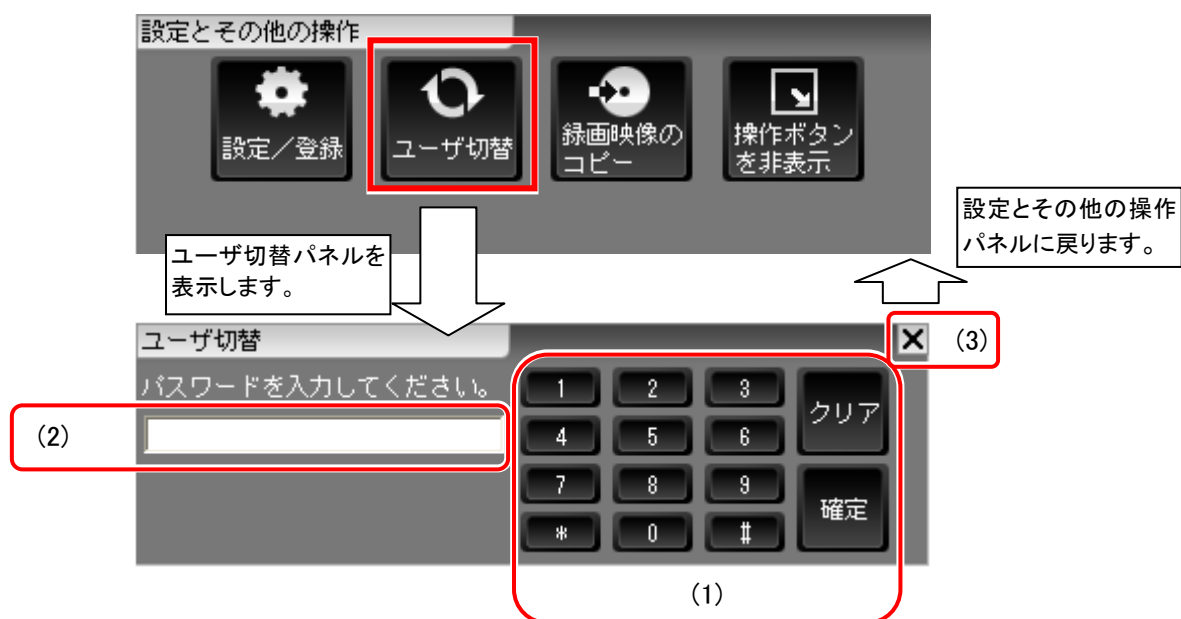
(!) 本レコーダー再起動後は、ユーザーレベル 1 に設定されます。

9.4.3.2. ユーザー切替え

パスワードを入力し、ユーザー切替えを行います。

Ⓘ 工場出荷時のユーザー切替えのパスワードは下記の通りです。
ユーザーレベル 2:*****
ユーザーレベル 3:04140502
初めて、本レコーダーを起動した場合には、上記パスワードを使用してユーザーを切替えてください。

参考 ⇨ パスワードの設定は 「10.1.11.パスワードの設定」82 頁を参照してください。

パスワード入力画面

(1)テンキー　パスワードを入力します。

【『0～9、＊、＃』ボタン】	ボタンを押すと「入力領域」に”＊“が入力されます。
【『クリア』ボタン】	入力した全ての文字列をクリアするボタンです。
【『確定』ボタン】	入力した文字列をパスワードとして確定します。 入力したパスワードが登録されているパスワードと同じ場合に、ユーザーレベルを変更後、「パスワード入力」画面を非表示にし、「設定とその他の操作」パネルを表示します。 入力したパスワードが登録されていない場合は、入力した全ての文字列がクリアされます。

Ⓘ ユーザーレベル変更後、ステータス表示パネルのユーザーレベルが表示されます。

(2)入力領域　テンキーで入力した入力文字は全て「＊(半角アスタリスク)」で表示されます。
キーボートからの入力は無効となります。
最大 8 文字まで入力可能で、9 文字以上は入力できません。

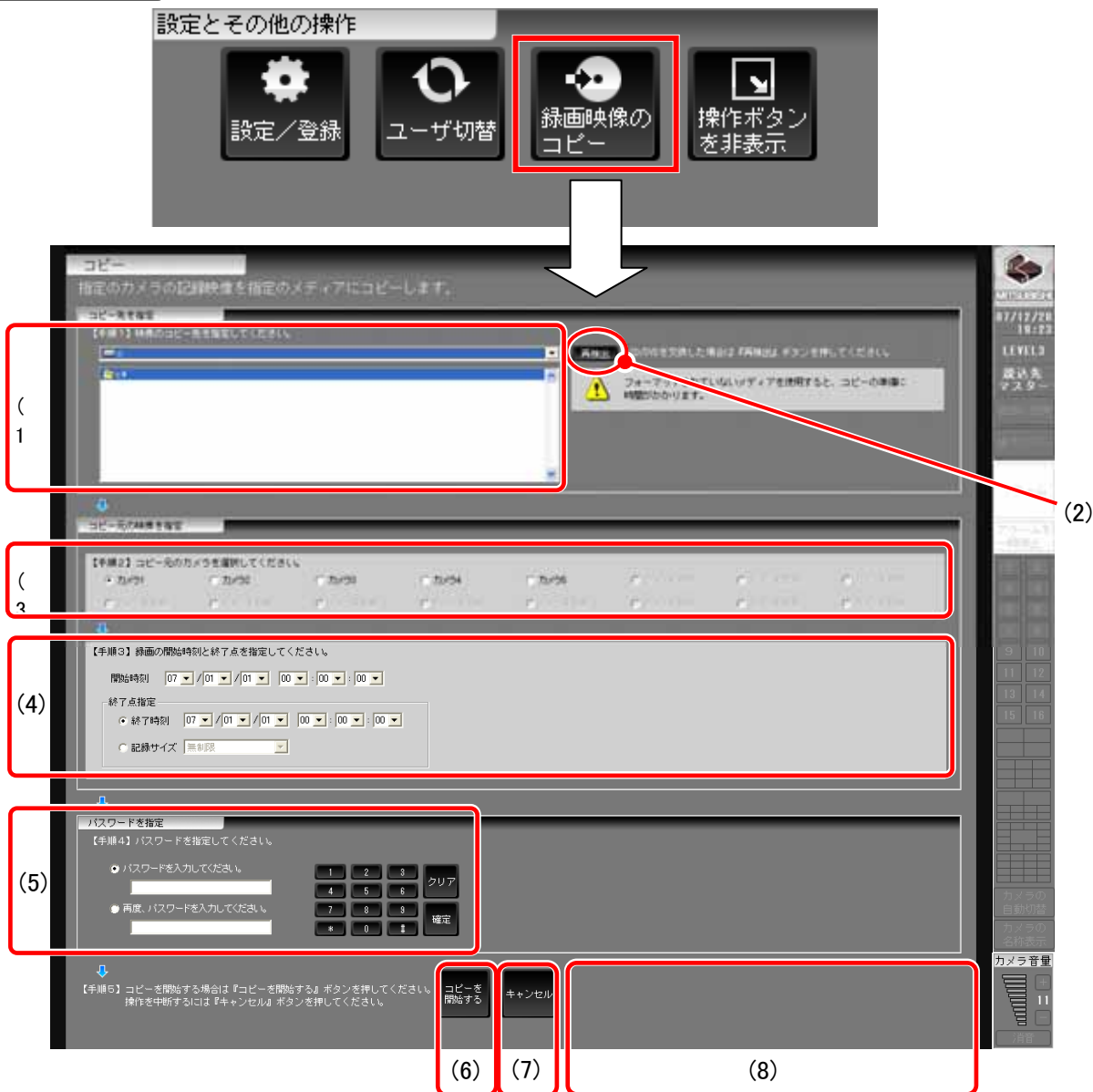
(3)『×』ボタン　「パスワード入力」画面を非表示にし、「設定とその他の操作」パネルに戻ります。

Ⓘ 本レコーダー起動時には、ユーザーレベル 1 に自動設定されます。

Ⓘ パスワードを入力しないで『確定』ボタンを押すと、ユーザーレベルに関係なく、すべてユーザレベル 1 に設定されます。また、操作の途中で『×』ボタンを押すと、現状のままのユーザーレベルとなります。

9.4.3.3. 録画映像のコピー

録画映像を接続している記録デバイスへコピーします。
『録画映像のコピー』ボタンは、ユーザーレベル 3 のときのみ有効になります。

コピー画面

【手順 1】コピー先のデバイスを選択します。

(1)コピー先フォルダ情報　　コピー先のデバイスを選択します。

(2)『再検出』ボタン　　CD、DVD および USB メモリを交換した場合などに、使用できる記録デバイスを再検出するボタンです。

【手順 2】コピー元のカメラを選択します。

(3)『カメラ選択』ボタン　　選択できるのは 1 カメラのみとなります。

ⓘ アラームリストから遷移した場合は、連動したカメラのみ有効となり、連動するカメラの先頭が選択状態となります。アラームリスト以外から遷移した場合は、有効なカメラの先頭が選択状態となります。

【手順 3】開始時刻と終了時刻もしくは記録サイズを設定し、コピーする範囲を設定します。

(4)コピー範囲指定エリア　　終了点時刻または記録サイズどちらか一方を操作することが可能となります。

【開始時刻】　時刻は、YY(年)/MM(月)/DD(日)
hh(時):mm(分):ss(秒)と表示します。
アラームリストから遷移した場合は、アラーム発生時刻を設定します。
アラームリスト以外から遷移した場合は、現在時刻を設定します。

【終了時刻】　時刻は、YY(年)/MM(月)/DD(日)
hh(時):mm(分):ss(秒)と表示します。
アラームリストから遷移した場合は、アラーム復旧時刻を設定します。
アラームリスト以外から遷移した場合は、開始時刻+10 分を設定します。

【記録サイズ】　コピーサイズを指定します。
記録サイズは、3 パターンの選択が可能です。
途中でディスクがいっぱいになった場合は、コピーを終了します。
①640MB:640MB までコピー可能です。
②4.7GB:4.7GB までコピー可能です。
③無制限:指定なし。
（デバイスが FULL となるまでコピー可能です。）

ⓘ デバイスが FULL でコピーを中止した場合には、エラーメッセージが表示されます。デバイスを交換して再度コピー実施します。

ⓘ コピーが途中で終了した場合には、コピー終了時刻で記録されたデータを確認し、再度コピーする場合の開始時刻の参考とします。

ⓘ この場合の FULL とは、データ単位での書き込みサイズとなります。
従って、FULL と表示されても容量が少し残っている場合があります。

【手順 4】簡易ビューワの起動に使用するパスワードを設定できます。

(5)パスワード登録エリア　　入力文字は全て「 ＊(半角アスタリスク)」で表示し、最大 8 文字まで入力できます。

【手順 5】コピーを開始するか、中断するかを選択します。

(6)『コピーを開始する』ボタン　　コピーを開始するボタンです。
コピー中に遷移した場合は、元の画面に戻り「設定とその他の操作パネル」に進捗状況を表示します。

(7)『キャンセル』ボタン　　コピー処理を中断し、元の画面に戻るボタンです。

(8)確認メッセージ表示領域　　『コピーを開始する』ボタンをクリックしたときに未入力や入力間違いがあると、メッセージが表示される領域です。

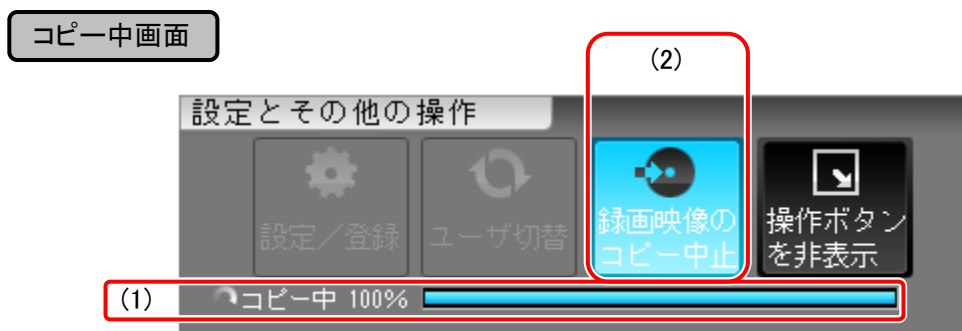
Ⓘ 簡易ビューワとはコピーした映像を再生するための専用アプリケーションです。
参考 ⇨ 「11.簡易ビューワについて」111 頁を参照してください。

Ⓘ コピーには、CD-RW を使用しないでください。

Ⓘ コピー終了時刻は書き込んだ最後のデータの時刻を表示しています。指定された終了時刻とは一致しない場合があります。

9.4.3.3.1. 録画映像のコピー中止

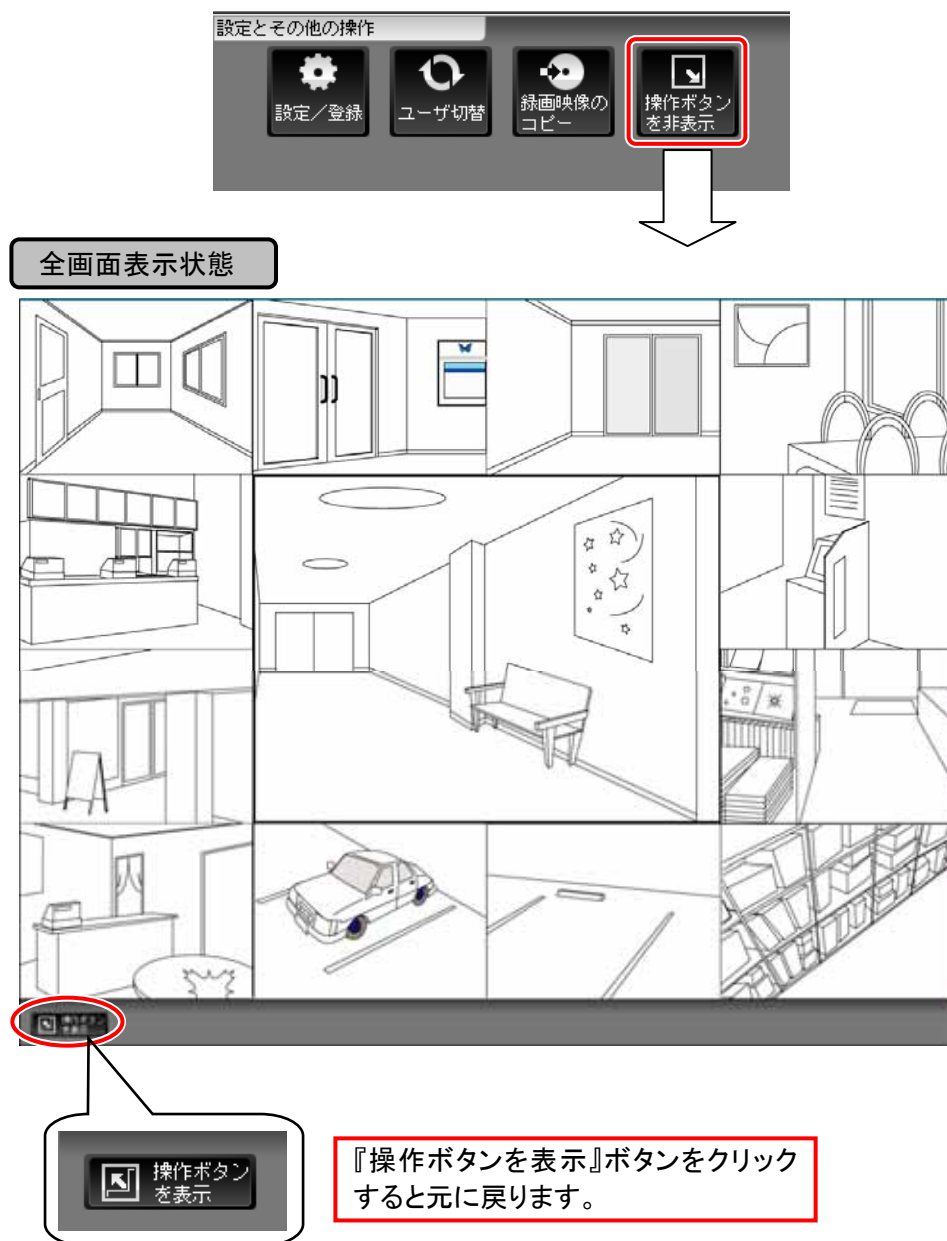
コピー実行中は、下図のインジケーターを表示します。この状態で再度、『録画映像のコピー中止』ボタンを押すと、確認メッセージが表示され実行中のコピーがキャンセルされます。

コピー中画面

(1)コピー進捗状況表示	コピーの進捗状況を表示します。
(2)『録画映像のコピー中止』ボタン	録画映像のコピーを中止するボタンです。中止した時刻までのデータが保存されます。

Ⓘ コピー中は音声が途切れます。

9.4.3.4. 全画面表示ボタン

『操作ボタンを非表示』ボタンを押すと全画面表示となります。
ライブまたは記録した映像を全画面表示します。
単画面、4 画面、9 画面、10 画面、13 画面、16 画面で表示します。
選択中の映像には映像の周りに枠(ライブ中：水色／再生中：緑色)を表示します。
また、『操作ボタンを表示』ボタンをクリックすると通常サイズの表示に戻ります。

➡ 単画面（ライブ・再生）での全画面表示時は部分拡大（ズーム）は可能です。

9.4.4. ステータス表示パネル

ロゴ、現在時刻、ログイン時のユーザーレベルを表示します。
本レコーダーの状態を示すパネルです。本パネルは全画面表示時以外、常に表示します。

ステータス表示パネル

(1) MITSUBISHI
(2) 07/12/21 14:28
(3) LEVEL3
(4) 読込先 マスター

(1)ロゴ	ユーザーロゴを表示します。
(2)カレンダー表示	装置のシステム時刻を表示します。
1 行目	YY/MM/DD YY は西暦下 2 桁 MM は 2 桁固定(1 月なら”01”) DD は 2 桁固定(9 日の場合は”09”)
2 行目	hh:mm hh は 2 桁固定(9 時の場合は”09”) mm は 2 桁固定(3 分の場合は”03”)
(3)ユーザーレベル表示	ユーザーレベル(操作制限レベル)を表示します。
(4)デバイス情報	再生、コピー元デバイスを表示します。 Web 接続時は「Web 接続中」と表示されます。 Web 再生中は「Web 再生中」と表示されます。

9.4.5. リスト表示パネル

アラーム発生通知、機器故障通知、操作エラー通知、アラームホールド制御を行います。
リスト表示パネルは、ユーザーレベル 3 のときのみ有効になります。

リスト表示パネル

(1) 機器の故障
(2) 操作エラー
(3) アラーム
(4) アラームを一時停止

(1)『機器の故障』ボタン ボタンを押すと水色に変わり、機器の故障リストを表示します。機器の故障が発生した場合は、本ボタンが赤色となり、本ボタンを押すまで継続します。

参考 『機器の故障』ボタンを押した場合には
「9.4.5.1.機器の故障リスト」44 頁を参照してください。

(2)『操作エラー』ボタン

ボタンを押すと水色に変わり、内部で発生したエラーリストを表示します。
操作エラーが発生した場合は、発生中状態(赤色)となり、本ボタンを押すまで継続します。

参考 『操作エラー』ボタンを押した場合には
「9.4.5.2.操作エラーリスト」45 頁を参照してください。

(3)『アラーム』ボタン

ボタンを押すと水色に変わり、アラームリストを表示します。
接点からのアラーム入力または接続したカメラからのモーションディテクト信号を検出すると、アラームボタンが赤色点滅状態となり、本ボタンを押すまで継続します。

ⓘ ただし、アラーム設定をしていないとアラーム連動しません。

参考 『アラーム』ボタンを押した場合には
「9.4.5.3.アラームリスト」46 頁を参照してください。

ⓘ エマージェンシー信号を検知した場合も、赤色点滅しません。

(4)『アラームを一時停止』ボタン

アラームを一時的に停止します。
本ボタン押す毎にトグル(切替)制御を行い、アラームホールドのステータスを示します。

【アラームホールド ON】
　ボタン色が水色の時は、アラーム入力を無効にします。

【アラームホールド OFF】
　ボタン色が黒色の時は、アラーム入力を有効にします。

➡ アラーム状態となった場合(アラーム信号を受信し、ボタンが赤色表示されている場合)、通常画→全面→通常画に切替えても発生状態は継続します。

ⓘ また『アラームを一時停止』ボタンを押しても、アラームホールドはエマージェンシー信号を無効にしません。

9.4.5.1. 機器の故障リスト

『機器の故障』ボタンを押すと、以下のリストが画面の左下部分(設定とその他の操作パネル表示エリア)に表示されます。
表示される詳細は最大 1000 件です。リスト更新時は発生日時の降順で、最新の情報からリスト上位に表示します。

機器の故障リスト表示部

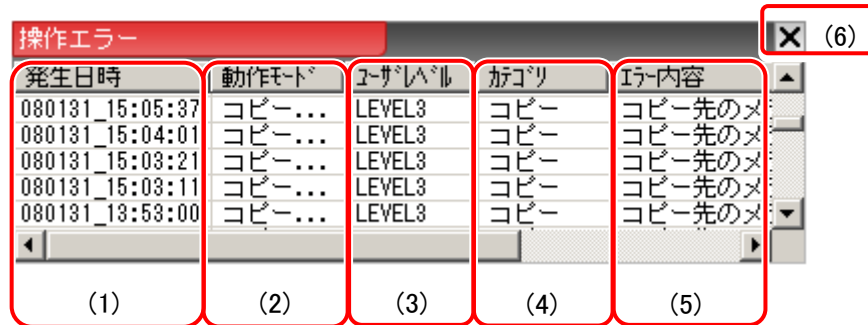
(1)発生日時リスト　　機器故障が発生、または復旧した日時を表示します。

(2)状態リスト　　故障の状態(「発生」/「復旧」)を表示します。

(3)発生場所リスト　　故障機器の名称を表示します。

(4)故障内容リスト　　機器の故障内容を表示します。
<例>
通信異常
記録停止

(5)『×』ボタン　　「機器の故障リスト」を非表示にし、「設定とその他の操作」パネルを表示します。

- 各項目名をクリックすると表示が項目ごとに自動的にソート(昇順/降順)されます。
- 機器の故障リストのセルの幅は自由に変更できます。
- リスト表示中に再度『機器の故障』ボタンを押すと非表示になります。
- リスト表示が 1000 件を超えると最過去のリストから順に消去されます。

9.4.5.2. 操作エラーリスト

『操作エラー』ボタンを押すと、以下のリストが画面の左下部分(設定とその他の操作パネル表示エリア)に表示されます。
表示される詳細は最大 1000 件です。リスト更新時は発生日時の降順で、最新の情報がリスト上位に表示されます。

操作エラーリスト表示部

(1)発生日時リスト　　操作エラーが発生した日時を表示します。

(2)動作モードリスト　　操作エラー発生時の装置状態を表示します。

(3)ユーザレベルリスト　　操作エラー発生時のユーザーレベルを表示します。

(4)カテゴリリスト　　発生した操作エラーの種別を表示します。

(5)エラー内容リスト　　操作エラーの内容を表示します。

(6)『×』ボタン　　「操作エラー」リストを非表示にし、「設定とその他の操作」パネルを表示します。

- 各項目名をクリックすると表示が項目ごとに自動的にソート(昇順/降順)されます。
- 操作エラーリストのセルの幅は自由に変更できます。
- リスト表示中に再度『操作エラー』ボタンを押すと非表示になります。
- リスト表示が 1000 件を超えると最過去のリストから順に消去されます。

9.4.5.3. アラームリスト

『アラーム』ボタンを押すと、以下のリストが画面の左下部分(設定とその他の操作パネル表示エリア)に表示されます。
表示される詳細は最大 10000 件です。リスト更新時は発生日時の降順で、表示されます。

アラームリスト表示部

(1)アラームリスト制御ボタン群
アラームリスト上からの操作を指示するボタン群です。

【『再生』ボタン】 アラームリストが選択されている場合、本ボタンを押すと、アラーム発生した時刻から再生(1 倍速順再生)が開始されます。
アラームリストの項目が 0 件の場合は本ボタンが無効表示となります。

➡ リスト内の項目のダブルクリックでも再生を開始します。

【『コピー』ボタン】 アラームリストが選択されている場合、本ボタンを押すと、選択されたアラーム発生時刻からの映像をコピーする画面に遷移します。
アラームリストの項目が 0 件の場合は本ボタンが無効表示となります。

【『検索』ボタン】 アラームリストの選択・非選択に関わらず、アラームリスト全体がアラームリスト検索画面に切替わります。

参考 「9.4.5.4.アラーム検索」47 頁を参照してください。

(2)発生日時リスト
アラーム、エマージェンシーの発生・解除日時を表示します。

(3)状態リスト
「発生」か「解除」であるかを表示します。
(「解除」はエマージェンシーのみです。)

(4)発生場所リスト
アラーム、エマージェンシーが発生、または解除した場所を表示します。

(5)記録種別リスト
「動画」と表示します。(「静止画」は将来拡張予定となります。)

(6)『×』ボタン
「アラームリスト」を非表示にし、「設定とその他の操作」パネルを表示します。

➡ 各項目名をクリックすると各表示が項目ごとに自動的にソート(昇順/降順)されます。
➡ アラームリストのセルの幅は自由に変更できます。
(!) リスト表示中に再度『アラームリスト』ボタンを押すと非表示になります。
(!) リスト表示が 10000 件を超えると、最過去のリストから順に消去されます。
(!) アラームリストから再生した場合、アラームの解除時間以降は、ノーマル記録が再生されます。
(!) 記録停止中に発生したアラーム記録とエマージェンシー記録の再生時の動作は以下となります。
・アラーム記録:操作エラーを出力し、アラーム連動カメラへ画面切替えをおこない、ライブ表示します。
・エマージェンシー記録:最新時刻にて一時停止します。

9.4.5.4. アラーム検索

検索結果は、常に発生日時の降順となり最新の情報がリスト上位に表示されます。

アラーム検索画面

(1)開始時刻	開始時刻の左側にあるチェックボックスをマウスでクリックすると、操作可能となります。 ▼ をマウスでクリックし、検索を開始する時刻を指定します。
(2)終了時刻	終了時刻の左側にあるチェックボックスをマウスでクリックすると、操作可能となります。 ▼ をマウスでクリックし時刻を選択します。
(3)発生場所	発生場所の左側にあるチェックボックスをマウスでクリックすると、操作可能となります。発生場所(アラーム名称)で検索を指定します。
(4)記録種別	記録種別の左側にあるチェックボックスをマウスでクリックすると、操作可能となります。 「動画」と表示します。(「静止画」は将来拡張予定となります。)
(5)『検索』ボタン	「開始時刻」~「記録種別」で設定した全ての選択条件で検索を行い、検索結果がアラームリストに表示されます。
(6)『×』ボタン	「アラーム検索」画面が非表示になり、「アラーム一覧」を表示します。

ⓘ アラーム検索パネルが表示された場合には、「発生場所」のみが“✓”されています。

ⓘ “✓”を入力せずに(各指定をせずに)、『検索』ボタンを押した場合には、記録されているすべてのアラームを検索します。

9.4.6. 画面制御パネル

映像表示パネルの動作を制御します。その他、カメラ名称表示の ON/OFF、自動スキャンの ON/OFF を制御します。各ボタンを押すことにより、映像表示パネルを各カメラの単画面、4 分割画面などに切替えることができます。

画面制御パネル

(1) 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16
(2)
(3)
(4)
(5)
(6)
(7) カメラの自動切替
(8) カメラの名称表示

(1)『単画面切替』ボタン
指定した番号に割当てられているカメラの映像を単画で表示します。

(2)『4 画面切替』ボタン
画面を 4 分割で表示します。
本ボタンを押すと、4 分割の先頭頁を表示します。
4 分割画表示中に本ボタンを押すと、頁切替えを行います。

(3)『9 画面切替』ボタン
画面を 9 分割で表示します。
本ボタンを押すと、9 分割の先頭頁を表示します。
9 分割画表示中に本ボタンを押すと、頁切替えを行います。

(4)『10 画面切替』ボタン
画面を 10 分割で表示します。
本ボタンを押すと、10 分割の先頭頁を表示します。
10 分割画表示中に本ボタンを押すと、頁切替えを行います。

(5)『13 画面切替』ボタン
画面を 13 分割で表示します。
本ボタンを押すと、13 分割の先頭頁を表示します。
13 分割画表示中に本ボタンを押すと、頁切替えを行います。

(6)『16 画面切替』ボタン
画面を 16 分割で表示します。
16 分割表示中に本ボタンを押しても、頁切替えを行いません。

(7)『カメラの自動切替』ボタン
設定された時間間隔で頁が切替わります。
本ボタン押す毎にカメラ自動切替えが ON/OFF されます。
【カメラの自動切替 ON】
ボタン色が水色に変化し、単画又は分割画面の頁が指定された時間間隔で切替わります。

【カメラの自動切替 OFF】
ボタン色が黒色に変化し、カメラ自動切替えを停止します。

(8)『カメラの名称表示』ボタン
映像表示領域にカメラ名称を表示します。本ボタンを押す毎にカメラ名称表示が ON/OFF されます。
【表示 ON】
ボタン色が水色に変化し、単画又は分割画面のカメラ映像表示が ON されます。

【表示 OFF】
ボタン色が黒色に変化し、カメラ名称表示が OFF されます。

参考 「10.1.5.映像表示」69 頁を参照してください。

(!) 分割画面表示中に映像を割付けていない部位も選択することができます。この場合、映像は表示されません(黒画面になります)が異常ではありません。

(!) 画面制御パネル操作では、秒単位の精度で検索表示するため、一時停止直後の映像と画面制御操作後の映像は異なる場合があります。

(!) 単画面表示状態から「単画切替」を行ったとき、切替え途中の画面が見えることがありますが、異常ではありません。

9.4.7.　音量制御パネル

音声出力時の音量を制御し、ボリューム調整及び出力ミュートを行います。
音声は、映像表示パネルで選択しているカメラ（水色の枠に囲まれた）の音声を出力します。

(1)『音量＋』ボタン	音量が上がります。
(2)音量数字表示	『音量+』ボタンと『音量-』ボタンにより音量が変化します。 （最大 11、最小 0）
(3)『音量－』ボタン	音量が下がります。
(4)音量イメージ表示	『音量+』ボタンと『音量-』ボタンにより音量が変化します。
(5)『消音』ボタン	消音機能を ON/OFF にするボタンです。 **【消音 ON】** 消音を実行し、ボタン色が水色に変化します。 **【消音 OFF】** 消音を解除し、ボタン色が黒色に変化します。

① カメラからの音声入力がない場合には音声は出力されません。

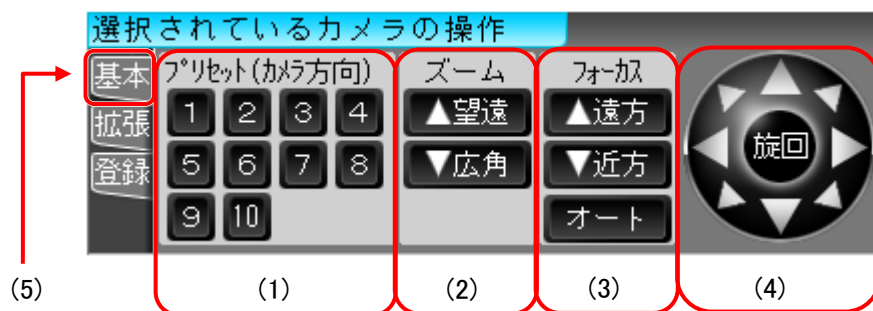
① 音声は、単画面と 4 画面で出力します。
DIGITAL MELOOK カメラを使用する場合は、最大の記録レートに制限がありますので詳細については、販売店にご相談してください。

9.4.8.　カメラ制御パネル

カメラ制御を行なうパネルです。
MELOOKμカメラの保有している機能を表示し、選択されているカメラの制御不可のボタンは無効表示となります。
また、ライブ再生中/記録再生モード時/全機能無効カメラ選択時には本パネルは表示されません。

Ⓘ DIGITAL MELOOK ネットワークカメラは自動表示されません。DIGITAL MELOOK ネットワークカメラを接続する場合は販売店にご相談してください。

Ⓘ カメラ制御パネルは、MELOOKμ旋回カメラ NC-2750 が接続されていない場合表示されません。

カメラ制御(基本)パネル

(1)『プリセット』ボタン	選択されている旋回型カメラに対しプリセット動作を指示します。 プリセット位置を登録していない場合でも、ボタンは表示されています。
(2)『ズーム』ボタン	選択中カメラに対しズーム動作を指示します。 **【望遠】** 望遠ズームを行います。 **【広角】** 広角ズームを行います。
(3)『フォーカス』ボタン	選択中、旋回型カメラに対しフォーカス動作を指示します。 **【遠方】** 遠方フォーカスを行います。 **【近方】** 近方フォーカスを行います。 **【オート】** オートフォーカスを行います。
(4)『旋回』ボタン	旋回型カメラに対する旋回動作を指示します。 各操作とも、連続クリックを有効とし押している間は指定旋回動作を続けます。 動作指示は、以下に示す 8 通りです。 **【上】** 表示位置に対し、カメラを上方向にリミット位置まで旋回します。 **【下】** 表示位置に対し、カメラを下方向にリミット位置まで旋回します。 **【右】** 表示位置に対し、カメラを右方向に旋回します。 **【左】** 表示位置に対し、カメラを左方向に旋回します。 **【右上】** 表示位置に対し、カメラを右上方向にリミット位置まで旋回します。 **【左上】** 表示位置に対し、カメラを左上方向にリミット位置まで旋回します。 **【右下】** 表示位置に対し、カメラを右下方向にリミット位置まで旋回します。 **【左下】** 表示位置に対し、カメラを左下方向にリミット位置まで旋回します。 Ⓘ カメラ上下方向の旋回はリミット位置があり、移動範囲は 0°～90°です。
(5)基本/拡張/登録切替	カメラ制御パネルの切替えを行います。 **【基本】** プリセット・ズーム・フォーカス・旋回の動作を指示します。 **【拡張】** ワイパ・照明・オートパン・オートチルト・回転台速度指定の動作を指示します。 **【登録】** プリセット登録、オートパン登録、オートチルト登録を行います。 Ⓘ ユーザーレベル 2 は、基本タブ＋拡張タブのみの表示となります。

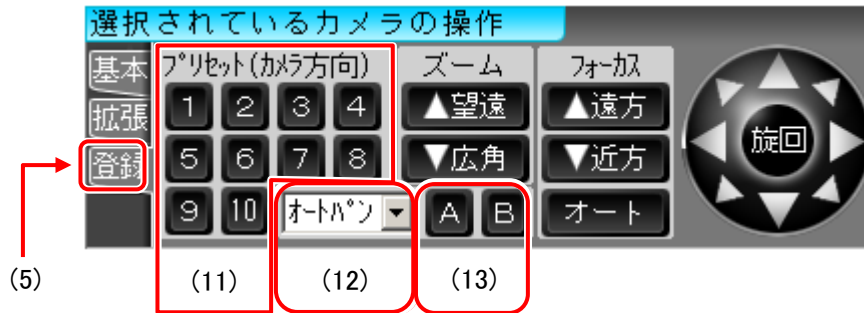
カメラ制御(拡張)パネル

(6)『ワイパ』ボタン	ワイパ対応カメラのみ押している間ワイパが動作します。
(7)『照明』ボタン	照明対応カメラの場合、照明を ON/OFF します。
(8)『オートパン』ボタン	旋回型カメラに対するオートパン動作を指示します。 登録した A、B 間を水平方向に繰返し監視します。
(9)『オートチルト』ボタン	旋回型カメラに対するオートチルト動作を指示します。 登録した A、B 間を垂直方向に繰返し監視します。
(10)回転台速度	旋回型カメラに対する旋回動作速度を指示します。 【速い】 回転台の速度を高速に設定します。 【遅い】 回転台の速度を低速に設定します。 【オート】回転台の速度を自動で設定します。

➡ MELOOK μ 旋回カメラ NC-2750 を接続した場合、マニュアルによる旋回動作のみズーム値により動作速度が異なり、その他の動作は、中速になります。
DIGITAL MELOOK ネットワークカメラを接続した場合の動作は、全て中速になります。

➡ 各ボタン選択時にはボタンの色が水色に変化します。

カメラ制御(登録)パネル

ユーザーレベル 1 もしくは 2 を選択している場合、カメラ制御(登録)パネルは非表示となります。

(11)『プリセット登録』ボタン	選択中カメラに対しプリセット登録します。 1 カメラ最大 10 地点まで設定可能です。
(12)オートパン・オートチルト選択	オートパン・オートチルトどちらを登録するか指定します。
(13)『オートパン・オートチルト ポジション登録』ボタン	オートパン・オートチルトの監視　始点/終点を登録します。

設定方法は、下記を参照して実施してください。

＜プリセット登録＞

カメラをズーム、フォーカスおよび旋回ボタンを使用して希望の画面となるように調整します。
その後、プリセットボタンの任意の番号を押して登録します。

＜オートパン、オートチルト＞

オートパンもしくはオートチルトのいずれかを選択します。
カメラを始点の位置に旋回ボタンを使って合わせます。
『A』ボタンを押して始点を登録します。次に終点の位置を決め、『B』ボタンを押して確定します。

オートパン、オートチルトは各 1 種類登録できます。

9.4.9. 再生制御パネル

記録した映像の再生を行います。
動作中のボタンは、水色で表示します。

再生制御パネル

(1)時刻指定　　時刻指定方法を、YY(年)/MM(月)/DD(日) hh(時):mm(分):ss(秒) とし、それぞれ指定範囲は次の通りとします。

例)08/01/10 15:00:00

ⓘ 起動直後は現在時刻が設定されています。一度再生を実施すると再生停止時刻が設定されます。

時刻指定範囲

指定	範囲
西暦(下 2 桁)	08～37 (2 桁表示)※西暦は 2008 年～2037 年が有効範囲となります。
月	01～12(2 桁表示)
日	01～31(2 桁表示)※月指定、閏年に関係なく最大 31 まで指定が可能です。
時	00～23(2 桁表示)
分	00～59(2 桁表示)
秒	00～59(2 桁表示)

表示例) 08/01/10 15:00:00

(2)再生速度指定　　早送りボタンと早戻しボタンのみ有効となる再生速度指定ボックスです。
但し分割画面により設定有効範囲が以下のように変わります。

【単画面】　2 倍速、4 倍速、8 倍速有効

【4 画面】　2 倍速、4 倍速、8 倍速有効

【9 画面】　2 倍速、4 倍速有効。 8 倍速は無効です。

【10 画面】　2 倍速、4 倍速有効。 8 倍速は無効です。

【13 画面】　2 倍速、4 倍速有効。 8 倍速は無効です。

【16 画面】　2 倍速、4 倍速有効。 8 倍速は無効です。

(3)『再生』ボタン　　記録した映像・音声を再生するボタンです。

【早戻し】　再生速度指定ボックスに従った再生速度で逆再生を行います。

【逆再生】　1 倍速逆再生を行います。

【コマ戻し】　1 フレーム逆再生を行い、一時停止状態となります。

【一時停止】　再生中、一時停止となります。
停止中(ライブ中)は無効表示となります。

【停止】　再生を停止(このときライブ表示に切替わります)します。

【コマ送り】　1 フレーム順再生を行い、一時停止状態となります。

【再生】　1 倍速順再生を行います。

【早送り】　再生速度指定に従った速度で順再生を行います。

(!) 音声の再生は【再生】中のみとなり、その他の操作では再生されません。

(4)『ライブ中再生』ボタン　　ライブ中再生モードへ切替えるボタンです。
単画表示時は使用できません(『ライブ中再生』ボタンは無効表示となります)。
分割画面(4,9,10,13,16)において、ライブ中再生モードに遷移します。
選択カメラのみ再生映像を表示(選択枠が水色から緑色に変化)し、それ以外のカメラ映像はライブ表示となります。

(5)『静止画保存』ボタン　　表示中の映像を静止画で保存します。
単画面の再生モードで、一時停止中の場合のみ有効となります。
分割画面及び、ライブ表示中は無効表示となります。

(!) ユーザーレベル 3 のみ使用可能な機能です。

(6)『ちょっと前再生』ボタン　　ライブ表示中は現在時刻、再生中は再生時刻の 5 秒前から再生(1 倍速順再生)開始します。

(7)再生時刻表示　　再生されている映像の記録の年月日と時間を表示します。

(!) 録画映像の先頭に追いついた場合や、最過去映像に追いついた場合は自動的に一時停止します。

(!) 記録の最古、最新部分以外でも再生が一時停止することがありますが、その場合は再生ボタンを押して再生を継続してください。

(!) 直近の録画映像に対して「ちょっと前再生」を実施した場合、5 秒前からの再生ができないことがあります。この場合は、録画映像の最新時刻から再生されます。

(!) 分割画面再生時、再生時刻は映像の選択枠が表示されているカメラの時刻を表示します。また、再生画像が表示されていないカメラが選択されている場合には、再生時刻は表示されません。

- 再生速度指定は、次回操作から有効となります。よって、早送り/早戻し再生中に変更しても再生速度は変わりませんが異常ではありません。
- 分割画面表示状態で再生を一時停止した場合、カメラごとの映像記録の状態の影響で、静止画が表示されない（黒画面表示）場合がありますが、異常ではありません。単画に切替えて確認してください。
- 映像再生中は「設定とその他の操作」パネルの『操作ボタンを非表示』ボタンのみ選択が可能となり他のボタンは選択できなくなります。『停止』ボタンを押すか再生が終了すると、選択可能となります。
- 単画面表示で、ライブ表示や再生を行ったとき、切替え途中の画面が見えることがありますが、異常ではありません。
- ライブ中再生では、記録していないカメラを選択しないでください。

10.応用操作

10.1. 各種設定について

本レコーダーで設定できる項目について説明します。
本項目の操作は、あらかじめユーザーレベル 3 に設定してください。
「設定とその他の操作」パネルの『設定/登録』ボタンを押すと「設定/登録」画面を表示します。

Ⓘ 設定の手順は【手順 1】「設定項目を指定してください。」から開始します。

“設定項目を指定”のウィンドウに設定可能な項目が表示されます。

Ⓘ ユーザレベルによって設定できる項目が異なります。
詳細は「9.3.ユーザーレベル」32 頁を参照してください。

設定/登録
設定情報を変更します。

設定項目を指定
【手順 1】設定項目を指定してください。

情報表示
システム設定
映像表示設定
記録設定
スケジュール設定
アラーム設定
デバイス設定
パスワード設定
時刻設定

情報表示
情報表示を行います。

『デバイス稼動状況』

デバイス接続状況

デバイス	状態
内蔵HDD(C)	稼動中
内蔵HDD(D)	稼動中
CD/DVD(E)	稼動中
USBメモリ(F)	停止中
USBメモリ(G)	停止中
増設HDD(H)	稼動中
増設HDD(I)	停止中
増設HDD(J)	稼動中
増設HDD(K)	停止中

マスターデバイス情報

名称	記録状態	全容量	最古時刻	最新時刻
マスターデバイス	記録中	15(GB)	081003_11:55:37	081003_12:55:37

記録再開　リピート記録が無効で残容量がなくなった場合は『記録再開』ボタンを押してください。
記録が再開され、最古データから上書きされます。

『カメラ接続状態』

名称	状態	画像サイズ	受信レート	ステータス
カメラ1	接続中	VGA	30fps	00000000
MELOOK μ-2	未接続			
カメラ3	接続中	VGA	30fps	00000000
MELOOK μ-4	未接続			
カメラ5	接続中	VGA	30fps	00000000
MELOOK μ-6	未接続			
カメラ7	接続中	VGA	30fps	00000000
MELOOK μ-8	未接続			
カメラ9	接続中	−	−	−
DIGITAL MELOOK-2	接続中	−	−	−
DIGITAL MELOOK-3	接続中	−	−	−
DIGITAL MELOOK-4	接続中	−	−	−
DIGITAL MELOOK-5	未接続	−	−	−
DIGITAL MELOOK-6	未接続	−	−	−
DIGITAL MELOOK-7	接続中	−	−	−
DIGITAL MELOOK-8	未接続	−	−	−

最新の状態を表示する場合は『更新』ボタンを押してください。　更新

最初の画面に戻る

MITSUBISHI
07/12/21 11:56
LEVEL4
読込先 マスター
機器の故障
操作エラー
アラーム
アラームを一時停止
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16
カメラの自動切替
カメラの名称表示
カメラ音量 5
消音

Ⓘ 設定変更した場合は、変更内容を反映するため、装置は自動的に再起動します。
再起動後は、ユーザーレベル 1 となります。
また、一部の機能に関しては即時更新(再起動しないで設定が更新される場合)の設定もあります。

10.1.1.　情報表示

画面表示時に情報を取得し、現在の動作状態を表示します。

情報表示画面

【手順 1】『設定/登録』ボタンを押し、「設定項目を指定」画面で「情報表示」を選択します。

(1)デバイス稼動状況　　内蔵 HDD、DVD ドライブの接続情報を表示します。

(2)マスターデバイス情報　　マスター/ミラーリングデバイスとして登録されている HDD の情報を表示します。
デバイス情報表示される情報は、「名称」「記録状態」「全容量」「最古時刻」「最新時刻」です。

(3)『記録再開』ボタン　　リピート記録が無効で残容量がなくなった場合に『記録再開』ボタンを押すと記録は最古のデータより上書きされます。
記録が停止している場合は、モードにかかわらず 10 分間隔で確認メッセージが表示され、記録を再開することを促します。

(4)カメラ接続状態　　MELOOKμ カメラ、DIGITAL MELOOK ネットワークカメラが接続中かどうかと各カメラの設定情報を表示します。表示する情報はカメラにより異なります。

MELOOKμ カメラ　:「状態」、「画像サイズ」、「受信レート」、「ステータス」

DIGITAL MELOOK ネットワークカメラ　:「状態」

(5)『更新』ボタン　　表示している情報を更新します。

ⓘ 接続状態によっては、画面が表示(更新)されるまでに 10 秒程度かかる場合がありますが、異常ではありません。

10.1.2.　システム設定

電源投入時に表示される画面の設定を変更する場合に使用します。
「分割画面数」、「全画面表示」の有無、「カメラ名称」の表示の有無、「カメラの自動切替」の有無、時刻合せ用の時刻指定の設定ができます。

システム設定画面

【手順 1】「設定項目を指定」画面で「システム設定」を選択します。

【手順 2】電源投入時に表示される画面の設定をします。

(1)起動開始画面設定　　画面表示時には現在設定されている値を表示します。

【分割画面数】　画面の分割数を設定します。
「単画」「4 分割」「9 分割」「10 分割」「13 分割」
「16 分割」から選択できます。

参考 「9.4.6.画面制御パネル」48 頁を参照してください。

【全画面表示】　全画面表示の有無を設定します。
「する」　：全画面で表示します。
「しない」：通常画面で表示します。

参考 「9.4.6.画面制御パネル」48 頁を参照してください。

【カメラの名称】　　　画面にカメラ名称の表示有無を設定します。
「表示する」　:カメラ名称を表示します。
「表示しない」:カメラ名称を表示しません。

参考 ⇨ 「9.4.6.画面制御パネル」48 頁を参照してください。

【カメラの自動切替】　カメラの自動切替えの有無を設定します。
「する」　:カメラの自動切替えを実行します。
「しない」:固定画面を表示します。

参考 ⇨ 「9.4.6.画面制御パネル」48 頁を参照してください。

(!) 10.1.3. 映像表示の設定にて、分割画面指定の頁設定を表示しない(頁表示設定 OFF)を行った場合、本設定は無効となり、デフォルト(分割画面数:単画、全画面表示:しない、カメラの名称:表示しない、カメラの自動切替:しない)で動作します。この後に映像表示設定にて、分割画面指定の頁設定を表示する(頁表示設定 ON)を行うと、本設定は有効になります。

【手順 3】時刻合わせ用の接点が入力したときに設定する時間を選択します。
(2)時刻合わせ時間設定　　1 時～23 時の範囲で 1 時間単位の設定が可能です。

(!) 本設定は、時刻合せ用接点を接続した場合のみ有効です。

参考 ⇨ 「10.3.1.アラーム端子とI/O端子」91 頁を参照してください。

【手順 4】Web 配信の有無を選択します。
(3)Web 配信の有無設定　　「する」　:Web 配信を利用する場合。
「しない」:Web 配信を利用しない場合。
(!) 本設定は、VPN/インターネットに接続されている場合のみ有効です。

【手順 5】音声を受信してから再生するまでの遅延量を指定します。
(4)音声遅延量設定　　ライブ時、再生時ともに 10msec～2000msec の範囲を 10msec 単位で設定可能です。

【手順 6】設定を保存するか、中断するかを選択します。
(5)『設定』ボタン　　設定内容を保存し、「設定/登録」画面に戻ります。

10.1.3.　ネットワーク設定

本レコーダーのネットワーク設定を行ないます。

ネットワーク設定画面

【手順 1】「設定項目を指定」画面で「ネットワーク設定」を選択します。

【手順 2】本レコーダのネットワーク設定を行ないます。

(1)ネットワーク設定　　装置の IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定します。画面表示時に現在設定されている値を表示します。

【IP アドレス】	本レコーダーの IP アドレスを入力します。
【サブネットマスク】	本レコーダーのサブネットマスクを入力します。
【デフォルトゲートウェイ】	本レコーダーのデフォルトゲートウェイを入力します。 （ルーターの IP アドレスを設定します。）

(2)(ソフトウェア)キーボード　　設定する項目に「数字」、「ピリオド」を入力します。「BS」は最後尾から一文字削除します。

【手順 3】設定を保存するか、中断するかを選択します。

(3)『設定』ボタン　入力チェックを行い、不正である場合はメッセージボックスを表示します。
正常である場合は、確認メッセージを表示し、変更した内容を反映します。

10.1.4.　カメラ設定

本レコーダーに接続されているMELOOKμ シリーズカメラおよびデジタルMELOOKネットワークカメラの設定を行います。

カメラ設定画面

【手順 1】「設定項目を指定」画面で「カメラ設定」を選択します。

（1）カメラ種別設定　　現在登録されているカメラ種別以外の追加登録が必要な場合は、ここで新しいカメラ種別の設定を行います。
「MELOOKμ シリーズカメラ」/「DIGITAL MELOOKネットワークカメラ」を変 更すると、カメラ種別に表示される内容を変更します。
カメラ設定画面表示時は「MELOOKμ シリーズカメラ」及び先頭に登録されているカメラ種別が選択状態となります。
新しいカメラ種別を追加登録する場合は、追加するカメラの取扱説明書を参照して制御を行う項目のチェックボックスをチェックし、追加登録を行ってください。

【手順 2】接続するDIGITAL MELOOKネットワークカメラの受信レートを選択します。

（2）受信レート設定　　MELOOKμ シリーズカメラ、DIGITAL MELOOKネットワークカメラの受信レートを設定します。「30fps」、「15fps」から選択します。

【手順 3】リストから設定するカメラを選択します。

（3）カメラリスト　　本レコーダーで制御可能な 16 台のカメラの割当状態を表示します。
リストで選択し、『詳細設定』ボタンを押すと詳細設定画面に入ります。
カメラ設定画面時は「No. 01」が選択状態となります。

(4)『修正』ボタン　『修正』ボタンを押すと、「詳細設定」で変更した内容が「カメラリスト」に反映されます。同カメラが別の番号で設定されている場合は、変更前のカメラと入替ります。DIGITAL MELOOKネットワークカメラの場合はネットワーク設定のチェックを行い、不正な場合はメッセージを表示します。

(5)『詳細設定』ボタン　カメラ詳細画面を表示します。
MELOOKμ シリーズカメラ接続時のみ有効であり、DIGITAL MELOOKネットワークカメラ選択時は無効表示となります。
ボタンを押した時にMELOOKμ シリーズカメラが未接続の場合はエラーメッセージを表示します。

(6)カメラ割付　「カメラリスト」で選択されているカメラに割当てるカメラを設定します。
『修正』ボタンで選択変更時は、選択したカメラの設定を表示します。

【割付】　「カメラリスト」で選択されているカメラに割当てるカメラを指定します。
選択できる値は「カメラリスト」の選択により変わります。
No.1～No.8:「MELOOKμ シリーズカメラ ※ 」「カメラ未登録」
※:選択している項目番号
例:No.1 選択時は「MELOOKμ シリーズカメラ 1」、「カメラ未登録」から選択可能です。
No.9～No.16:「DIGITAL MELOOKネットワークカメラ 1～8」、「カメラ未登録」から選択可能です。

【種別】　カメラ種別を選択します。
「割付」で選択されているカメラの属性により、選択できるカメラの種別を変更します。

(!)「カメラ未登録」が選択されている場合は表記なしの無効表示となります。

【カメラ名称】　登録されているカメラ名称から選択できます。

(!)「カメラ未登録」が選択されている場合は表記ありの無効表示となります。

【ネットワーク設定】　カメラの「IPアドレス」･「映像IPアドレス」･「映像ポート番号」･「音声ポート番号」を指定します。
割付でMELOOKμ シリーズカメラが選択されている場合は、無効表示（テキスト、チェックボックス、キーボード）となります。
入力はソフトウェアキーボードにて行い、文字入力位置は最後尾固定となります。（入力位置の変更はできません。）
IPアドレス、映像IPアドレスは最大 15 文字まで入力します。
映像ポート番号、音声ポート番号は最大 5 文字まで入力できます。

【『読込み』ボタン】　カメラから映像IPアドレス、映像ポート番号、音声ポート番号を読込みます。
エラーが発生するとエラーメッセージを表示します。

【『書込み』ボタン】　設定されている映像IPアドレス、映像ポート番号、音声ポート番号をカメラに設定します。設定を行う前に入力チェックを行い、不正な場合はエラーメッセージを表示ます。エラーが発生したするとエラーメッセージを表示します。

【ソフトウェアキーボード】「ネットワーク設定」のボタンで選択されている項目に『数字』ボタン、『ピリオド』ボタンを入力します。『BS』ボタンは最後尾から一文字削除します。

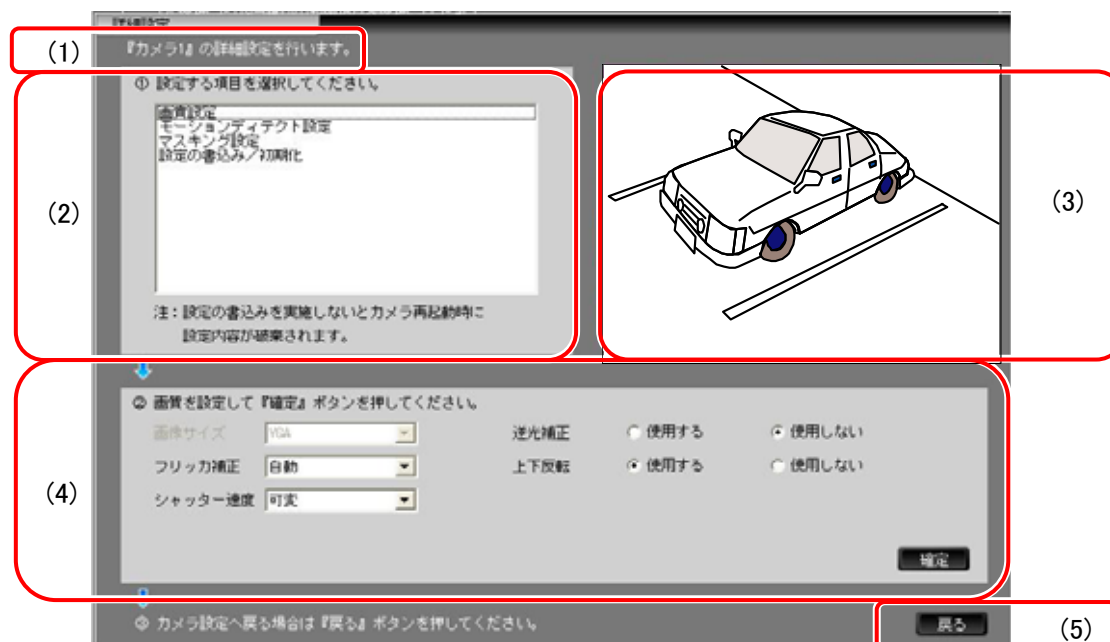
(7)『設定』ボタン　変更した内容を反映します。

【手順 4】 設定を保存するか、中断するかを選択します。

(8)『記録停止』ボタン　記録停止ボタンをクリックすると、確認メッセージを表示します。
『いいえ』ボタンを選択すると、ボタンを通常状態に戻します。
『はい』ボタンを選択すると記録を停止し、『最初の画面に戻る』ボタンと「項目選択エリア」が無効となります。また、『記録停止』ボタンは再起動するまで押された状態を継続します。記録の停止に失敗するとエラーメッセージを表示します。

10.1.4.1. カメラ詳細設定画面

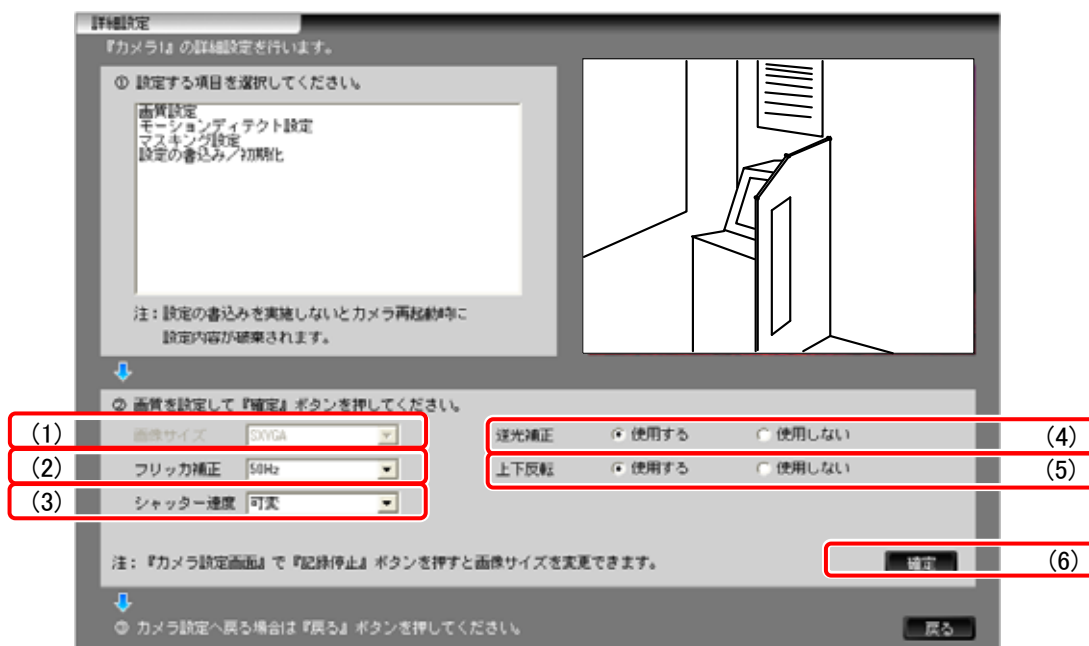
ⓘ DIGITAL MELOOKネットワークカメラの場合には、設定できません。

カメラ詳細設定画面

(1)設定カメラ表示	設定中カメラの名称を表示します。
(2)設定項目リスト	設定項目を選択します。表示される項目はカメラにより異なります。 設定項目については次頁以降に示します。 カメラ詳細設定画面表示時には「画質設定」が選択状態となります。
(3)カメラ映像	設定中カメラの映像を QVGA サイズで表示します。
(4)選択項目の設定	「設定項目リスト」で選択した項目の設定を表示します。 表示内容は選択項目により異なります。 設定項目は変更した時点で反映されます。 （直接カメラの設定を行います）

参考 ⇨「10.1.4.2 画質設定」65 頁を参照してください。

(5)『戻る』ボタン	詳細設定画面を終了し、「カメラ設定」画面に戻ります。

10.1.4.2. 画質設定

画質設定画面

(1)画像サイズ　　カメラの画像サイズを設定します。
「SXVGA」、「VGA」から選択します。

(2)フリッカ補正　　カメラのフリッカ補正を設定します。
「自動」、「50Hz」、「60Hz」から選択します。

(3)シャッター速度　　カメラのシャッター速度を設定します。
「可変」、「1/15」、「1/30」、「1/120」、「1/500」、「1/1500」、「1/3000」、「1/7500」、「1/15000」から選択します。

(4)逆光補正　　カメラの逆光補正の有無を設定します。
「シャッター速度」で「可変」を選択したすると有効表示となり、それ以外が選択した場合は無効表示となります。

(5)上下反転　　カメラの上下反転の有無を設定します。
画面表示時にカメラの設定を読込み、表示します。

(6)『確定』ボタン　　設定した内容をMELOOK μ シリーズカメラへ保存します。

参考 ご使用のカメラ取扱説明書を参照してください。

10.1.4.3. モーションディテクト設定

MELOOK μ シリーズカメラのモーションディテクト設定を行います。

モーションディテクト設定画面

(1)『全選択』ボタン　　判定ポイントの全てを有効にします。

(2)『全解除』ボタン　　判定ポイントの全てを無効にします。

(3)判定ポイント設定エリア　判定ポイントの有効/無効を設定します
(画面上、横 16×縦 12 に分割されます)。
カメラ映像を表示し、映像上をクリックすると、クリックしたポイントが反転され、有効/無効が切替ります。
有効なエリアにはマスクを表示します。
カメラ映像は静止画でも可能です。

(4)オーバーレイ　　オーバーレイ表示の有無を設定します。
「表示する」を選択すると動き検知したエリアが画像上に表示されます。
「表示しない」を選択すると動き検知をしても画像は変化しません。

(5)感度設定　　モーションディテクトの感度を設定します。
0～255 まで 1 刻みで設定します。

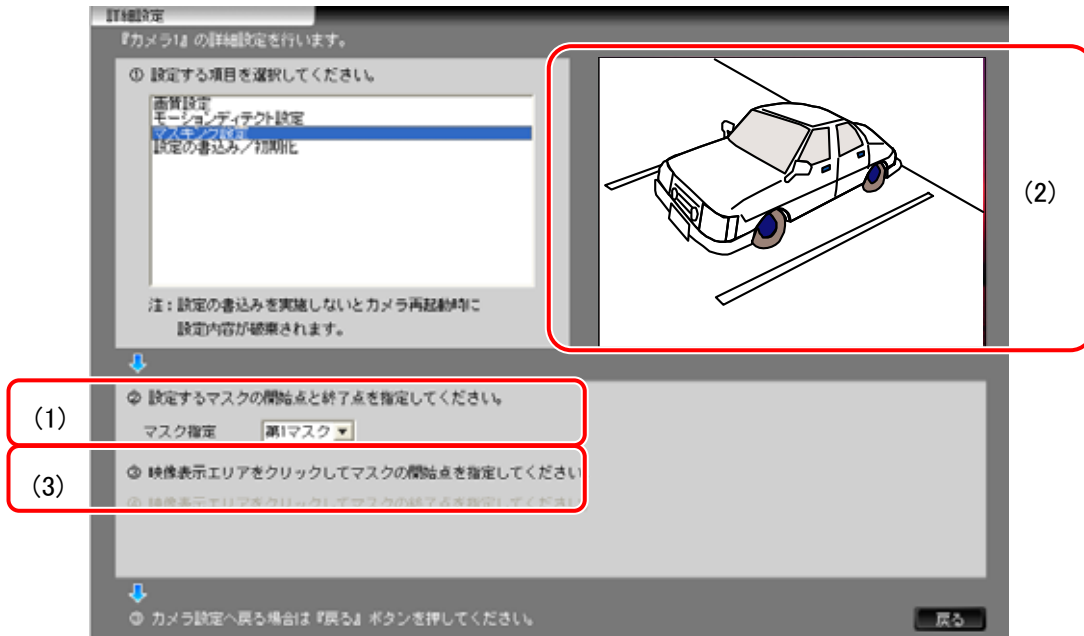
(6)発報条件　　モーションディテクトを発報する条件を設定します。
1～192 まで 1 刻みで設定します。

(7)『確定』ボタン　　設定した内容をカメラに設定します。
『確定』ボタンを押す前に設定項目が変更した場合や、『戻る』ボタンでカメラ設定画面へ戻った場合、設定内容は反映されません。

参考 ⇨ ご使用のカメラ取扱説明書を参照してください。

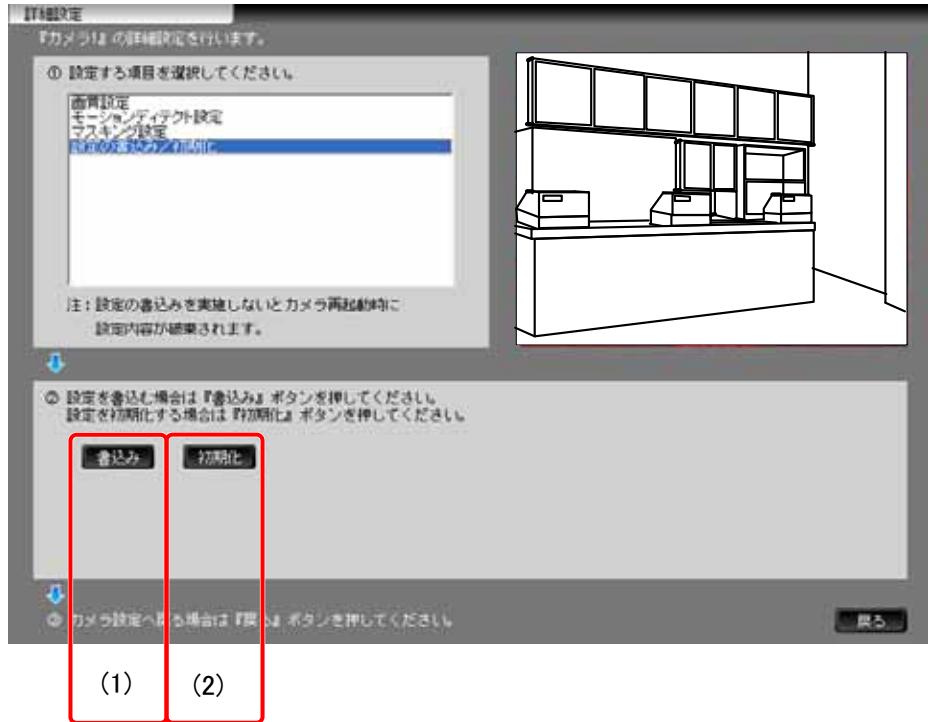
10.1.4.4.　マスキング設定

MELOOKμ カメラのマスキング設定を行います。

マスキング設定画面

(1)マスク指定	設定するマスクを指定します。 「第 1 マスク」、「第 2 マスク」、「第 3 マスク」から選択します。 マスクは全部で3パターンまで設定可能です。
(2)マスクエリア指定	マスクエリアの設定をします。 画面上をクリックすることで開始点、終了点を設定することができます。 1 回目のクリックを開始点、2 回目のクリックを終了点とし、終了点が指定した時点で、カメラに対する開始点、終了点が設定されます。 (マスクの表示はカメラ本体で行います。) 1 回目のクリック時には画像上にクリックした箇所を表示(「×」表示)します。 1 回目のクリックの後、マスク指定の変更、設定項目変更、『戻る』ボタンを押すと開始点の設定を破棄し、開始点の指定から始めます。 (!) カメラ映像は静止画でも設定可能です。
(3)手順説明エリア	開始点を指定する場合は「③映像表示エリアをクリックしてマウスの開始点を指定してください」の説明を表示し、「④映像表示エリアをクリックしてマウスの終了点を指定してください」の説明を無効表示します。 終了点を指定する場合は「③映像表示エリアをクリックしてマウスの開始点を指定してください」の説明が無効表示となり、「④映像表示エリアをクリックしてマウスの終了点を指定してください」の説明を表示します。

10.1.4.5. 設定の書込み/初期化

本レコーダーに接続されているMELOOK μ カメラおよびDIGITAL MELOOKネットワークカメラに設定内容を保存します。

設定の書込み/初期化画面

(1)『書込み』ボタン　　現在の設定をカメラ本体に記憶させます。

(2)『初期化』ボタン　　カメラの設定を初期化（工場出荷時設定に）します。

10.1.5.　映像表示

『カメラの自動切替』ボタンを押して、カメラの自動切替えを有効にした場合の映像表示パネルに表示される映像の設定を行います。自動切替えの間隔、自動切替えするカメラ番号、分割表示の有無と位置などが設定できます。

映像表示設定画面

【手順 1】「設定項目を指定」画面で「映像表示設定」を選択します。

【手順 2】自動切替時の映像切替間隔を指定します。
(1)自動切替間隔　　「2 秒」「5 秒」「10 秒」から選択します。

【手順 3】単画面自動スキャン時に表示するカメラを指定します。
(2)単画スキップ設定　　チェックボックスにはカメラ名称が表示され、表示するもの（スキップしないもの）は、“✓”をし、表示しないもの(スキップするもの)は“✓”をはずします。
設定画面には登録されているカメラ名称を表示します。
「カメラ未登録」の場合は「カメラ未登録」と表示し、無効表示となります。

【手順 4】画面の分割数を指定します。
(3)分割画面指定　　「4 分割」「9 分割」「10 分割」「13 分割」「16 分割」から選択します。

【手順 5】分割画面の頁内容を指定します。

(4)登録カメラ表示部	「分割画面指定」で選択されている分割画面の各頁に設定されているカメラを表示します。頁表示設定の ON/OFF は○/×で表示します。
(5)選択頁表示	「分割画面指定」で選択されている頁番号を表示します。
(6)表示位置確認	割当てたカメラ番号の映像がどこに表示されるかを示します。 分割画面指定が変更される度に表示は変更されます。

【手順 6】「分割画面指定」で選択されているカメラの割付を指定します。

(7)頁設定	【頁表示】	「チェックあり」 :表示します。 「チェック無し」 :表示しません。
	【カメラ指定】	選択頁に表示するカメラを指定します。 表示は設定されているカメラ名称とし、「カメラ未登録」の場合は「カメラ未登録(番号)」で表示されます。
(8)『確定』ボタン	「頁設定」で設定されている内容を「登録カメラ」表示部に反映します。 同一のカメラが設定されている場合は、エラーメッセージを表示します。	

【手順 7】設定を保存するか、中断するかを選択します。

(9)『設定』ボタン	設定を保存します。

➡ 本説明で表示しているのは 4 分割の場合ですが、他の分割画面を指定する場合には、「分割画面指定」～『確定』ボタンを繰り返し、最後に『設定』ボタンをクリックします。

(!) 「映像表示設定」画面中の、「未割付」とは指定の表示位置にカメラが割り付けられていない事を示します。「カメラ未登録」とは、カメラが登録されていない事を示します。

(!) 「頁設定」で「チェック無し」(表示無し)を指定し『確定』ボタンを押すと、その頁以降がすべて「チェック無し」(表示無し)となり、「登録カメラ」表示部が×表示(OFF)となります。

(!) 単画面表示状態から「単画切替」を行ったとき、切替え途中の画面が見えることがありますが、異常ではありません。

10.1.6.　記録設定

カメラ映像の記録に関する設定を行います。
接続されているカメラのリピート記録の有無、プリアラーム記録の有無、圧縮率などの共通項目を設定し、
カメラ毎に、記録種別や記録サイズなどの詳細設定を行います。

記録設定画面

【手順 1】「設定項目を指定」画面で「記録設定」を選択します。

【手順 2】「リピート記録」、「プリアラーム記録」及び「圧縮率」の設定をします。

(1)リピート記録設定　　マスターデバイスの容量がなくなった場合に記録を停止するか、記録順の古いデータを上書きするかを指定します。
「する」　：　記録順の古いデータから上書きします。
「しない」：　記録を停止します。

(2)プリアラーム記録設定（将来拡張予定）　　プリアラーム記録を使用するかどうかを指定します。
画面表示時に、現在設定されている値を表示します。
【使用しない】　　プリアラーム記録を使用しません。
【使用する】　　アラーム発生前の映像を記録する時間を指定します。
「5 秒」「10 秒」「15 秒」「30 秒」「60 秒」から選択することが可能です。

(3)圧縮率

MELOOKμ カメラの SXVGA 用、VGA 用の記録圧縮率が設定されます。
「1/15」「1/20」「1/25」「1/30」「1/40」から選択することが可能です。
記録画面表示時に、現在設定されている値を表示します。

(!) マスキングされたカメラ映像を記録する場合は、圧縮率を[1/25][1/30][1/40]から選んでください。

【手順 3】本レコーダーで現在設定されているカメラの記録設定情報を表示します。

(4)カメラリスト

【カメラ名称】 設定されているカメラ名称を表示します。

【記録種別】 設定されている記録名称を表示します。

【受信サイズ】 設定されているカメラの配信画像サイズを表示します。

【受信レート】 設定されているカメラの配信レートを表示します。

【記録サイズ】 設定されているカメラの画像サイズを表示します。

【最大記録レート】 設定されているカメラの最大記録レートを表示します。

【アラーム記録】 設定されているアラーム発生時の記録レートを表示します。

【音声記録】 音声記録の有無を表示します。
「○」 ： 音声記録を行います。
「×」 ： 音声記録を行いません。

【推定記録日数】 HDD の容量と各カメラの最大記録設定レートから、記録時間の目安を日数で表示します。

(!) スケジュール設定は反映されませんのでご注意してください。

【手順 4】【手順 3】で選択したカメラ毎の記録設定を行います。

(5)選択カメラ設定

「カメラリスト」で選択しているカメラの記録設定を行います。
「カメラリスト」の選択を変更した場合は、選択したカメラの設定を表示します。

【記録種別】 カメラ毎に記録種別を設定します。
「ノーマル記録」…スケジュール記録＋アラーム記録。
「アラーム記録」…アラーム発生時にのみ記録します。

【記録サイズ】 受信サイズが SXVGA のカメラのみ SXVGA と VGA 設定可能です。

【最大記録レート】 「記録停止」「0.1fps」「0.2fps」「0.5fps」「1fps」「2fps」「3fps」「5fps」「6fps」「7fps」「10fps」「15fps」「30fps」から選択できます。
但し、最大記録レートは次頁の表を参照してください。

【アラーム記録】 「記録停止」「0.1fps」「0.2fps」「0.5fps」「1fps」「2fps」「3fps」「5fps」「6fps」「7fps」「10fps」「15fps」「30fps」から選択できます。
但し、最大記録レートの設定以下しかできません。

【音声記録】 音声を記録します。音声記録はカメラ 1ch のみ対応となります。
「する」 …音声記録を行います。
「しない」…音声記録を行いません。

【『確定』ボタン】 上記変更内容を「カメラリスト」に反映します。

(!) 「ノーマル記録」から「アラーム記録」に変更した場合は自動的にスケジュール記録の設定が破棄されます。

応用操作
ビューワ遠隔監視
確認メッセージ
エラーメッセージ
故障かな
外形図
お手入れ・用語集
アフターサービス
索引

【手順 5】設定を保存するか、中断するかを選択します。
(6)『設定』ボタン　　　　　　　　　　変更した設定内容を保存します。

カメラの記録レートの最大値

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">受信サイズ</th><th colspan="2">MELOOKμカメラ</th><th rowspan="2">DIGITAL MELOOK カメラ</th></tr>
<tr><th>増設HDDユニットなし</th><th>増設HDDユニットあり</th></tr>
<tr><td colspan="2">すべて SXVGA の場合</td><td>合計 30fps 以下</td><td>合計 20fps 以下</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="2">すべて VGA の場合</td><td>合計 120fps 以下</td><td>合計 80fps 以下</td><td>合計 40fps 以下</td></tr>
<tr><td rowspan="2">混在時</td><td>SXVGA</td><td>合計 15fps 以下</td><td>合計 10fps 以下</td><td>－</td></tr>
<tr><td>VGA</td><td>合計 60fps 以下</td><td>合計 40fps 以下</td><td>合計 40fps 以下</td></tr>
</table>

記録レートの最大値は、MELOOKμカメラの値となります。MELOOKμカメラと DIGITAL MELOOK カメラの記録レートを合算した値が、MELOOKμカメラの記録レートを超えないように設定してください。

10.1.7.　スケジュール設定

カメラの映像記録のスケジュール（任意曜日、時間もしくは特定日指定など）を設定します。
カメラの映像を記録するスケジュールを細かく設定することにより、必要な時間帯のみの記録も可能です。

スケジュール設定画面

【手順 1】「設定項目を指定」画面で「記録スケジュール」を選択します。

【手順 2】スケジュール記録を設定するカメラを選択します。
　(1)カメラ選択　　　　　　　ノーマル記録を行なうカメラのみ表示されます。

【手順 3】【手順 2】で選択したカメラの記録スケジュールを設定します。
　(2)範囲指定　　　　　　　記録レートを設定する範囲を指定します。
　　　　　　　　　　　　　　「毎日」「月-金」「土-日」から選択できます。

　(3)曜日指定　　　　　　　曜日毎に設定されている記録レート(「記録停止」「0.1fps」「0.2fps」「0.5fps」「1fps」「2fps」「3fps」「5fps」「6fps」「7fps」「10fps」「15fps」「30fps」)を表示します。

　　　　　　　　　　　　　　記録レートは「10.1.6.記録設定」71 頁で設定したカメラの最大記録レートまでとなります。

(4)特定日指定　　特定日のスケジュール記録に設定されている記録レート(「記録停止」「0.1fps」「0.2fps」「0.5fps」「1fps」「2fps」「3fps」「5fps」「6fps」「7fps」「10fps」「15fps」「30fps」)を表示します。
選択した特定日の設定値を『特定日設定』に反映します。
「毎年」設定の場合は「毎年〇月〇日」のように表記します。
「毎月」設定の場合は「毎月〇日」のように表記します。
「特定日」設定の場合は「〇年〇月〇日」のように表記します。

➡ 記録レートは「10.1.6.記録設定」71 頁で設定したカメラの最大記録レートまでとなります。

(5)特定日設定　　特定日の追加・修正・削除を行います。
最大 20 件の設定が可能です。「毎年」「毎月」設定の場合は、存在しない月日も設定できます。

(!) 設定範囲の西暦は 2008 年～2037 年となります。

【特定日/毎年/毎月】　カレンダーで指定した年月日が『特定日』『毎年』「毎月」のどの設定かを指定します。

【カレンダー】　年月日を指定します。

【『登録』ボタン】　設定した特定日設定を追加します。
特定日登録最大数に達している場合は、ボタン操作可能となりますが、既に同じ指定日がある場合は、ボタンが無効表示となり、設定できません。

➡ 追加した特定日の記録レートは、最大記録レートが初期値となります。

【『修正』ボタン】　「特定日リスト」で選択中の設定を変更します。
未選択中(登録がない場合)はボタンが無効表示となります。変更した特定日の記録レートは変更前のままとなります。

【『削除』ボタン】　「特定日リスト」で選択中の設定を削除します。
未選択中(登録がない場合)はボタンが無効表示となります。

【手順 4】「レート設定」を実施します。

(6)『レート設定』ボタン　　レート設定画面を表示します。

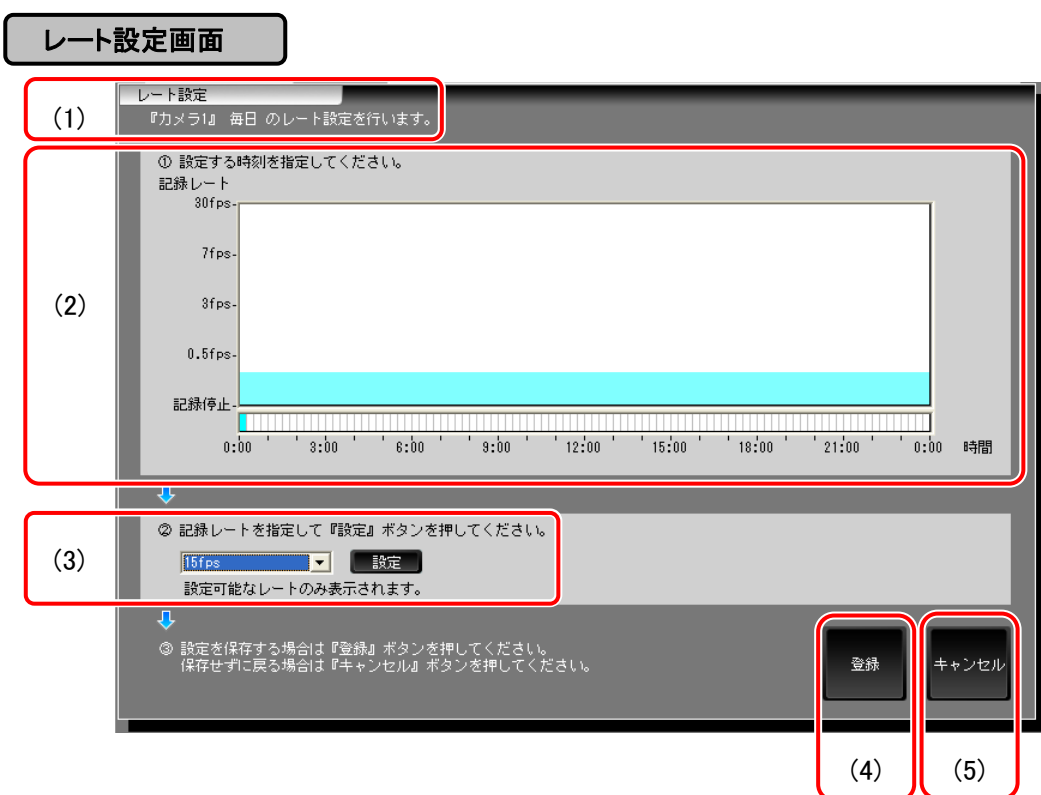
参考 ⇨ 「10.1.8.レート設定」76 頁を参照してください。

【手順 5】設定を保存するか、中断するかを選択します。

(7)『設定』ボタン　　設定された内容を保存します。

10.1.8.　レート設定

記録レートの設定を行います。(スケジュール設定画面内にある【手順　4】の『レート設定』ボタンを押すと下図の画面に移ります。)

レート設定画面

(1)設定カメラ表示	設定中カメラの名称と設定している曜日、もしくは特定日を表示します。
(2)設定時刻指定	設定する時刻を 15 分単位で指定できます。
(3)記録レート設定	「設定時刻指定」で選択した期間のレートを変更します。 『設定』ボタンを押すと変更したレートが「設定時刻指定」に反映されます。指定できる記録レートはカメラの登録台数、カメラの種類に応じて異なります。 レート設定画面表示時に「記録停止」を選択状態とします。
(4)『登録』ボタン	変更した内容を反映し、レート設定画面が非表示になり、「スケジュール設定画面」に戻ります。ただし、「スケジュール設定」画面の『設定』ボタンを押すまでは登録されません。
(5)『キャンセル』ボタン	変更した内容を破棄し、レート設定画面を非表示にし「スケジュール設定」画面に戻ります。

➡ 記録レートの設定手順を次頁に示します。

レート設定手順

（例：金曜日のカメラ記録スケジュールを〇〇時から〇〇時まで〇〇fps に変更する場合）

手順 1：指定する時刻の開始点をマウスの左をクリックし指定します。

手順 2：手順 1 で指定した開始点からマウスのドラッグ操作により、指定する時刻の終了点まで移動しマウスの左クリックをはずします。

手順 3：ボタンから記録レートを選択し、設定ボタンを押します。上記の手順 2 で指定した時刻の範囲に記録レートが設定されます。

10.1.9.　アラーム設定

アラームの解除、登録情報リストの表示、連動カメラの設定、動作設定等を実施します。
アラーム連動できるカメラは 4 台までとなります。

アラーム設定画面

【手順 1】「設定項目を指定」画面で「アラーム設定」を選択します。

【手順 2】アラーム発生から解除するまでの時間を選択します。
　(1)アラーム自動解除時間　　「10 秒」「30 秒」から選択することが可能です。

【手順 3】アラームを選択しアラーム名称を設定し、リスト表示します。
　(2)アラーム登録情報リスト　　画面表示時にリストの先頭が選択状態となります。
表示するアラームの順序は「接点 01～08」(固定)を表示し、動き検知機能のあるカメラをカメラ番号順に表示します。

【アラーム種別】　アラームの種別を表示します。
「接点」および「”カメラ名称” 動き検知」のいずれかを表示します。

【番号】　アラーム番号を表示します。
「接点」の場合は 01～08、「動き検知」の場合は MELOOKμシリーズ 01～10、DIGITAL MEKOOK シリーズ 01～16 となります。

【名称】　　　　　　　あらかじめ登録されているアラーム名称を表示します。
【連動カメラ】　　　　アラームに連動するカメラ(1～4 台)の名称を表示します。

(3)アラーム名称指定　　「アラーム登録情報リスト」で選択されているアラームの名称を指定します。
選択候補はあらかじめ登録されているアラーム名称から選択します。

➡ 同一名称を複数のアラームに設定することが可能です。

【手順 4】選択したアラームに連動するカメラの設定を行います。

(4)アラーム連動
カメラ連動動作設定

【連動カメラ】　　　　連動できるカメラを指定します。

【アラーム発生時カメラ制御】
アラーム発生時のカメラ制御を指定します。
「制御なし」「プリセット 2」～「プリセット 10」から選択します。

【アラーム発生時記録レート】
連動カメラに設定されているアラーム時記録レートを表示します。

➡ 表記は fps 単位となります。

【アラーム解除時カメラ制御】
アラーム解除時のカメラ制御を指定します。
「制御なし」「プリセット 1」から選択できます。

(5)『登録』『修正』『削除』ボタン

「連動カメラ連動動作設定」で設定されている内容を、「アラーム登録情報リスト」「連動カメラ詳細リスト」に反映します。

【『登録』ボタン】　(1)～(4)で設定した内容が「連動カメラ詳細リスト」に追加されます。既に 4 台登録されている場合、もしくは同一カメラが既に登録されている場合は追加できません。

【『修正』ボタン】　「連動カメラ詳細リスト」で選択されている連動カメラの設定を更新します。未選択の場合(登録なしの場合)は「登録」と同じ処理が行われます。

【『削除』ボタン】　「連動カメラ詳細リスト」で選択されている連動カメラが削除されます。

(6)連動カメラ詳細リスト　　「アラーム登録情報リスト」で選択しているアラームに登録されているカメラの詳細情報を表示します。リストを選択すると「連動カメラ詳細リスト」に設定内容を反映させます。

【手順 5】設定を保存するか、中断するかを選択します。

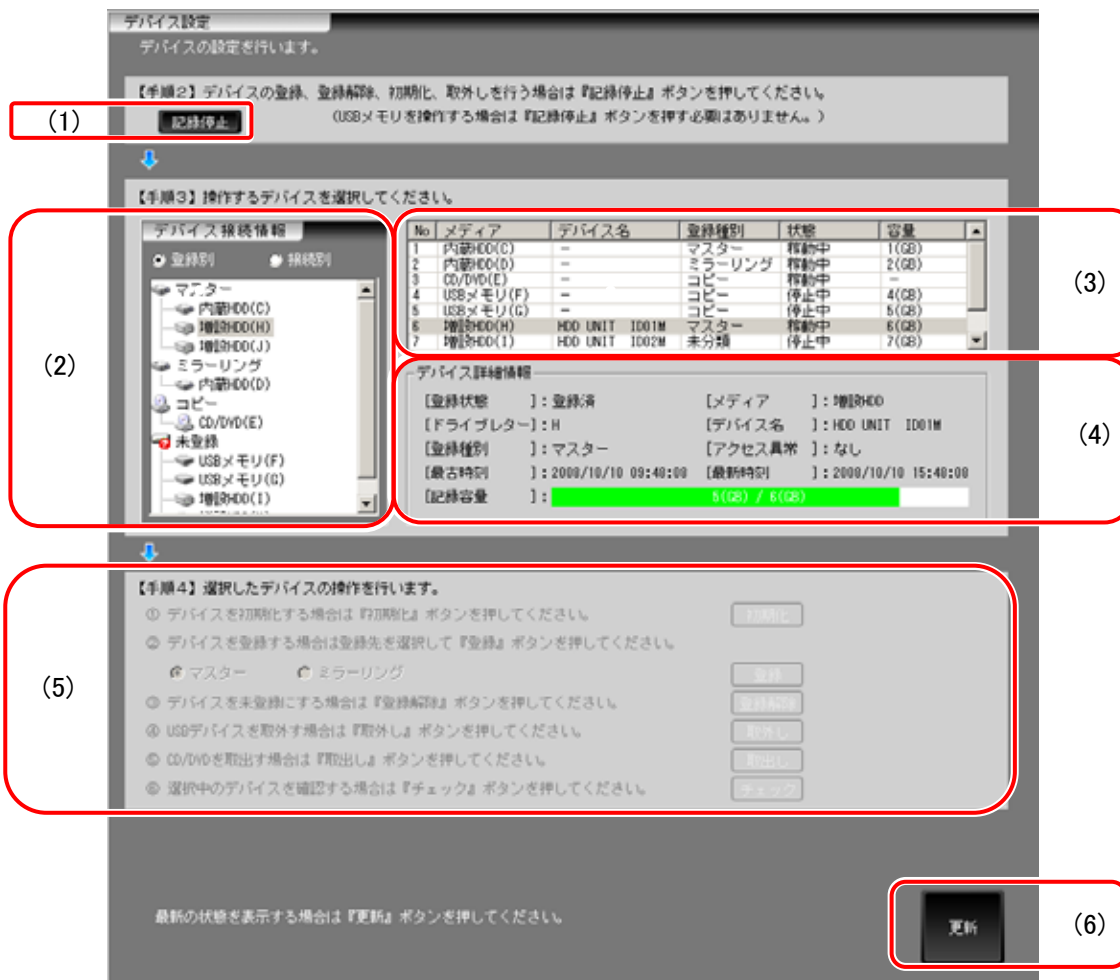
(7)『設定』ボタン　　変更した内容を設定します。

(!) 「動き検知」は、画面の中で動く物がある場合に検知する機能です。接続するカメラ側での設定となりますので、販売店にご相談してください。

(!) DIGITAL MELOOK のモーションディテクトは、設定したプリセット位置を表示している間のみ有効となります。設定を変更した場合は、指定したプリセット位置を表示していることを確認してください。

10.1.10.　デバイス設定

画面表示時にデバイス情報を取得し、デバイスの登録状態を設定します。

デバイス設定画面

【手順 1】「設定・登録」画面で現在記録しているデバイスの記録を停止します。

(1)『記録停止』ボタン　　『記録停止』ボタンを押すと、確認メッセージが表示されます。

【はい】　　記録中のデバイスの記録を停止します。

(!) 記録停止の状態で『最初の画面に戻る』ボタンを押すと、変更内容を設定ファイルに出力して、再起動されます。

【いいえ】　　ボタンが通常状態にかわり、記録停止を中断します。

【手順 2】操作するデバイスを、「デバイス接続情報」もしくは「デバイス一覧リスト」から選択します。

(2)デバイス接続情報　　接続しているデバイスの情報を表示します。

【登録別】　　登録別に接続されている、デバイスを表示します。

【接続別】　　接続別に登録されている、デバイスを表示します。

(3)デバイス一覧リスト　　接続されているデバイスの一覧をリスト表示します。

【No】　　1 からの通し番号を表示します。

【メディア】　　メディアの種類を表示します。

【デバイス名】　　デバイス名を表示します。

➡ 増設 HDD ユニットの ID 設定やモード設定の確認の参考としてください。

【登録種別】　デバイスの登録種別を表示します。

【状態】　デバイスの状態を表示します。

【容量】　デバイスの容量を表示します。

(4)デバイス詳細情報　デバイス接続情報またはデバイス一覧リストで選択したデバイスの詳細情報を表示します。

【登録状態】　デバイスが登録されている場合には「登録済」が表示されます。未登録の場合には、「未登録」と表示されます。

【ドライブレター】　ドライブレターを表示します。表示は“A”～”Z”となります。

【デバイス名】　デバイス名を表示します。

【メディア】　登録されているメディアの種別が表示されます。

【登録種別】　メディアの登録種別が表示されます。

【アクセス異常】　メディアへのアクセスが異常の場合「あり」が表示されます。

【最古時刻】　記録の最古時刻が表示されます。

【最新時刻】　記録の最新時刻が表示されます。

【記憶容量】　メディアの記憶容量が表示されます。

(!) 記録の 2 巡目以降は、記録がフルの表示となります。

【手順 3】「デバイス接続情報」もしくは「デバイス一覧リスト」で選択したデバイスを操作します。

(5)デバイス操作エリア　デバイスの操作を選択します。

(!) デバイスの操作内容は、選択したデバイスの接続・登録状態によって異なります。

【初期化】　デバイスを初期化します。

【登録】　デバイスを登録します。

(!) 増設 HDD ユニットを登録するときに、記録レート設定が、73 頁に示すカメラの記録レートの最大値を超えている場合は、記録レートを半分にする確認メッセージが表示されます。了解した場合は、記録設定及びスケジュール設定を確認してください。

【登録解除】　登録してあるデバイスの登録解除を行ないます。

(!) 増設 HDD ユニットをカスケード接続している場合、親側の増設 HDD ユニットを登録解除するときに、子側も登録解除する確認メッセージが表示されます。

【取外し】　USB デバイスを取外します。

(!) カスケード接続している場合、親側の増設 HDD ユニットを取外すときに、子側も取外す確認メッセージが表示されます。

【取出し】　CD/DVD を取出します。

【チェック】　選択しているデバイスがどれかを確認します。『チェック』ボタンを押すと、選択している増設 HDD ユニットのアクセス LED を点灯させます。

【手順 4】『更新』ボタン　変更した内容を反映し、デバイスリストを取得し、「デバイス接続情報」「デバイス一覧リスト」「デバイス詳細情報」を更新・表示します。

(!) デバイスリストの取得に失敗した場合には、「デバイス接続情報」「デバイス一覧リスト」「デバイス詳細情報」は、表示されません。

10.1.11. パスワードの設定

ユーザーレベルごとにパスワードを設定することができます。
工場出荷状態の設定の変更を行なう場合などに使用します。

パスワード設定画面

【手順 1】「設定項目を指定」画面で「パスワード設定」を選択します。

【手順 2】ユーザーレベルを選択し、パスワード設定を行います。

(1)ユーザーレベル選択　　パスワードを変更するユーザーレベルを選択します。
「LEVEL2」、「LEVEL3」、「LEVEL1（Web）」から選択ができます。

LEVEL2	：ユーザーレベル 2
LEVEL3	：ユーザーレベル 3
LEVEL1（Web）	：遠隔監視用ユーザーレベル 1

(2)現在パスワード入力エリア　　「ユーザーレベル選択」で選択したユーザーレベルに設定されている現行のパスワードを、テンキーから入力します。
入力文字は全て「 ＊（半角アスタリスク）」で表示されます。
最大 8 文字まで入力できます。
『確定』ボタンクリックで登録されているパスワードと照合されます。一致していれば、「現在パスワード入力」エリア、「新パスワード再入力」エリアを無効表示に「新パスワード入力」エリアが有効になります。
一致していなければ、入力されている全ての文字をクリアします。

(!) 「LEVEL1（Web）」は、遠隔監視専用のパスワードです。同じパスワードを異なるレベルで登録した場合、低いレベルでログインします。

(3)新パスワード
入力エリア

変更するパスワードを入力します。
入力文字は全て「 ＊（半角アスタリスク)」で表示されます。
最大 8 文字まで入力できます。
『確定』ボタンクリックで既に登録されているパスワードと重複しないかをチェックします。
既に登録されているパスワードと重複していない場合は、「新パスワード入力」が無効表示となり、「新パスワード再入力」エリアを有効にします。
既に登録されているパスワードと重複している場合は、入力されている全ての文字がクリアされます。

(4)新パスワード

「新パスワード入力」エリアで入力したパスワードと同一のパスワードを入力します。再入力エリア　入力文字は全て「 ＊（半角アスタリスク)」で表示されます。
最大 8 文字まで入力できます。
『確定』ボタンクリックで「新パスワード入力」エリア、「新パスワード再入力」エリアの照合を行います。一致している場合は、「新パスワード再入力」エリアが無効表示となります。一致していない場合は、エラーメッセージを表示します。

(5)『変更』ボタン

「ユーザーレベル選択」で選択したユーザーレベルのパスワードを「新パスワード入力」エリア、「新パスワード再入力」エリアで入力したパスワードに変更します。

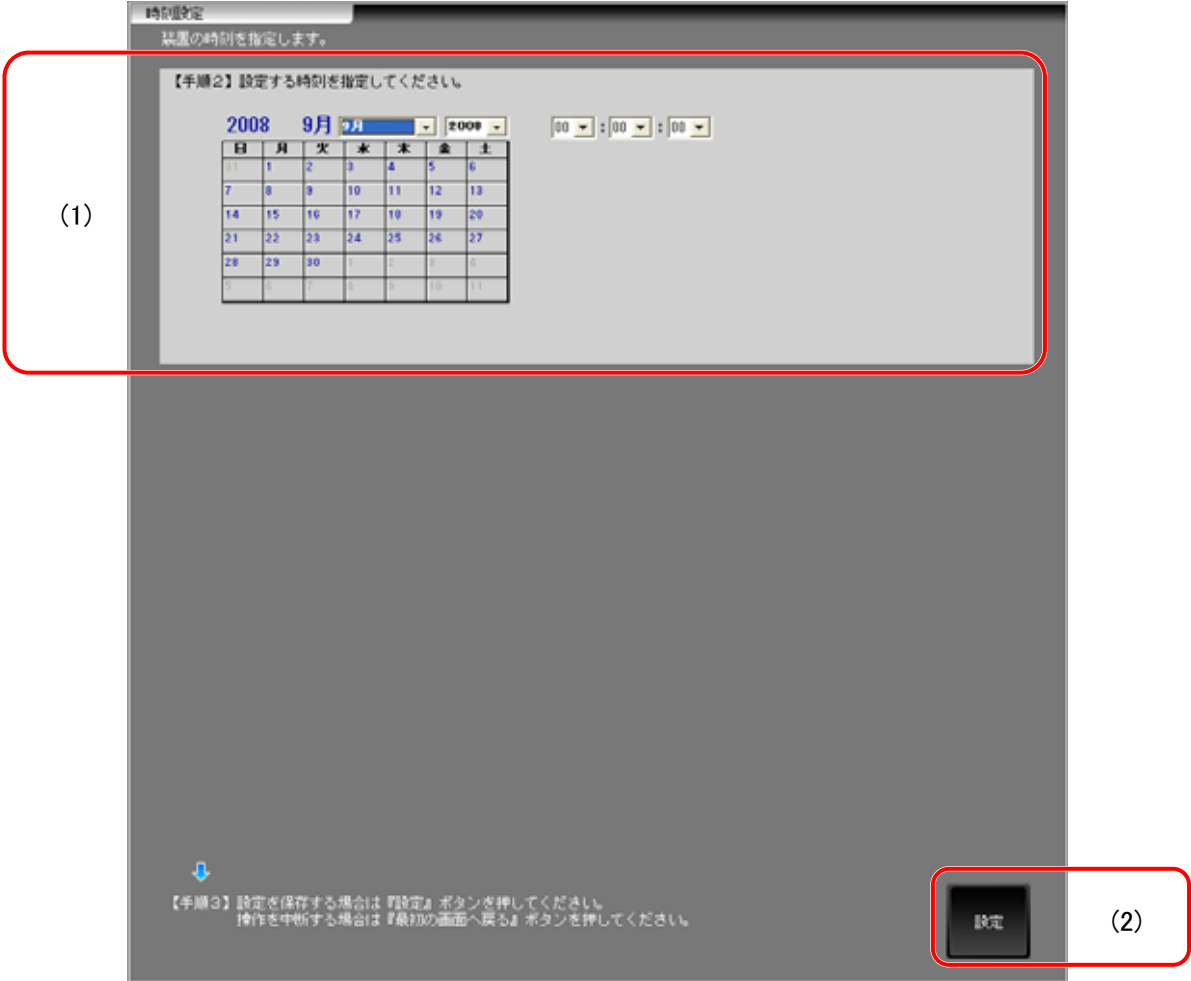
(!) 変更を反映する前に、確認メッセージを表示し、『はい』ボタンを選択した場合は変更した内容を反映します。『いいえ』ボタンを選択した場合は変更内容が反映されません。

(6)テンキー

「現在パスワード入力」エリア～「新パスワード再入力」エリアに文字を入力します。
入力文字は「0～9」、「＊」、「＃」、
『クリア』ボタンクリックで一括消去、
『確定』ボタンクリックで入力したパスワードが確定されます。

10.1.12.　時刻設定

本レコーダーの時刻設定をします。

時刻設定画面

【手順 1】「設定項目を指定」画面で「時刻設定」を選択します。

【手順 2】設定する時刻を設定します。

(1)時刻設定エリア　　現在の日付と時刻を指定できます。
時刻指定画面表示時は現在時刻を表示します。

(!) 時刻設定画面表示時にのみ更新されます。
設定できる範囲は、2008 年 1 月 1 日 00:00:00 から 2037 年 12 月 31 日 23:59:59 までです。範囲外を設定した場合、エラーメッセージを表示します。

(2)『設定』ボタン　　設定した時刻を保存します。

10.1.13. 管理設定

設定データを USB メモリに保存する場合や、USB メモリから設定データを入力する場合に使用します。

管理設定画面

(1)操作履歴表示エリア　　操作履歴を表示します。

(2)インポート/エクスポート　　USB メモリへのインポート/エクスポートを行います。

- USB メモリを接続していない場合は使用できません。
- 「管理設定画面」を表示中に USB メモリを接続しても自動では認識しません。別の画面へ表示した後に再度「管理設定画面」を表示してください。

【デバイス指定】　　インポート/エクスポートを行う USB メモリを指定します。

『インポート』ボタン　　USB メモリに保存されている設定ファイル(NR-2000.ini、NameInfo.ini)やロゴ画像ファイル(Title.jpg)を装置にコピーします。
読込みフォルダの指定についてはを参照してください。

- 指定フォルダに一部のファイルのみ存在する場合でもインポートすることができます。

ⓘ ロゴ画像は幅 78pixel 、高さ 80pixel の JPEG ファイルのみ対象となります。上記サイズ以外の JPEG ファイルをインポートした場合は正しく表示されない場合があります。

ⓘ インポートが正常に終了した場合は再起動します。

『エクスポート』ボタン　装置内の設定ファイル（NR-2000.ini、NameInfo.ini）や動作ログファイルを USB メモリにコピーします。
エクスポート完了後には、USB メモリの取外しの確認メッセージが表示されますので、取外しを実施する場合は『はい』ボタンを、実施しない場合は『いいえ』ボタンを選択してください。

➡ 保存場所は指定ドライブの「YYMMDDHHMMSS_backup」フォルダとなります。

例）2008/01/02 03:04:05 に H ドライブへエクスポートした場合
保存フォルダは「H:¥20080102030405_backup」となります。

ⓘ エクスポート完了後の USB メモリ取外しが失敗した場合は、「デバイス設定」画面から、コピーデバイスの『削除』および未登録デバイスの『取外し』を行ってください。

(3)記録データの復旧　記録データを再構築します。
電源障害などで正常終了しなかったとき、次回起動時に自動実行される復旧処理と同じ処理を実行します。

➡ 再生途中で停止したり、記録データに不整合が生じていると思われる動作不安定な場合に行ってください。

ⓘ アクセス異常（HDD 故障）となった HDD への「記録データ復旧」が正常終了となる場合がありますが、実施してもアクセス異常の状態は変わりません。

ⓘ リピート記録 OFF により「ディスクフル」で記録停止している状態から、「記録データ復旧」を実施すると復旧処理が失敗する場合がありますが、異常ではありません。

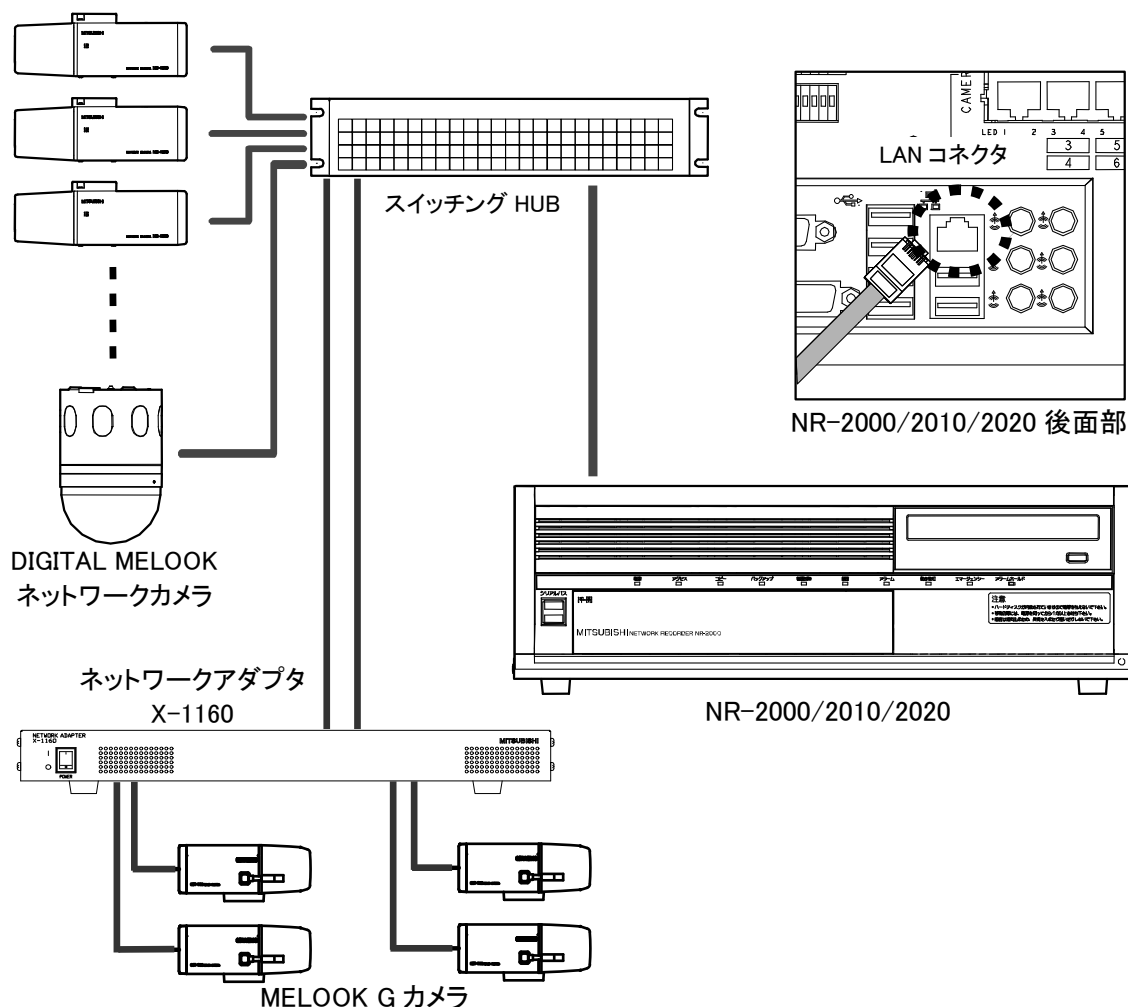
(4)『実行』ボタン　記録データの復旧を開始します。

ⓘ インポート機能により追加した「カメラ名称ファイル（NameInfo.ini）」は削除対象とはなりません。

ⓘ カメラの設定を初期値から変更している場合は、本装置の初期化前にカメラの初期化を実施してください。

10.2. 拡張用機器の接続

10.2.1. DIGITAL MELOOKネットワークカメラの接続

MELOOKμカメラ以外のカメラを増設する場合は、以下の通りの接続となります。
MELOOKμカメラ用の端子 1～8 に接続しても映像は表示されません。

MELOOKμカメラ以外の接続方法

DIGITAL MELOOK ネットワークカメラ(NC-4510 など)またはネットワークアダプタ X-1160 をスイッチングハブを介して、本レコーダー後面部のネットワーク端子に接続します。DIGITAL MELOOK ネットワークカメラまたはネットワークアダプタ X-1160 は IP アドレスの設定が必要となります。
増設は最大 8 台まで可能です。

LAN の設定は、ネットワークを管理している方へ相談してください。

スイッチング HUB は、下記を動作確認しています。

メーカ	機種型名	仕様
NEC	QX-S408B	L2
パナソニック電工ネットワークス	Switch-M12PWR	L2 PoE

それ以外は、販売店にご相談ください。

10.2.2. 増設HDDユニットの接続

増設 HDD ユニットは、下図のとおりに接続してください。

- 増設 HDD ユニットをデバイス登録する際は、内蔵 HDD 設定後に実施してください。
- 増設 HDD ユニットは、DX-ZD6 以外は接続できません。
- 接続を行なう時には、必ず本体の電源を切ってから実施してください。
- 製造副番 B 以降の増設 HDD ユニット以外は接続できません。
- 増設 HDD ユニットの ID 番号は、重複しないように設定してください。

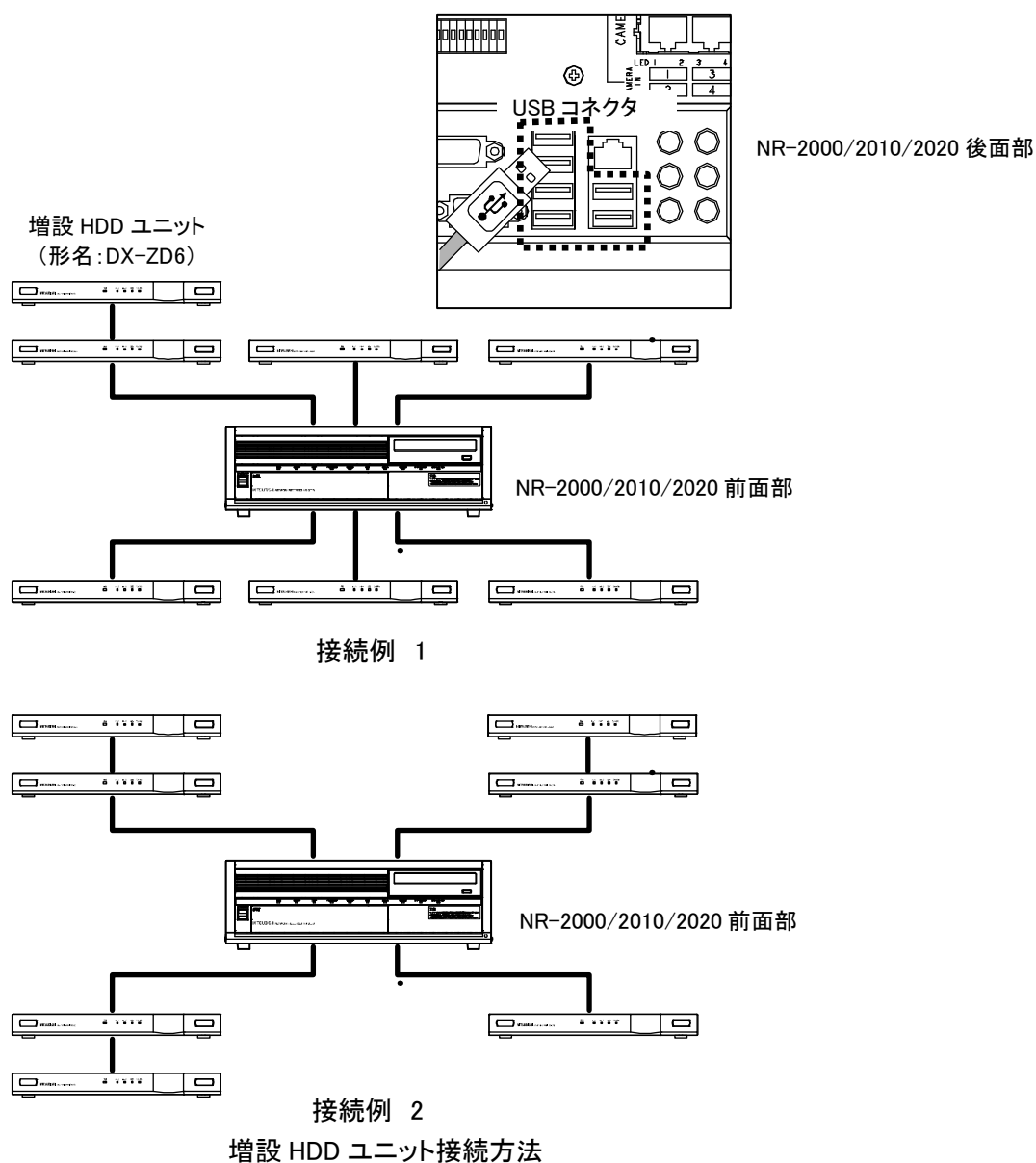
参考 増設 HDD ユニット(DX-ZD6)の設定方法は、「10.1.10.デバイス設定」80 頁及び、増設 HDD ユニットの取扱説明書を参照してください。

(1)接続例(7 台の場合)

下図のように、増設 HDD ユニットを縦続接続することが可能です。(最大 7 台まで)

接続例 1

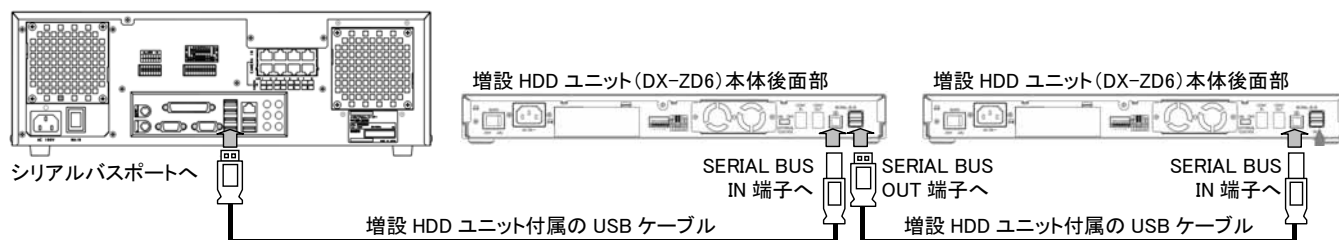
接続例 2

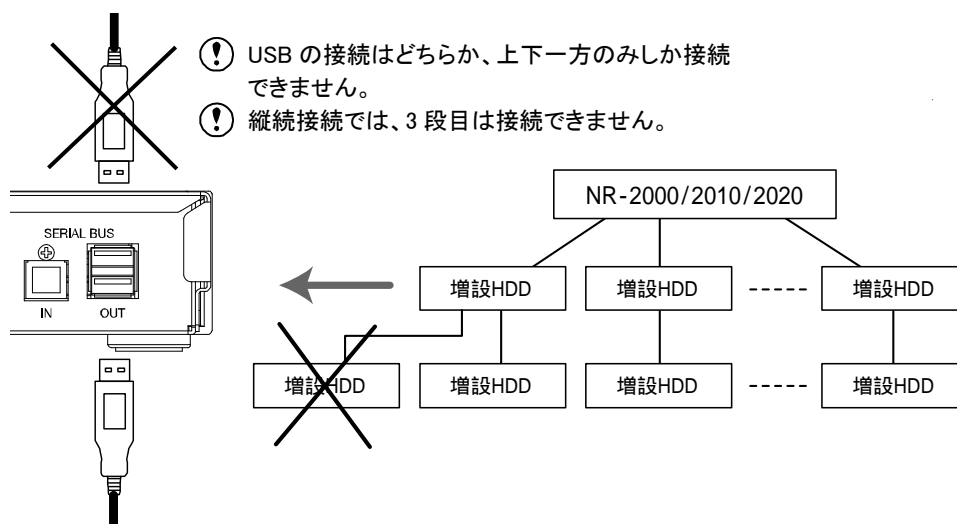
増設 HDD ユニット接続方法

増設 HDD ユニットをシリアルバス(USB)ケーブルを使用して、本レコーダー後面部の USB コネクタに接続してください。増設 HDD ユニットは、最大 7 台、7TB まで増設できます。

(!) 接続の途中に、USB HUB を接続しないでください。

下図のように、増設 HDD ユニットを 2 段目まで縦続接続することが可能です。（レコーダーへの接続は最大 7 台まで）

(!) 接続の途中に、USB HUB を接続しないでください。

NR-2000/2010/2020 後面部

接続の詳細例

(!) 接続時は、下図を守ってください。

(2)各増設 HDD ユニットの運用モード

接続する増設 HDD ユニット（DX-ZD6）の台数や運用に合わせ、増設 HDD ユニットの動作モードの変更が必要です。設定できる、運用モードは下記のとおりです。

【ミラーリング】　ユニット内 HDD2 台に同じデータを記録します。容量は、HDD1 台分（約 500GB）となります。

【スパニング】　ユニット内の HDD2 台を見かけ上 1 台に結合し、1 台の HDD としてデータを記録します。

参考 ⇨ 増設 HDD ユニット（DX-ZD6）の運用モードの設定詳細は、増設 HDD ユニットの取扱説明書を参照してください。

(3)本レコーダーと増設 HDD ユニットの電源を連動させる

増設 HDD ユニット（DX-ZD6）の EXTERNAL CONTROL SW を“ON”にして、本体後面部の I/O 端子を、下図のように接続してください。

(!) 製造副番 B 以降の増設 HDD ユニット以外は接続できません。

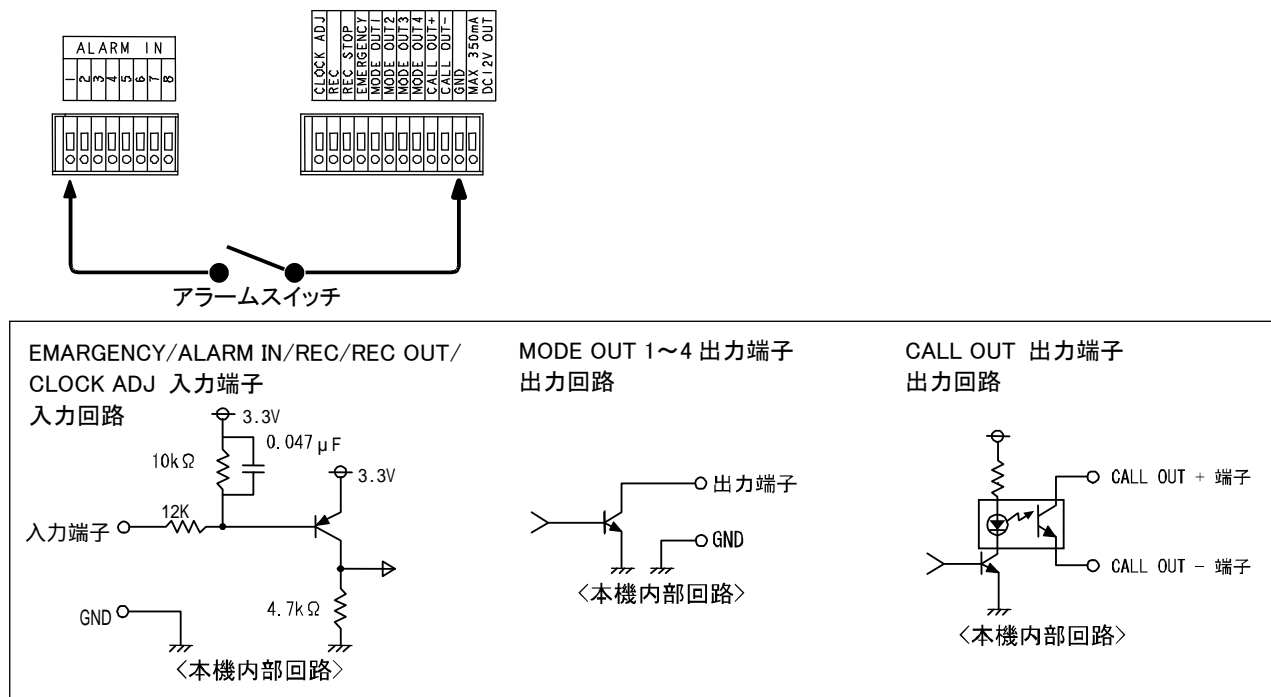
増設 HDD ユニット(DX-ZD6)の EXTERNAL SW を”ON”にする。

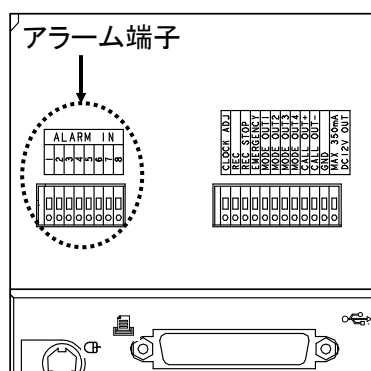
(!) 本レコーダーと増設 HDD ユニットを連動させるためには、同系統の電源をとってください。

10.3. センサーなどアラーム機器

10.3.1. アラーム端子とI/O端子

アラーム端子とI/O 端子の接続に関し説明します。

参考 アラームセンサーの接続：下図はアラームセンサー1 に対応した、アラーム信号の場合の接続例です。

MODE OUT 1～4	動作時 :「L」レベル電圧出力	最大許容印加電流 7mA DC
	非動作時 :オープン	最大許容印加電圧+24V DC
CALL OUT+/− （フォトカプラ出力）	動作時 :ショート 非動作時 :オープン	最大許容印加電流 7mA DC 最大許容印加電圧+24V DC
ALARM IN	動作時 :GND 端子に短絡または「L」レベル電圧印加 非動作時 :オープン	
CLOCK ADJ	同上	
REC	同上	
REC OUT	同上	
EMARGENCY	同上	

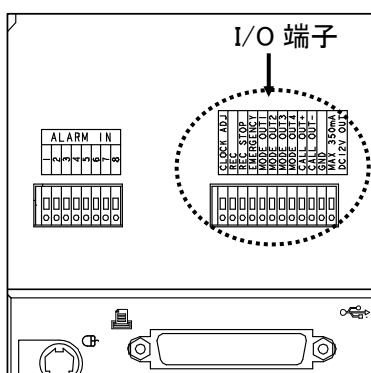
10.3.1.1. アラーム端子

本レコーダーに接続されている外部アラーム機器のアラーム信号を入力すると、DIGITAL MELOOK ネットワークカメラのプリアラーム記録の有無や記録コマ数などの、より細かな設定ができます。

10.1.4. 「記録設定」で接続した MELOOKμ および DIGITAL MELOOK ネットワークカメラ毎に、アラーム信号入力時の記録設定を行います。

参考 詳細は「10.1.6.記録設定」71 頁を参照してください。

10.1.7. 「アラーム設定」でアラーム種別毎の、連動カメラ、プリセット制御の設定を行います。

参考 詳細は「10.1.9.アラーム設定」78 頁を参照してください。

10.3.1.2. I/O端子

(1)CLOCK ADJ　:時刻合わせのための入力端子です。この端子に信号が入力されると「システム設定」の設定時刻で設定した時刻にリセットされます。

(2)REC　:本信号が入力された場合、接続された全ての MELOOKμ および DIGITAL MELOOK ネットワークカメラの映像記録が可能となります。

(3)REC STOP　:本信号が入力された場合、接続された全ての MELOOKμ および DIGITAL MELOOK ネットワークカメラの映像記録ができません。

(4)EMERGENCY　:本信号が入力された場合、接続された全ての MELOOKμ および DIGITAL MELOOK ネットワークカメラの映像記録を最大記録レートで開始します。

(5)MODE OUT　:MODE OUT 端子に接続しているデバイスに、本レコーダーの動作モードを出力します。
動作モードの種類は下記となります。

MODE OUT 1:記録中
MODE OUT 2:再生中
MODE OUT 3:緊急録画中
MODE OUT 4:アラームホールド中

(6)CALL OUT　:CALL OUT 端子に接続されているデバイスに、機器の故障発生時警告信号を出力します。

(7)GND　:GND 端子

(8)MAX 350mA DC12V OUT
:DC12V の電源端子、最大電流 350mA

➡ DC12V OUT 端子は、増設 HDD ユニット(DX-ZD6)を接続する場合に使用します。

参考 詳細は「10.2.2.増設 HDD ユニットの接続」88 頁を参照してください。

10.4. 記録時間表

記録フレームレートと圧縮率による内蔵 HDD の記録時間を下表に示します。

➡ 記録容量は、内蔵 HDD の 90%を使用し、残り 10%は、ログデータ、プリアラーム記録、管理情報等が保存されます。

(1)NR-2000 の場合

1)通常記録の場合（マスター＋マスター構成）のとき

①音声記録無

記録サイズ	圧縮率	記録フレームレート（全カメラの合計値）				
		30fps	15fps	10fps	5fps	1fps
SXVGA	1/15	1 日 1 時間	2 日 2 時間	3 日 4 時間	6 日 8 時間	31 日 18 時間
	1/20	1 日 9 時間	2 日 19 時間	4 日 5 時間	8 日 11 時間	42 日 9 時間
	1/25	1 日 18 時間	3 日 12 時間	5 日 7 時間	10 日 14 時間	52 日 23 時間
	1/30	2 日 2 時間	4 日 5 時間	6 日 8 時間	12 日 17 時間	63 日 13 時間
	1/40	2 日 19 時間	5 日 15 時間	8 日 11 時間	16 日 22 時間	84 日 18 時間

記録サイズ	圧縮率	記録フレームレート（全カメラの合計値）					
		120fps	60fps	40fps	20fps	4fps	1fps
VGA	1/15	1 日 1 時間	2 日 2 時間	3 日 4 時間	6 日 8 時間	31 日 18 時間	127 日 3 時間
	1/20	1 日 9 時間	2 日 19 時間	4 日 5 時間	8 日 11 時間	42 日 9 時間	169 日 13 時間
	1/25	1 日 18 時間	3 日 12 時間	5 日 7 時間	10 日 14 時間	52 日 23 時間	211 日 22 時間
	1/30	2 日 2 時間	4 日 5 時間	6 日 8 時間	12 日 17 時間	63 日 13 時間	254 日 7 時間
	1/40	2 日 19 時間	5 日 15 時間	8 日 11 時間	16 日 22 時間	84 日 18 時間	339 日 2 時間

②音声記録有

記録サイズ	圧縮率	記録フレームレート（全カメラの合計値）				
		30fps	15fps	10fps	5fps	1fps
SXVGA	1/15	1 日 1 時間	2 日 2 時間	3 日 3 時間	6 日 7 時間	30 日 7 時間
	1/20	1 日 9 時間	2 日 19 時間	4 日 5 時間	8 日 8 時間	39 日 19 時間
	1/25	1 日 18 時間	3 日 12 時間	5 日 6 時間	10 日 10 時間	48 日 23 時間
	1/30	2 日 2 時間	4 日 5 時間	6 日 7 時間	12 日 11 時間	57 日 22 時間
	1/40	2 日 19 時間	5 日 14 時間	8 日 8 時間	16 日 12 時間	75 日 0 時間

記録サイズ	圧縮率	記録フレームレート（全カメラの合計値）					
		120fps	60fps	40fps	20fps	4fps	1fps
VGA	1/15	1 日 1 時間	2 日 2 時間	3 日 3 時間	6 日 7 時間	30 日 7 時間	106 日 9 時間
	1/20	1 日 9 時間	2 日 19 時間	4 日 5 時間	8 日 8 時間	39 日 19 時間	134 日 12 時間
	1/25	1 日 18 時間	3 日 12 時間	5 日 6 時間	10 日 10 時間	48 日 23 時間	159 日 21 時間
	1/30	2 日 2 時間	4 日 5 時間	6 日 7 時間	12 日 11 時間	57 日 22 時間	182 日 21 時間
	1/40	2 日 19 時間	5 日 14 時間	8 日 8 時間	16 日 12 時間	75 日 0 時間	222 日 23 時間

2)ミラーリング記録（マスター＋ミラー構成）のとき

①音声記録無

記録サイズ	圧縮率	記録フレームレート（全カメラの合計値）				
		30fps	15fps	10fps	5fps	1fps
SXVGA	1/15	0 日 12 時間	1 日 1 時間	1 日 14 時間	3 日 4 時間	15 日 21 時間
	1/20	0 日 16 時間	1 日 9 時間	2 日 2 時間	4 日 5 時間	21 日 4 時間
	1/25	0 日 21 時間	1 日 18 時間	2 日 15 時間	5 日 7 時間	26 日 11 時間
	1/30	1 日 1 時間	2 日 2 時間	3 日 4 時間	6 日 8 時間	31 日 18 時間
	1/40	1 日 9 時間	2 日 19 時間	4 日 5 時間	8 日 11 時間	42 日 9 時間

記録サイズ	圧縮率	記録フレームレート（全カメラの合計値）					
		120fps	60fps	40fps	20fps	4fps	1fps
VGA	1/15	0 日 12 時間	1 日 1 時間	1 日 14 時間	3 日 4 時間	15 日 21 時間	63 日 13 時間
	1/20	0 日 16 時間	1 日 9 時間	2 日 2 時間	4 日 5 時間	21 日 4 時間	84 日 18 時間
	1/25	0 日 21 時間	1 日 18 時間	2 日 15 時間	5 日 7 時間	26 日 11 時間	105 日 23 時間
	1/30	1 日 1 時間	2 日 2 時間	3 日 4 時間	6 日 8 時間	31 日 18 時間	127 日 3 時間
	1/40	1 日 9 時間	2 日 19 時間	4 日 5 時間	8 日 11 時間	42 日 9 時間	169 日 13 時間

②音声記録有

記録サイズ	圧縮率	記録フレームレート（全カメラの合計値）				
		30fps	15fps	10fps	5fps	1fps
SXVGA	1/15	0 日 12 時間	1 日 1 時間	1 日 13 時間	3 日 3 時間	15 日 3 時間
	1/20	0 日 16 時間	1 日 9 時間	2 日 2 時間	4 日 4 時間	19 日 21 時間
	1/25	0 日 21 時間	1 日 18 時間	2 日 15 時間	5 日 5 時間	24 日 11 時間
	1/30	1 日 1 時間	2 日 2 時間	3 日 3 時間	6 日 5 時間	28 日 23 時間
	1/40	1 日 9 時間	2 日 19 時間	4 日 4 時間	8 日 6 時間	37 日 12 時間

記録サイズ	圧縮率	記録フレームレート（全カメラの合計値）					
		120fps	60fps	40fps	20fps	4fps	1fps
VGA	1/15	0 日 12 時間	1 日 1 時間	1 日 13 時間	3 日 3 時間	15 日 3 時間	53 日 4 時間
	1/20	0 日 16 時間	1 日 9 時間	2 日 2 時間	4 日 4 時間	19 日 21 時間	67 日 6 時間
	1/25	0 日 21 時間	1 日 18 時間	2 日 15 時間	5 日 5 時間	24 日 11 時間	79 日 22 時間
	1/30	1 日 1 時間	2 日 2 時間	3 日 3 時間	6 日 5 時間	28 日 23 時間	91 日 10 時間
	1/40	1 日 9 時間	2 日 19 時間	4 日 4 時間	8 日 6 時間	37 日 12 時間	111 日 11 時間

(2)NR-2010 の場合

1)通常記録の場合（マスター＋マスター構成）のとき

①音声記録無

記録サイズ	圧縮率	記録フレームレート（全カメラの合計値）				
		30fps	15fps	10fps	5fps	1fps
SXVGA	1/15	2 日 2 時間	4 日 5 時間	6 日 8 時間	12 日 17 時間	63 日 13 時間
	1/20	2 日 19 時間	5 日 15 時間	8 日 11 時間	16 日 22 時間	84 日 18 時間
	1/25	3 日 12 時間	7 日 1 時間	10 日 14 時間	21 日 4 時間	105 日 23 時間
	1/30	4 日 5 時間	8 日 11 時間	12 日 17 時間	25 日 10 時間	127 日 3 時間
	1/40	5 日 15 時間	11 日 7 時間	16 日 22 時間	33 日 21 時間	169 日 13 時間

記録サイズ	圧縮率	記録フレームレート（全カメラの合計値）					
		120fps	60fps	40fps	20fps	4fps	1fps
VGA	1/15	2 日 2 時間	4 日 5 時間	6 日 8 時間	12 日 17 時間	63 日 13 時間	254 日 7 時間
	1/20	2 日 19 時間	5 日 15 時間	8 日 11 時間	16 日 22 時間	84 日 18 時間	339 日 2 時間
	1/25	3 日 12 時間	7 日 1 時間	10 日 14 時間	21 日 4 時間	105 日 23 時間	423 日 20 時間
	1/30	4 日 5 時間	8 日 11 時間	12 日 17 時間	25 日 10 時間	127 日 3 時間	508 日 15 時間
	1/40	5 日 15 時間	11 日 7 時間	16 日 22 時間	33 日 21 時間	169 日 13 時間	678 日 4 時間

②音声記録有

記録サイズ	圧縮率	記録フレームレート（全カメラの合計値）				
		30fps	15fps	10fps	5fps	1fps
SXVGA	1/15	2 日 2 時間	4 日 5 時間	6 日 7 時間	12 日 14 時間	60 日 14 時間
	1/20	2 日 19 時間	5 日 15 時間	8 日 10 時間	16 日 17 時間	79 日 14 時間
	1/25	3 日 12 時間	7 日 0 時間	10 日 12 時間	20 日 20 時間	97 日 23 時間
	1/30	4 日 5 時間	8 日 10 時間	12 日 14 時間	24 日 22 時間	115 日 20 時間
	1/40	5 日 15 時間	11 日 4 時間	16 日 17 時間	33 日 1 時間	150 日 0 時間

記録サイズ	圧縮率	記録フレームレート（全カメラの合計値）					
		120fps	60fps	40fps	20fps	4fps	1fps
VGA	1/15	2 日 2 時間	4 日 5 時間	6 日 7 時間	12 日 14 時間	60 日 14 時間	212 日 18 時間
	1/20	2 日 19 時間	5 日 15 時間	8 日 10 時間	16 日 17 時間	79 日 14 時間	269 日 0 時間
	1/25	3 日 12 時間	7 日 0 時間	10 日 12 時間	20 日 20 時間	97 日 23 時間	319 日 18 時間
	1/30	4 日 5 時間	8 日 10 時間	12 日 14 時間	24 日 22 時間	115 日 20 時間	365 日 18 時間
	1/40	5 日 15 時間	11 日 4 時間	16 日 17 時間	33 日 1 時間	150 日 0 時間	445 日 22 時間

2)ミラーリング記録（マスター＋ミラー構成）のとき

①音声記録無

記録サイズ	圧縮率	記録フレームレート（全カメラの合計値）				
		30fps	15fps	10fps	5fps	1fps
SXVGA	1/15	1 日 1 時間	2 日 2 時間	3 日 4 時間	6 日 8 時間	31 日 18 時間
	1/20	1 日 9 時間	2 日 19 時間	4 日 5 時間	8 日 11 時間	42 日 9 時間
	1/25	1 日 18 時間	3 日 12 時間	5 日 7 時間	10 日 14 時間	52 日 23 時間
	1/30	2 日 2 時間	4 日 5 時間	6 日 8 時間	12 日 17 時間	63 日 13 時間
	1/40	2 日 19 時間	5 日 15 時間	8 日 11 時間	16 日 22 時間	84 日 18 時間

記録サイズ	圧縮率	記録フレームレート（全カメラの合計値）					
		120fps	60fps	40fps	20fps	4fps	1fps
VGA	1/15	1 日 1 時間	2 日 2 時間	3 日 4 時間	6 日 8 時間	31 日 18 時間	127 日 3 時間
	1/20	1 日 9 時間	2 日 19 時間	4 日 5 時間	8 日 11 時間	42 日 9 時間	169 日 13 時間
	1/25	1 日 18 時間	3 日 12 時間	5 日 7 時間	10 日 14 時間	52 日 23 時間	211 日 22 時間
	1/30	2 日 2 時間	4 日 5 時間	6 日 8 時間	12 日 17 時間	63 日 13 時間	254 日 7 時間
	1/40	2 日 19 時間	5 日 15 時間	8 日 11 時間	16 日 22 時間	84 日 18 時間	339 日 2 時間

②音声記録有

記録サイズ	圧縮率	記録フレームレート（全カメラの合計値）				
		30fps	15fps	10fps	5fps	1fps
SXVGA	1/15	1 日 1 時間	2 日 2 時間	3 日 3 時間	6 日 7 時間	30 日 7 時間
	1/20	1 日 9 時間	2 日 19 時間	4 日 5 時間	8 日 8 時間	39 日 19 時間
	1/25	1 日 18 時間	3 日 12 時間	5 日 6 時間	10 日 10 時間	48 日 23 時間
	1/30	2 日 2 時間	4 日 5 時間	6 日 7 時間	12 日 11 時間	57 日 22 時間
	1/40	2 日 19 時間	5 日 14 時間	8 日 8 時間	16 日 12 時間	75 日 0 時間

記録サイズ	圧縮率	記録フレームレート（全カメラの合計値）					
		120fps	60fps	40fps	20fps	4fps	1fps
VGA	1/15	1 日 1 時間	2 日 2 時間	3 日 3 時間	6 日 7 時間	30 日 7 時間	106 日 9 時間
	1/20	1 日 9 時間	2 日 19 時間	4 日 5 時間	8 日 8 時間	39 日 19 時間	134 日 12 時間
	1/25	1 日 18 時間	3 日 12 時間	5 日 6 時間	10 日 10 時間	48 日 23 時間	159 日 21 時間
	1/30	2 日 2 時間	4 日 5 時間	6 日 7 時間	12 日 11 時間	57 日 22 時間	182 日 21 時間
	1/40	2 日 19 時間	5 日 14 時間	8 日 8 時間	16 日 12 時間	75 日 0 時間	222 日 23 時間

(3)NR-2020 の場合

1)通常記録の場合（マスター＋マスター構成）のとき

①音声記録無

記録サイズ	圧縮率	記録フレームレート（全カメラの合計値）				
		30fps	15fps	10fps	5fps	1fps
SXVGA	1/15	4 日 5 時間	8 日 11 時間	12 日 17 時間	25 日 10 時間	127 日 3 時間
	1/20	5 日 15 時間	11 日 7 時間	16 日 22 時間	33 日 21 時間	169 日 13 時間
	1/25	7 日 1 時間	14 日 3 時間	21 日 4 時間	42 日 9 時間	211 日 22 時間
	1/30	8 日 11 時間	16 日 22 時間	25 日 10 時間	50 日 20 時間	254 日 7 時間
	1/40	11 日 7 時間	22 日 14 時間	33 日 21 時間	67 日 19 時間	339 日 2 時間

記録サイズ	圧縮率	記録フレームレート（全カメラの合計値）					
		120fps	60fps	40fps	20fps	4fps	1fps
VGA	1/15	4 日 5 時間	8 日 11 時間	12 日 17 時間	25 日 10 時間	127 日 3 時間	508 日 15 時間
	1/20	5 日 15 時間	11 日 7 時間	16 日 22 時間	33 日 21 時間	169 日 13 時間	678 日 4 時間
	1/25	7 日 1 時間	14 日 3 時間	21 日 4 時間	42 日 9 時間	211 日 22 時間	847 日 17 時間
	1/30	8 日 11 時間	16 日 22 時間	25 日 10 時間	50 日 20 時間	254 日 7 時間	1017 日 6 時間
	1/40	11 日 7 時間	22 日 14 時間	33 日 21 時間	67 日 19 時間	339 日 2 時間	1356 日 8 時間

②音声記録有

記録サイズ	圧縮率	記録フレームレート（全カメラの合計値）				
		30fps	15fps	10fps	5fps	1fps
SXVGA	1/15	4 日 5 時間	8 日 10 時間	12 日 15 時間	25 日 4 時間	121 日 5 時間
	1/20	5 日 15 時間	11 日 6 時間	16 日 20 時間	33 日 11 時間	159 日 4 時間
	1/25	7 日 1 時間	14 日 1 時間	21 日 0 時間	41 日 16 時間	195 日 23 時間
	1/30	8 日 10 時間	16 日 20 時間	25 日 4 時間	49 日 21 時間	231 日 16 時間
	1/40	11 日 6 時間	22 日 9 時間	33 日 11 時間	66 日 2 時間	300 日 0 時間

記録サイズ	圧縮率	記録フレームレート（全カメラの合計値）					
		120fps	60fps	40fps	20fps	4fps	1fps
VGA	1/15	4 日 5 時間	8 日 10 時間	12 日 15 時間	25 日 4 時間	121 日 5 時間	425 日 12 時間
	1/20	5 日 15 時間	11 日 6 時間	16 日 20 時間	33 日 11 時間	159 日 4 時間	538 日 1 時間
	1/25	7 日 1 時間	14 日 1 時間	21 日 0 時間	41 日 16 時間	195 日 23 時間	639 日 12 時間
	1/30	8 日 10 時間	16 日 20 時間	25 日 4 時間	49 日 21 時間	231 日 16 時間	731 日 12 時間
	1/40	11 日 6 時間	22 日 9 時間	33 日 11 時間	66 日 2 時間	300 日 0 時間	891 日 20 時間

2)ミラーリング記録（マスター＋ミラー構成）のとき

①音声記録無

記録サイズ	圧縮率	記録フレームレート（全カメラの合計値）				
		30fps	15fps	10fps	5fps	1fps
SXVGA	1/15	2日 2時間	4日 5時間	6日 8時間	12日 17時間	63日 13時間
	1/20	2日 19時間	5日 15時間	8日 11時間	16日 22時間	84日 18時間
	1/25	3日 12時間	7日 1時間	10日 14時間	21日 4時間	105日 23時間
	1/30	4日 5時間	8日 11時間	12日 17時間	25日 10時間	127日 3時間
	1/40	5日 15時間	11日 7時間	16日 22時間	33日 21時間	169日 13時間

記録サイズ	圧縮率	記録フレームレート（全カメラの合計値）					
		120fps	60fps	40fps	20fps	4fps	1fps
VGA	1/15	2日 2時間	4日 5時間	6日 8時間	12日 17時間	63日 13時間	254日 7時間
	1/20	2日 19時間	5日 15時間	8日 11時間	16日 22時間	84日 18時間	339日 2時間
	1/25	3日 12時間	7日 1時間	10日 14時間	21日 4時間	105日 23時間	423日 20時間
	1/30	4日 5時間	8日 11時間	12日 17時間	25日 10時間	127日 3時間	508日 15時間
	1/40	5日 15時間	11日 7時間	16日 22時間	33日 21時間	169日 13時間	678日 4時間

②音声記録有

記録サイズ	圧縮率	記録フレームレート（全カメラの合計値）				
		30fps	15fps	10fps	5fps	1fps
SXVGA	1/15	2日 2時間	4日 5時間	6日 7時間	12日 14時間	60日 14時間
	1/20	2日 19時間	5日 15時間	8日 10時間	16日 17時間	79日 14時間
	1/25	3日 12時間	7日 0時間	10日 12時間	20日 20時間	97日 23時間
	1/30	4日 5時間	8日 10時間	12日 14時間	24日 22時間	115日 20時間
	1/40	5日 15時間	11日 4時間	16日 17時間	33日 1時間	150日 0時間

記録サイズ	圧縮率	記録フレームレート（全カメラの合計値）					
		120fps	60fps	40fps	20fps	4fps	1fps
VGA	1/15	2日 2時間	4日 5時間	6日 7時間	12日 14時間	60日 14時間	212日 18時間
	1/20	2日 19時間	5日 15時間	8日 10時間	16日 17時間	79日 14時間	269日 0時間
	1/25	3日 12時間	7日 0時間	10日 12時間	20日 20時間	97日 23時間	319日 18時間
	1/30	4日 5時間	8日 10時間	12日 14時間	24日 22時間	115日 20時間	365日 18時間
	1/40	5日 15時間	11日 4時間	16日 17時間	33日 1時間	150日 0時間	445日 22時間

(4)NR-2000 と増設 HDD ユニットを接続した場合

1)7.5TB 容量構成の場合

・NR-2000　　　　　　：　500GB（マスター構成）

・増設 HDD ユニット　：　7TB（DX-ZD6　スパニング構成　x 7 台）

①音声記録無

記録サイズ	圧縮率	記録フレームレート（全カメラの合計値）				
		20fps	15fps	10fps	5fps	1fps
SXVGA	1/15	23 日　20 時間	31 日　18 時間	47 日　16 時間	95 日　8 時間	476 日　20 時間
	1/20	31 日　18 時間	42 日　9 時間	63 日　13 時間	127 日　3 時間	635 日　18 時間
	1/25	39 日　17 時間	52 日　23 時間	79 日　11 時間	158 日　22 時間	794 日　17 時間
	1/30	47 日　16 時間	63 日　13 時間	95 日　8 時間	190 日　17 時間	953 日　16 時間
	1/40	63 日　13 時間	84 日　18 時間	127 日　3 時間	254 日　7 時間	1271 日　13 時間

記録サイズ	圧縮率	記録フレームレート（全カメラの合計値）				
		80fps	60fps	40fps	20fps	8fps
VGA	1/15	23 日　20 時間	31 日　18 時間	47 日　16 時間	95 日　8 時間	238 日　10 時間
	1/20	31 日　18 時間	42 日　9 時間	63 日　13 時間	127 日　3 時間	317 日　21 時間
	1/25	39 日　17 時間	52 日　23 時間	79 日　11 時間	158 日　22 時間	397 日　8 時間
	1/30	47 日　16 時間	63 日　13 時間	95 日　8 時間	190 日　17 時間	476 日　20 時間
	1/40	63 日　13 時間	84 日　18 時間	127 日　3 時間	254 日　7 時間	635 日　18 時間

②音声記録有

記録サイズ	圧縮率	記録フレームレート（全カメラの合計値）				
		20fps	15fps	10fps	5fps	1fps
SXVGA	1/15	23 日　18 時間	31 日　16 時間	47 日　10 時間	94 日　10 時間	454 日　15 時間
	1/20	31 日　16 時間	42 日　4 時間	63 日　4 時間	125 日　12 時間	596 日　22 時間
	1/25	39 日　13 時間	52 日　16 時間	78 日　19 時間	156 日　9 時間	734 日　22 時間
	1/30	47 日　10 時間	63 日　4 時間	94 日　10 時間	187 日　1 時間	868 日　19 時間
	1/40	63 日　4 時間	84 日　0 時間	125 日　12 時間	247 日　20 時間	1125 日　1 時間

記録サイズ	圧縮率	記録フレームレート（全カメラの合計値）				
		80fps	60fps	40fps	20fps	8fps
VGA	1/15	23 日　18 時間	31 日　16 時間	47 日　10 時間	94 日　10 時間	232 日　17 時間
	1/20	31 日　16 時間	42 日　4 時間	63 日　4 時間	125 日　12 時間	307 日　20 時間
	1/25	39 日　13 時間	52 日　16 時間	78 日　19 時間	156 日　9 時間	381 日　19 時間
	1/30	47 日　10 時間	63 日　4 時間	94 日　10 時間	187 日　1 時間	454 日　15 時間
	1/40	63 日　4 時間	84 日　0 時間	125 日　12 時間	247 日　20 時間	596 日　22 時間

2)ミラーリング記録構成のとき

・NR-2000　　　　　　:　250GB (ミラーリング構成)

・増設 HDD ユニット　:　3.5TB (DX-ZD6 ミラーリング構成　x 7 台)

①音声記録無

記録サイズ	圧縮率	記録フレームレート(全カメラの合計値)				
		20fps	15fps	10fps	5fps	1fps
SXVGA	1/15	11 日 22 時間	15 日 21 時間	23 日 20 時間	47 日 16 時間	238 日 10 時間
	1/20	15 日 21 時間	21 日 4 時間	31 日 18 時間	63 日 13 時間	317 日 21 時間
	1/25	19 日 20 時間	26 日 11 時間	39 日 17 時間	79 日 11 時間	397 日 8 時間
	1/30	23 日 20 時間	31 日 18 時間	47 日 16 時間	95 日 8 時間	476 日 20 時間
	1/40	31 日 18 時間	42 日 9 時間	63 日 13 時間	127 日 3 時間	635 日 18 時間

記録サイズ	圧縮率	記録フレームレート(全カメラの合計値)				
		80fps	60fps	40fps	20fps	8fps
VGA	1/15	11 日 22 時間	15 日 21 時間	23 日 20 時間	47 日 16 時間	119 日 5 時間
	1/20	15 日 21 時間	21 日 4 時間	31 日 18 時間	63 日 13 時間	158 日 22 時間
	1/25	19 日 20 時間	26 日 11 時間	39 日 17 時間	79 日 11 時間	198 日 16 時間
	1/30	23 日 20 時間	31 日 18 時間	47 日 16 時間	95 日 8 時間	238 日 10 時間
	1/40	31 日 18 時間	42 日 9 時間	63 日 13 時間	127 日 3 時間	317 日 21 時間

②音声記録有

記録サイズ	圧縮率	記録フレームレート(全カメラの合計値)				
		20fps	15fps	10fps	5fps	1fps
SXVGA	1/15	11 日 21 時間	15 日 20 時間	23 日 17 時間	47 日 5 時間	227 日 7 時間
	1/20	15 日 20 時間	21 日 2 時間	31 日 14 時間	62 日 18 時間	298 日 11 時間
	1/25	19 日 18 時間	26 日 8 時間	39 日 9 時間	78 日 4 時間	367 日 11 時間
	1/30	23 日 17 時間	31 日 14 時間	47 日 5 時間	93 日 12 時間	434 日 9 時間
	1/40	31 日 14 時間	42 日 0 時間	62 日 18 時間	123 日 22 時間	562 日 12 時間

記録サイズ	圧縮率	記録フレームレート(全カメラの合計値)				
		80fps	60fps	40fps	20fps	8fps
VGA	1/15	11 日 21 時間	15 日 20 時間	23 日 17 時間	47 日 5 時間	116 日 8 時間
	1/20	15 日 20 時間	21 日 2 時間	31 日 14 時間	62 日 18 時間	153 日 22 時間
	1/25	19 日 18 時間	26 日 8 時間	39 日 9 時間	78 日 4 時間	190 日 21 時間
	1/30	23 日 17 時間	31 日 14 時間	47 日 5 時間	93 日 12 時間	227 日 7 時間
	1/40	31 日 14 時間	42 日 0 時間	62 日 18 時間	123 日 22 時間	298 日 11 時間

(5)NR-2010 と増設 HDD ユニットを接続した場合

1)7.5TB 容量構成の場合

・NR-2010　　　　　　：1TB（マスター構成）

・増設 HDD ユニット　：7TB（DX-ZD6 スパニング構成 x 7 台）

①音声記録無

記録サイズ	圧縮率	記録フレームレート（全カメラの合計値）				
		20fps	15fps	10fps	5fps	1fps
SXVGA	1/15	25 日 10 時間	33 日 21 時間	50 日 20 時間	101 日 17 時間	508 日 15 時間
	1/20	33 日 21 時間	45 日 5 時間	67 日 19 時間	135 日 15 時間	678 日 4 時間
	1/25	42 日 9 時間	56 日 12 時間	84 日 18 時間	169 日 13 時間	847 日 17 時間
	1/30	50 日 20 時間	67 日 19 時間	101 日 17 時間	203 日 10 時間	1017 日 6 時間
	1/40	67 日 19 時間	90 日 10 時間	135 日 15 時間	271 日 6 時間	1356 日 8 時間

記録サイズ	圧縮率	記録フレームレート（全カメラの合計値）				
		80fps	60fps	40fps	20fps	8fps
VGA	1/15	25 日 10 時間	33 日 21 時間	50 日 20 時間	101 日 17 時間	254 日 7 時間
	1/20	33 日 21 時間	45 日 5 時間	67 日 19 時間	135 日 15 時間	339 日 2 時間
	1/25	42 日 9 時間	56 日 12 時間	84 日 18 時間	169 日 13 時間	423 日 20 時間
	1/30	50 日 20 時間	67 日 19 時間	101 日 17 時間	203 日 10 時間	508 日 15 時間
	1/40	67 日 19 時間	90 日 10 時間	135 日 15 時間	271 日 6 時間	678 日 4 時間

②音声記録有

記録サイズ	圧縮率	記録フレームレート（全カメラの合計値）				
		20fps	15fps	10fps	5fps	1fps
SXVGA	1/15	25 日 8 時間	33 日 19 時間	50 日 14 時間	100 日 17 時間	484 日 22 時間
	1/20	33 日 19 時間	45 日 0 時間	67 日 9 時間	133 日 21 時間	636 日 17 時間
	1/25	42 日 5 時間	56 日 5 時間	84 日 2 時間	166 日 19 時間	783 日 21 時間
	1/30	50 日 14 時間	67 日 9 時間	100 日 17 時間	199 日 13 時間	926 日 17 時間
	1/40	67 日 9 時間	89 日 15 時間	133 日 21 時間	264 日 9 時間	1200 日 1 時間

記録サイズ	圧縮率	記録フレームレート（全カメラの合計値）				
		80fps	60fps	40fps	20fps	8fps
VGA	1/15	25 日 8 時間	33 日 19 時間	50 日 14 時間	100 日 17 時間	248 日 6 時間
	1/20	33 日 19 時間	45 日 0 時間	67 日 9 時間	133 日 21 時間	328 日 9 時間
	1/25	42 日 5 時間	56 日 5 時間	84 日 2 時間	166 日 19 時間	407 日 6 時間
	1/30	50 日 14 時間	67 日 9 時間	100 日 17 時間	199 日 13 時間	484 日 22 時間
	1/40	67 日 9 時間	89 日 15 時間	133 日 21 時間	264 日 9 時間	636 日 17 時間

2)ミラーリング記録構成のとき

・NR-2010　　　　　　:　500GB (ミラーリング構成)

・増設 HDD ユニット　:　3.5TB (DX-ZD6 ミラーリング構成 x 7 台)

①音声記録無

記録サイズ	圧縮率	記録フレームレート(全カメラの合計値)				
		20fps	15fps	10fps	5fps	1fps
SXVGA	1/15	12 日 17 時間	16 日 22 時間	25 日 10 時間	50 日 20 時間	254 日 7 時間
	1/20	16 日 22 時間	22 日 14 時間	33 日 21 時間	67 日 19 時間	339 日 2 時間
	1/25	21 日 4 時間	28 日 6 時間	42 日 9 時間	84 日 18 時間	423 日 20 時間
	1/30	25 日 10 時間	33 日 21 時間	50 日 20 時間	101 日 17 時間	508 日 15 時間
	1/40	33 日 21 時間	45 日 5 時間	67 日 19 時間	135 日 15 時間	678 日 4 時間

記録サイズ	圧縮率	記録フレームレート(全カメラの合計値)				
		80fps	60fps	40fps	20fps	8fps
VGA	1/15	12 日 17 時間	16 日 22 時間	25 日 10 時間	50 日 20 時間	127 日 3 時間
	1/20	16 日 22 時間	22 日 14 時間	33 日 21 時間	67 日 19 時間	169 日 13 時間
	1/25	21 日 4 時間	28 日 6 時間	42 日 9 時間	84 日 18 時間	211 日 22 時間
	1/30	25 日 10 時間	33 日 21 時間	50 日 20 時間	101 日 17 時間	254 日 7 時間
	1/40	33 日 21 時間	45 日 5 時間	67 日 19 時間	135 日 15 時間	339 日 2 時間

②音声記録有

記録サイズ	圧縮率	記録フレームレート(全カメラの合計値)				
		20fps	15fps	10fps	5fps	1fps
SXVGA	1/15	12 日 16 時間	16 日 21 時間	25 日 7 時間	50 日 8 時間	242 日 11 時間
	1/20	16 日 21 時間	22 日 12 時間	33 日 16 時間	66 日 22 時間	318 日 8 時間
	1/25	21 日 2 時間	28 日 2 時間	42 日 1 時間	83 日 9 時間	391 日 22 時間
	1/30	25 日 7 時間	33 日 16 時間	50 日 8 時間	99 日 18 時間	463 日 8 時間
	1/40	33 日 16 時間	44 日 19 時間	66 日 22 時間	132 日 4 時間	600 日 0 時間

記録サイズ	圧縮率	記録フレームレート(全カメラの合計値)				
		80fps	60fps	40fps	20fps	8fps
VGA	1/15	12 日 16 時間	16 日 21 時間	25 日 7 時間	50 日 8 時間	124 日 3 時間
	1/20	16 日 21 時間	22 日 12 時間	33 日 16 時間	66 日 22 時間	164 日 4 時間
	1/25	21 日 2 時間	28 日 2 時間	42 日 1 時間	83 日 9 時間	203 日 15 時間
	1/30	25 日 7 時間	33 日 16 時間	50 日 8 時間	99 日 18 時間	242 日 11 時間
	1/40	33 日 16 時間	44 日 19 時間	66 日 22 時間	132 日 4 時間	318 日 8 時間

(6)NR-2020 と増設 HDD ユニットを接続した場合

1)7.5TB 容量構成の場合

・NR-2020　　　　　：　2TB（マスター構成）

・増設 HDD ユニット　：　7TB（DX-ZD6　スパニング構成　x 7 台）

①音声記録無

記録サイズ	圧縮率	記録フレームレート（全カメラの合計値）				
		20fps	15fps	10fps	5fps	1fps
SXVGA	1/15	28 日 14 時間	38 日 3 時間	57 日 5 時間	114 日 10 時間	572 日 4 時間
	1/20	38 日 3 時間	50 日 20 時間	76 日 7 時間	152 日 14 時間	762 日 22 時間
	1/25	47 日 16 時間	63 日 13 時間	95 日 8 時間	190 日 17 時間	953 日 16 時間
	1/30	57 日 5 時間	76 日 7 時間	114 日 10 時間	228 日 21 時間	1144 日 9 時間
	1/40	76 日 7 時間	101 日 17 時間	152 日 14 時間	305 日 4 時間	1525 日 21 時間

記録サイズ	圧縮率	記録フレームレート（全カメラの合計値）				
		80fps	60fps	40fps	20fps	8fps
VGA	1/15	28 日 14 時間	38 日 3 時間	57 日 5 時間	114 日 10 時間	286 日 2 時間
	1/20	38 日 3 時間	50 日 20 時間	76 日 7 時間	152 日 14 時間	381 日 11 時間
	1/25	47 日 16 時間	63 日 13 時間	95 日 8 時間	190 日 17 時間	476 日 20 時間
	1/30	57 日 5 時間	76 日 7 時間	114 日 10 時間	228 日 21 時間	572 日 4 時間
	1/40	76 日 7 時間	101 日 17 時間	152 日 14 時間	305 日 4 時間	762 日 22 時間

②音声記録有

記録サイズ	圧縮率	記録フレームレート（全カメラの合計値）				
		20fps	15fps	10fps	5fps	1fps
SXVGA	1/15	28 日 12 時間	38 日 0 時間	56 日 22 時間	113 日 8 時間	545 日 13 時間
	1/20	38 日 0 時間	50 日 15 時間	75 日 19 時間	150 日 15 時間	716 日 7 時間
	1/25	47 日 11 時間	63 日 5 時間	94 日 14 時間	187 日 16 時間	881 日 21 時間
	1/30	56 日 22 時間	75 日 19 時間	113 日 8 時間	224 日 11 時間	1042 日 14 時間
	1/40	75 日 19 時間	100 日 20 時間	150 日 15 時間	297 日 10 時間	1350 日 2 時間

記録サイズ	圧縮率	記録フレームレート（全カメラの合計値）				
		80fps	60fps	40fps	20fps	8fps
VGA	1/15	28 日 12 時間	38 日 0 時間	56 日 22 時間	113 日 8 時間	279 日 6 時間
	1/20	38 日 0 時間	50 日 15 時間	75 日 19 時間	150 日 15 時間	369 日 10 時間
	1/25	47 日 11 時間	63 日 5 時間	94 日 14 時間	187 日 16 時間	458 日 4 時間
	1/30	56 日 22 時間	75 日 19 時間	113 日 8 時間	224 日 11 時間	545 日 13 時間
	1/40	75 日 19 時間	100 日 20 時間	150 日 15 時間	297 日 10 時間	716 日 7 時間

2)ミラーリング記録構成のとき

・NR-2020　　　　　　：1TB（ミラーリング構成）

・増設 HDD ユニット　：3.5TB（DX-ZD6 ミラーリング構成 x 7 台）

①音声記録無

記録サイズ	圧縮率	記録フレームレート（全カメラの合計値）									
		20fps		15fps		10fps		5fps		1fps	
SXVGA	1/15	14 日	7 時間	19 日	1 時間	28 日	14 時間	57 日	5 時間	286 日	2 時間
	1/20	19 日	1 時間	25 日	10 時間	38 日	3 時間	76 日	7 時間	381 日	11 時間
	1/25	23 日	20 時間	31 日	18 時間	47 日	16 時間	95 日	8 時間	476 日	20 時間
	1/30	28 日	14 時間	38 日	3 時間	57 日	5 時間	114 日	10 時間	572 日	4 時間
	1/40	38 日	3 時間	50 日	20 時間	76 日	7 時間	152 日	14 時間	762 日	22 時間

記録サイズ	圧縮率	記録フレームレート（全カメラの合計値）									
		80fps		60fps		40fps		20fps		8fps	
VGA	1/15	14 日	7 時間	19 日	1 時間	28 日	14 時間	57 日	5 時間	143 日	1 時間
	1/20	19 日	1 時間	25 日	10 時間	38 日	3 時間	76 日	7 時間	190 日	17 時間
	1/25	23 日	20 時間	31 日	18 時間	47 日	16 時間	95 日	8 時間	238 日	10 時間
	1/30	28 日	14 時間	38 日	3 時間	57 日	5 時間	114 日	10 時間	286 日	2 時間
	1/40	38 日	3 時間	50 日	20 時間	76 日	7 時間	152 日	14 時間	381 日	11 時間

②音声記録有

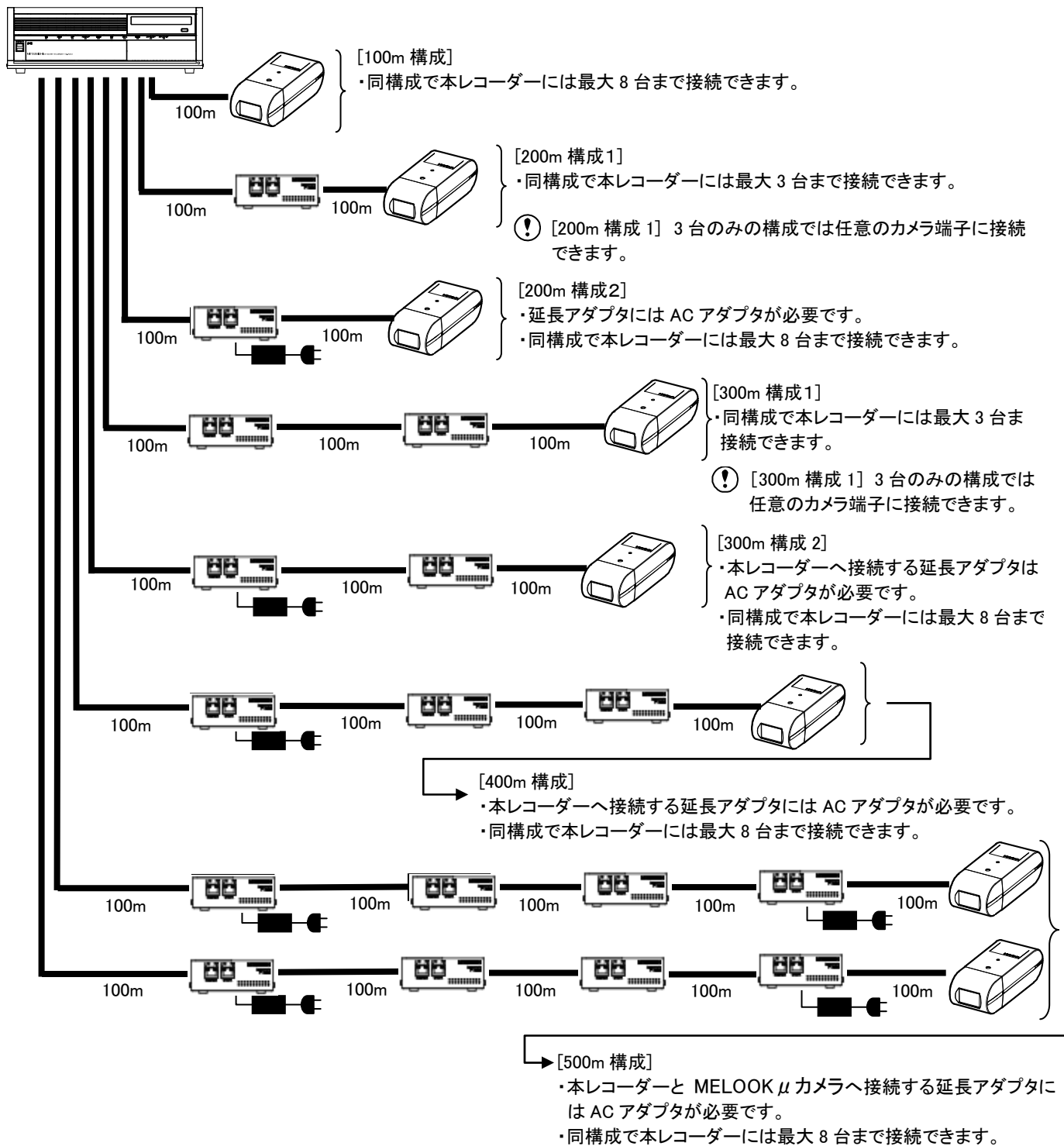
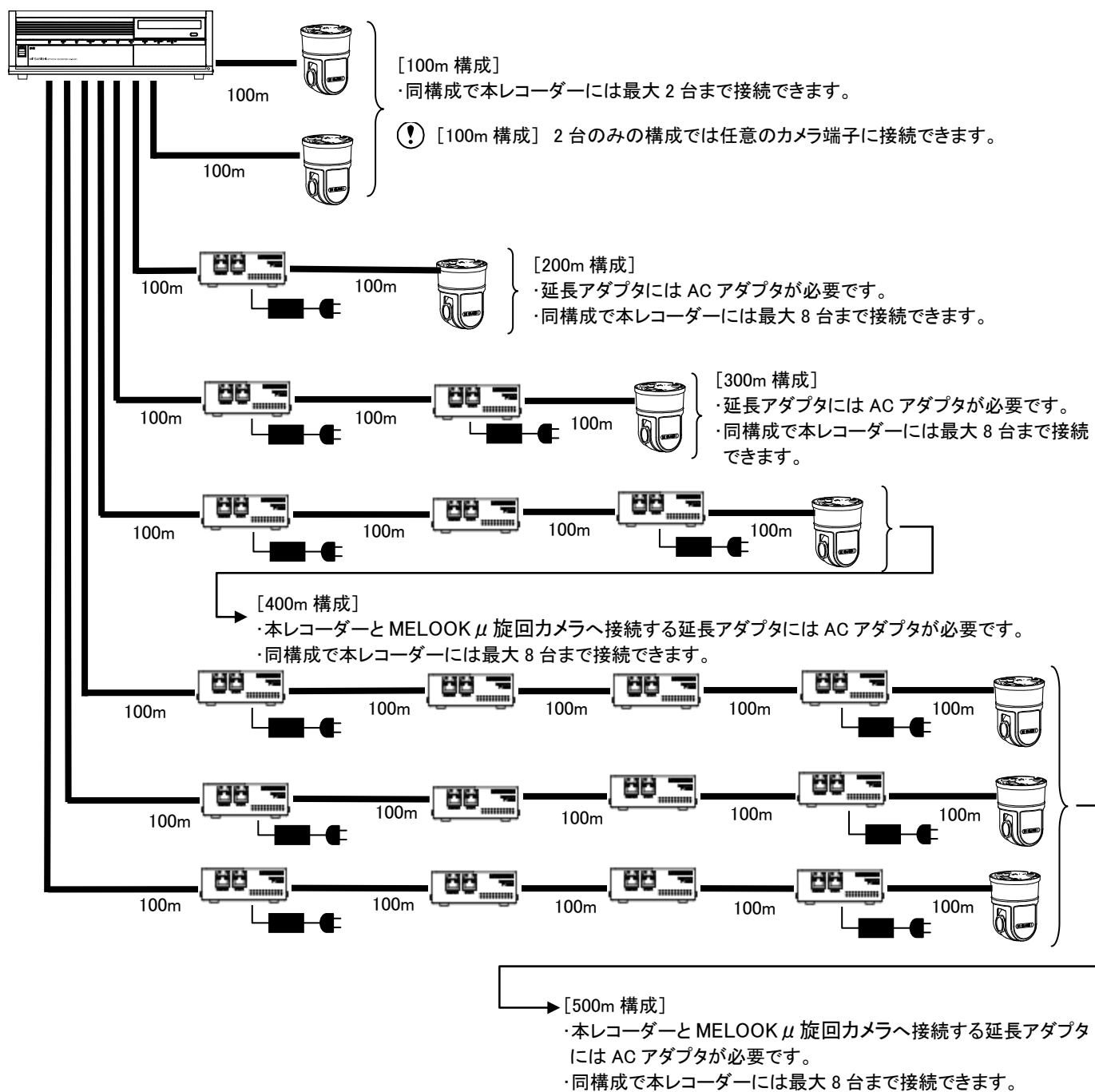
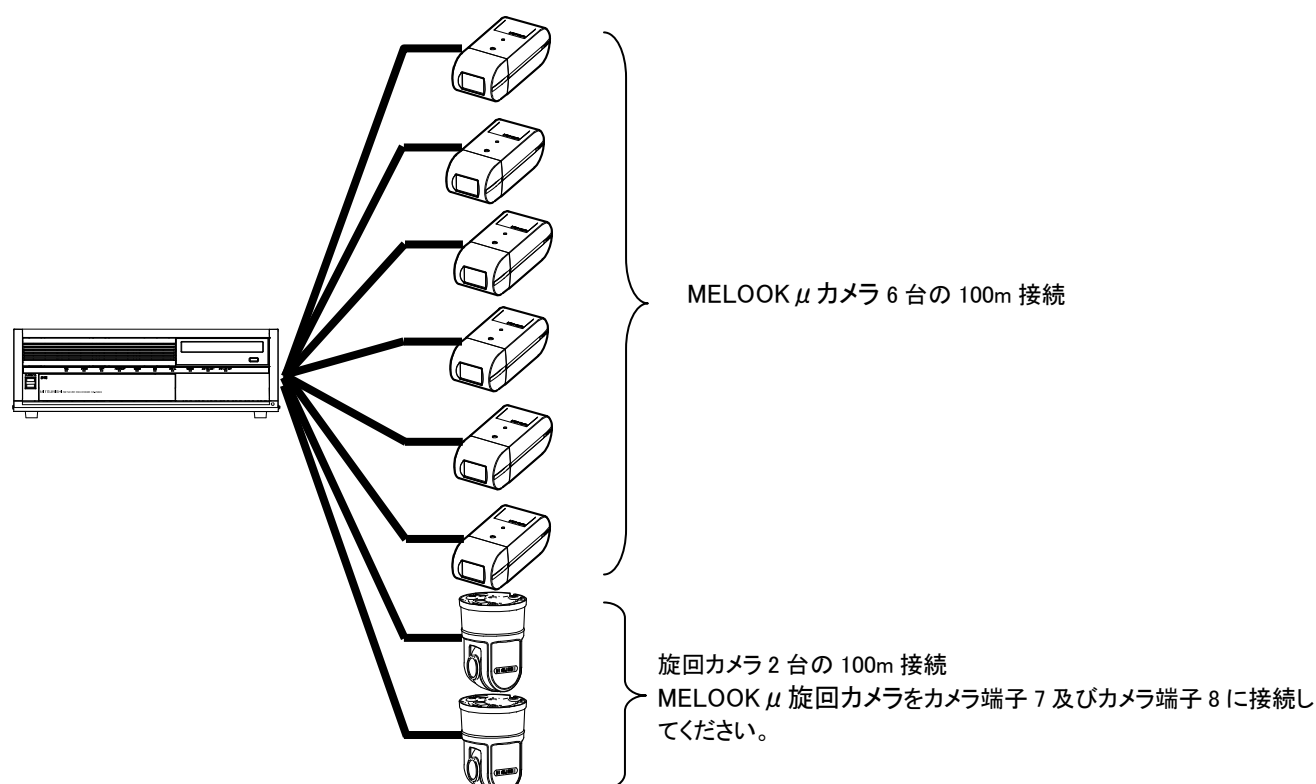
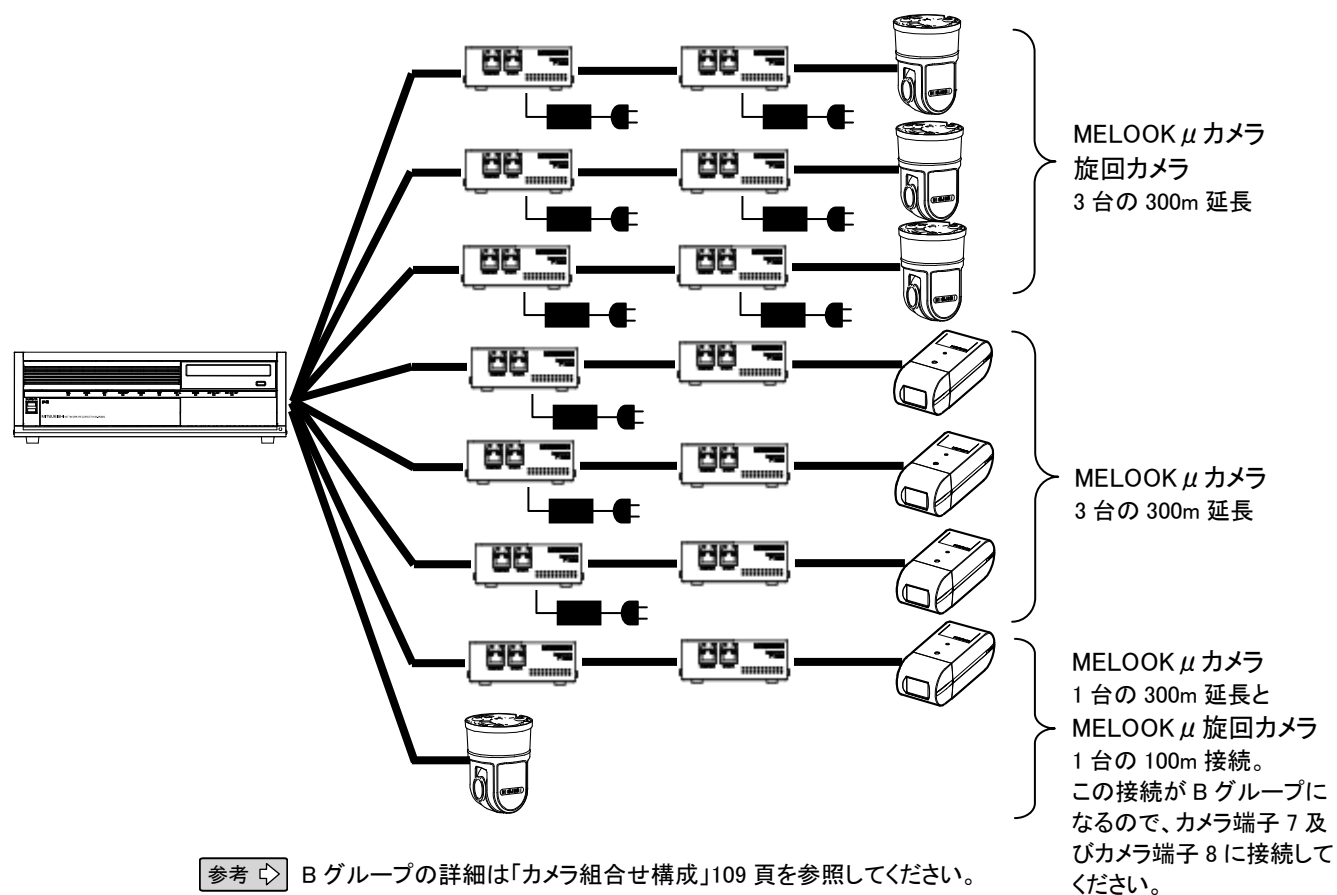
記録サイズ	圧縮率	記録フレームレート（全カメラの合計値）									
		20fps		15fps		10fps		5fps		1fps	
SXVGA	1/15	14 日	6 時間	19 日	0 時間	28 日	11 時間	56 日	16 時間	272 日	18 時間
	1/20	19 日	0 時間	25 日	7 時間	37 日	21 時間	75 日	7 時間	358 日	3 時間
	1/25	23 日	17 時間	31 日	14 時間	47 日	7 時間	93 日	20 時間	440 日	22 時間
	1/30	28 日	11 時間	37 日	21 時間	56 日	16 時間	112 日	5 時間	521 日	7 時間
	1/40	37 日	21 時間	50 日	10 時間	75 日	7 時間	148 日	17 時間	675 日	1 時間

記録サイズ	圧縮率	記録フレームレート（全カメラの合計値）									
		80fps		60fps		40fps		20fps		8fps	
VGA	1/15	14 日	6 時間	19 日	0 時間	28 日	11 時間	56 日	16 時間	139 日	15 時間
	1/20	19 日	0 時間	25 日	7 時間	37 日	21 時間	75 日	7 時間	184 日	17 時間
	1/25	23 日	17 時間	31 日	14 時間	47 日	7 時間	93 日	20 時間	229 日	2 時間
	1/30	28 日	11 時間	37 日	21 時間	56 日	16 時間	112 日	5 時間	272 日	18 時間
	1/40	37 日	21 時間	50 日	10 時間	75 日	7 時間	148 日	17 時間	358 日	3 時間

10.5. 延長アダプタとの接続

延長アダプタ(P-2000)との接続は下図を参照してください。

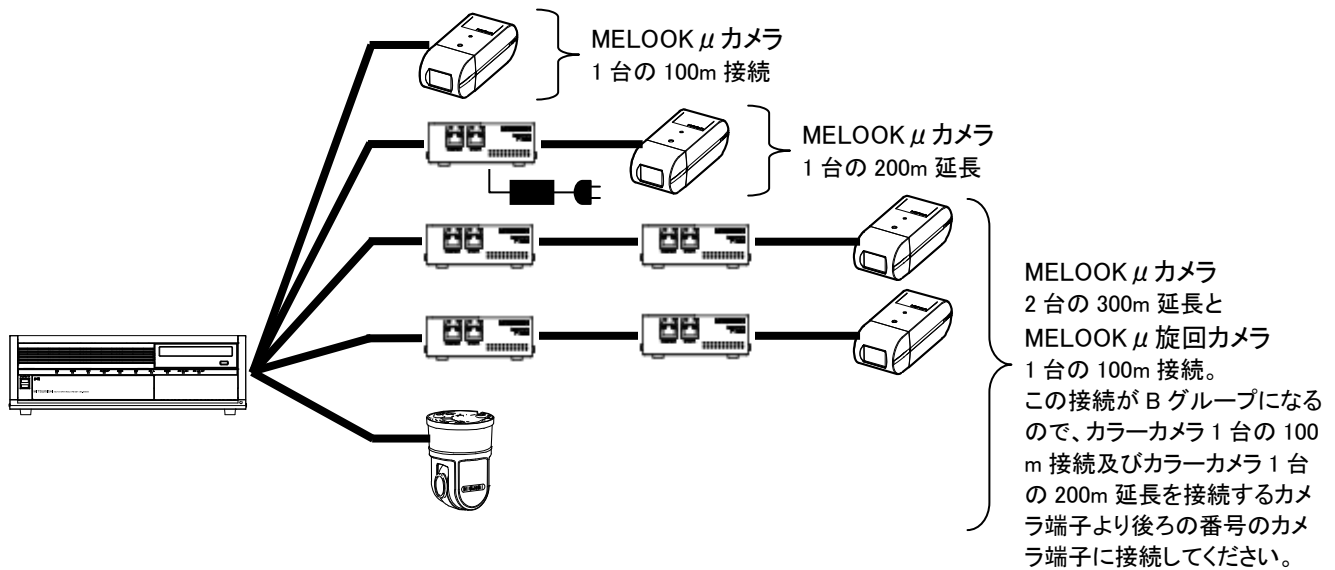
(1)カメラ組合せ構成

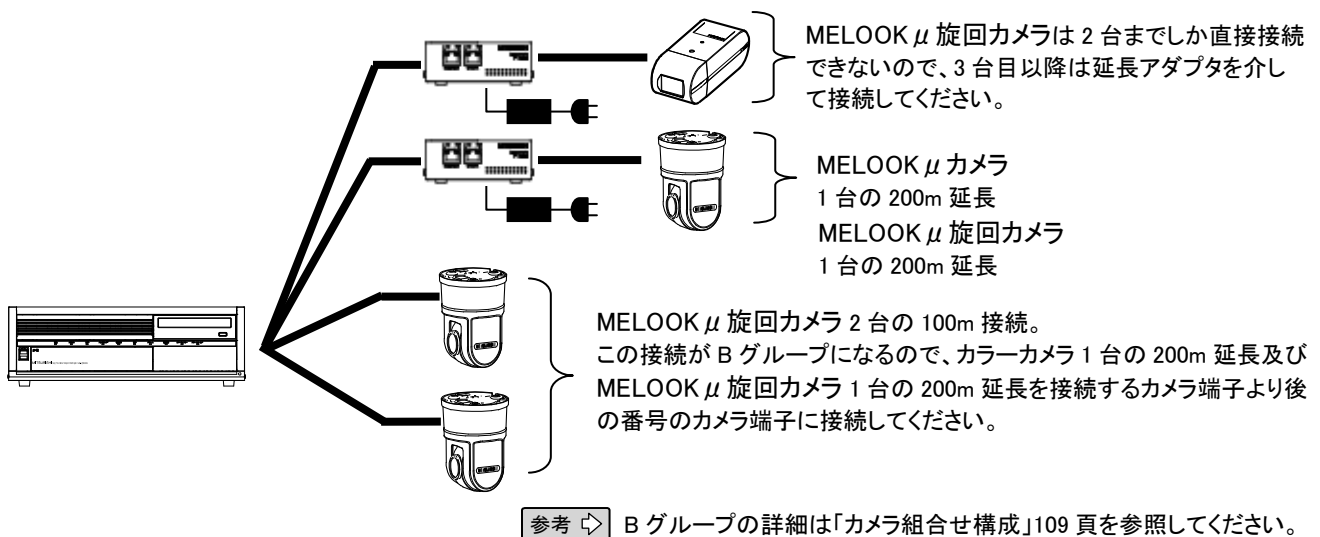
①MELOOK μ カメラを 8 台接続するとき。

②MELOOKμ旋回カメラを 8 台接続する場合

③MELOOKμカメラ 6 台、MELOOKμ旋回カメラ 2 台を 100m で接続する場合

④MELOOKμカメラ 4 台を 300m 延長、MELOOKμ旋回カメラ 1 台を 100m 接続、MELOOKμ旋回カメラ 3 台を 300m 延長する場合、延長アダプタが 14 台、AC アダプタが 9 台必要です。

MELOOKμカメラ
旋回カメラ
3 台の 300m 延長

MELOOKμカメラ
3 台の 300m 延長

MELOOKμカメラ
1 台の 300m 延長と
MELOOKμ旋回カメラ
1 台の 100m 接続。
この接続が B グループになるので、カメラ端子 7 及びカメラ端子 8 に接続してください。

参考 ⇨ B グループの詳細は「カメラ組合せ構成」109 頁を参照してください。

⑤MELOOKμカメラ2台を300m延長、MELOOKμ旋回カメラ1台を100m接続、MELOOKμカメラ1台を200m延長、MELOOKμカメラ 1 台を 100m で接続する場合、延長アダプタが 5 台、AC アダプタが 1 台必要です。

⑥MELOOKμカメラ 1 台を 200m 延長、MELOOKμ旋回カメラ 1 台を 200m 延長、MELOOKμ旋回カメラ 2 台を 100m 接続する場合、延長アダプタが 2 台、AC アダプタが 2 台必要です。

参考 Bグループの詳細は「カメラ組合せ構成」109頁を参照してください。

(2)カメラ組合せ構成

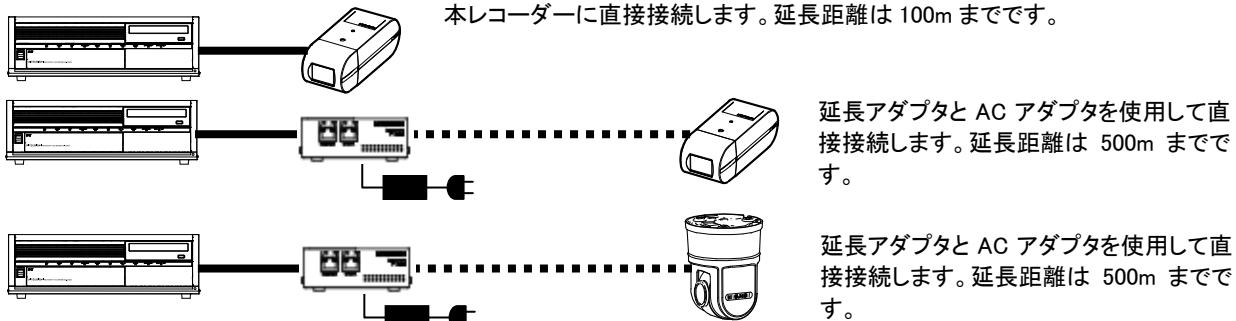
MELOOKμカメラは、最大 8 台を本レコーダーに接続可能ですが、延長距離の組合せにより、下記の組合せ制限がありますので、ご注意ください。

①延長アダプタと MELOOKμカメラの組合せは、以下の A グループと B グループに別けることができます。

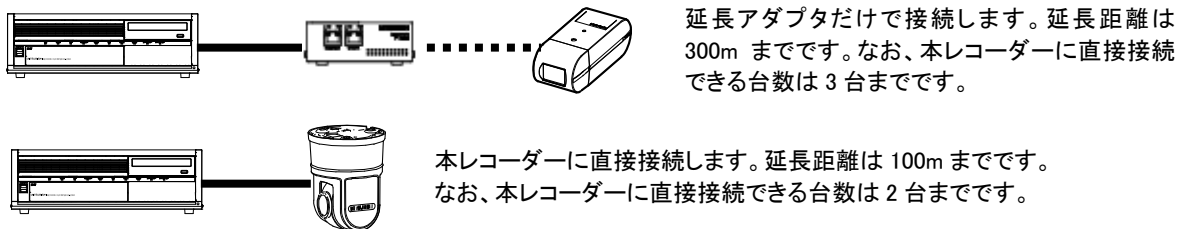
（ア） A グループ：カラーカメラの直接接続または延長アダプタ（AC アダプタ有）経由の接続

本レコーダーに直接接続します。延長距離は 100m までです。

延長アダプタと AC アダプタを使用して直接接続します。延長距離は 500m までです。

延長アダプタと AC アダプタを使用して直接接続します。延長距離は 500m までです。

（イ）Bグループ：MELOOKμカメラの延長アダプタ（AC アダプタ無）経由の接続または MELOOKμ旋回カメラの直接接続

延長アダプタだけで接続します。延長距離は 300m までです。なお、本レコーダーに直接接続できる台数は 3 台までです。

本レコーダーに直接接続します。延長距離は 100m までです。
なお、本レコーダーに直接接続できる台数は 2 台までです。

②組合せ表

A グループとBグループの組合せは以下の通りです。（B グループの MELOOKμ旋回カメラは2台までの接続です。）

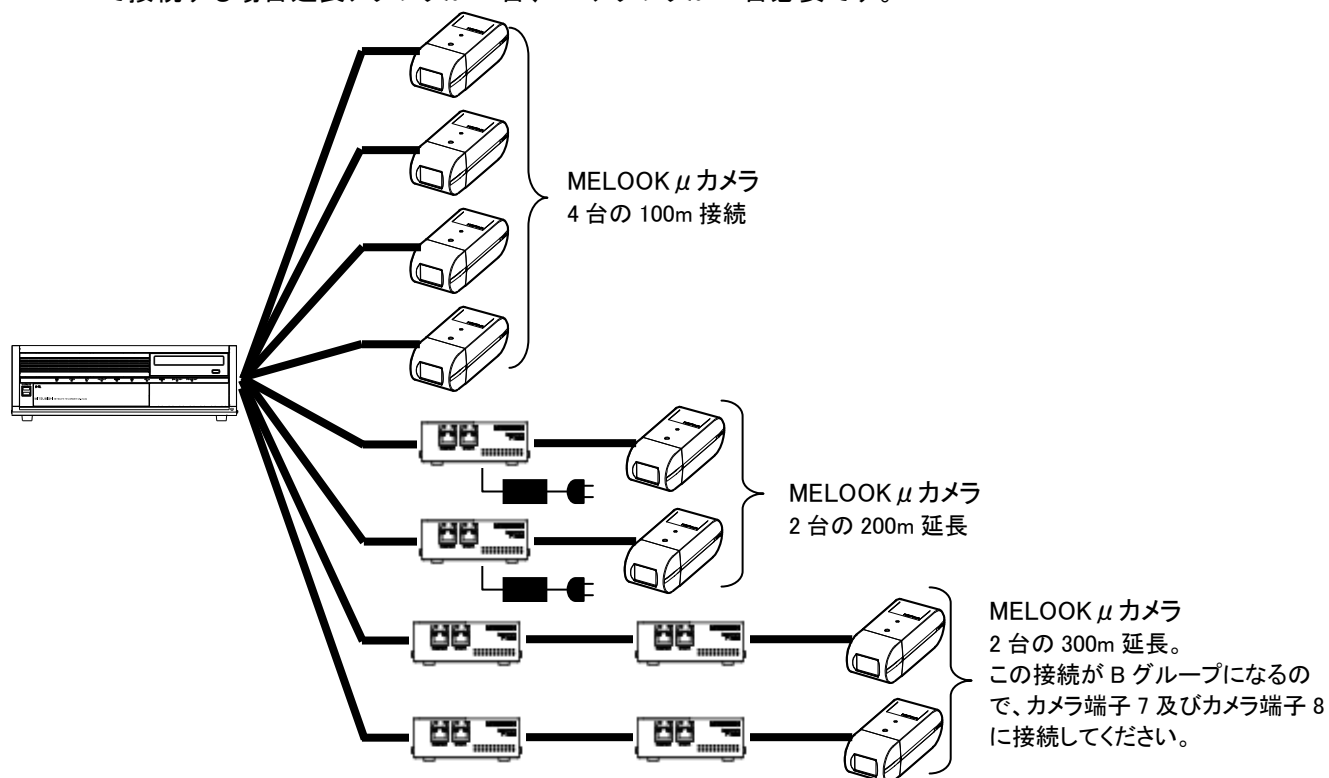
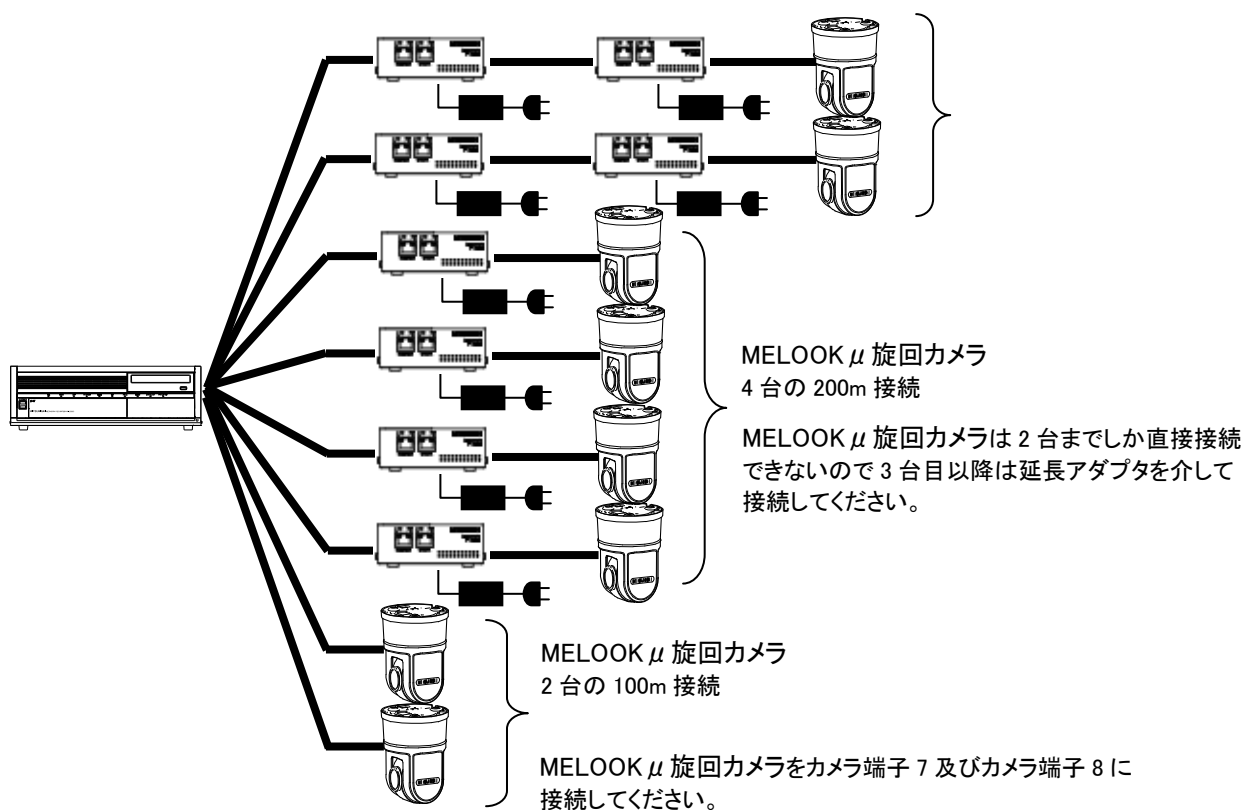
		カメラ Bグループ								
		0台	1台	2台	3台	4台	5台	6台	7台	8台
カメラ Aグループ	0台	－	○	○	○	×	×	×	×	×
	1台	○	○	○	△	×	×	×	×	
	2台	○	○	○	△	×	×	×		
	3台	○	○	○	×	×	×			
	4台	○	○	○	×	×				
	5台	○	○	△	×					
	6台	○	○	△						
	7台	○	○							
	8台	○								

○：MELOOKμカメラの接続が可能です。

×：MELOOKμカメラの接続が不可です。一時的に接続できても、不安定な動作（映像配信できないなど）になります。

△：A グループの MELOOKμカメラは、本レコーダーのチャンネルの若いカメラ入力端子側に接続してください。
例えば、A グループの MELOOKμカメラを 6 台、Bグループの MELOOKμカメラを 2 台接続する場合は、Aグループの MELOOKμカメラをカメラ 1 からカメラ 6 端子へ、Bグループの MELOOKμカメラはカメラ 7 からカメラ 8 端子に接続してください。もし、Bグループの MELOOKμカメラをカメラ 1 からカメラ 2 端子に接続した場合、Bグループの MELOOKμカメラが動作しません。

(3)接続例（組合せ制限のある構成）

①MELOOKμカメラ 2 台を 300m 延長、MELOOKμカメラ 2 台を 200m 延長、MELOOKμカメラ 4 台を 100mで接続する場合延長アダプタが 6 台、AC アダプタが 2 台必要です。

②MELOOKμ旋回カメラ 2 台を 300m 延長、MELOOKμ旋回カメラ 2 台を 200m 延長、MELOOKμ旋回カメラ 4 台を 100m で接続する場合延長アダプタが 8 台、AC アダプタが 8 台必要です。

11.簡易ビューワについて

MELOOKμシリーズ NR-2000/2010/2020 でコピーを実行するとコピーしたフォルダ内にコピー画像データと共に本アプリケーションが自動的にコピーされます。

本アプリケーションを使用してコピーした画像データを再生表示させることができます。

本章は、コピーされた画像データを再生表示するためのビューワアプリケーション(以下、簡易ビューワと記載します)の取扱い方法について記述しています。

11.1. ご使用前に

11.1.1. コンピュータ要件

下記の要件を満足するコンピュータで使用してください。

(1)OS	Microsoft Windows XP Professional SP2 以上
(2)CPU	Intel社製 Pentium 4、2. 8GHz 以上
(3)HDD	10GB 以上
(4)メインメモリ	512MB 以上
(5)ビデオ	1280×1024dot 32bit 以上

11.1.2. 制約条件

(1)本アプリケーションは、コピーされた画像データの画像情報を一旦メモリ上に展開して再生制御を実施する為、長期間記録されたデータを再生表示しようとした場合、再生開始までに数分から数十分かかることがありますが、異常ではありません。

(2)通常の再生間隔は、記録間隔と同様の速度で再生されますが、あくまでも目安であり、再現性を保障するものではありません。動作環境に依存し、所望の再生速度が出ない場合がありますが、異常ではありません。

(3)音声付画像データを再生する場合、若干、画像表示が抜けることが有ります。

(4)画面サイズ(大)[1088×816 pixel]で再生させる場合、SXGA 以上の対応モニタをご使用してください。

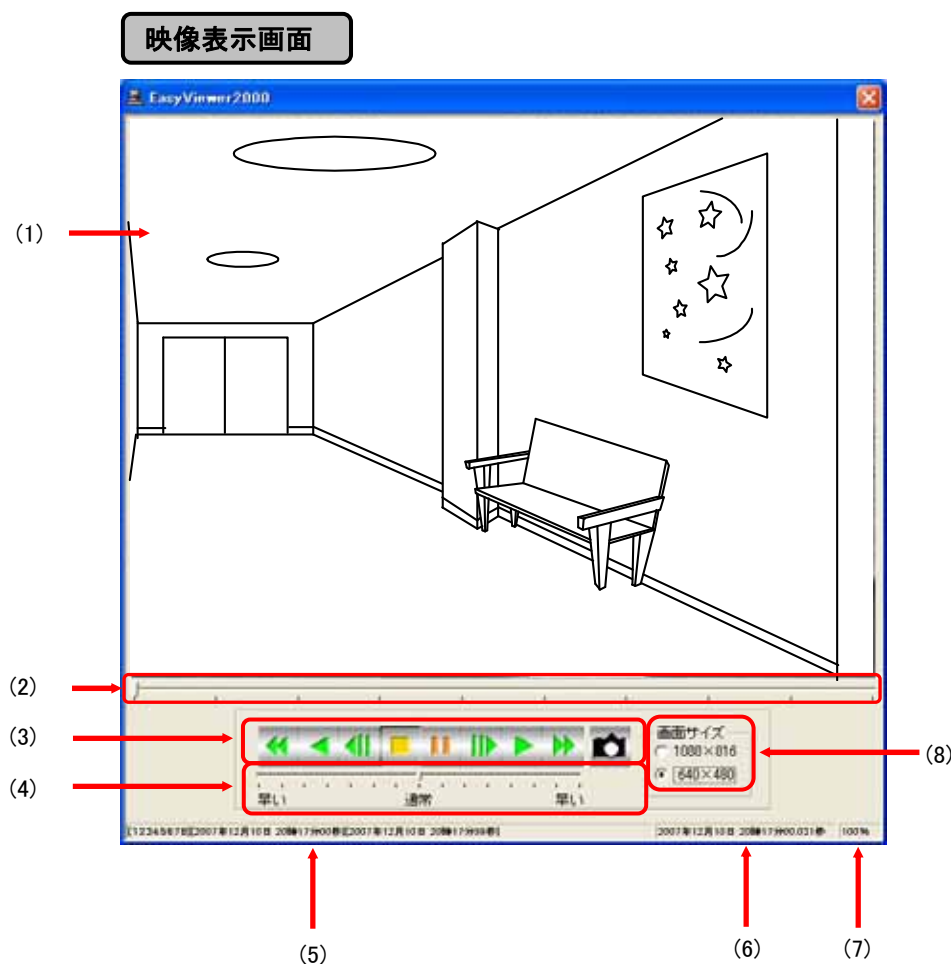
(5)パケットライティング用のソフトウェアがインストールされているコンピュータの場合、メディアが認識できずに再生できない場合があります。また、メディアが取出せなくなる可能性も有ります。できるだけ、パケットライティング用のソフトウェアがインストールされていないコンピュータで再生するようにしてください。もし、メディアが取出せなくなってしまった場合には、OS を再起動してから取出すようにしてください。

(6)音声は映像とずれることがありますが異常ではありませんので予めご了承ください。

11.2. 各種操作

11.2.1. 映像表示画面について

以下に、映像表示画面の各ボタンについて説明します。

映像表示画面

(1)画像表示エリア　　録画映像を表示します。
➡ サイズ：640×480

(2)ゲージ　　録画映像の再生位置を示します。
マウスで移動することで記録期間の任意の位置から再生を開始することができます。

(!) 任意の位置に移動した場合は、一時停止状態になります。

(3)『再生制御』ボタン　　録画映像の再生制御を行います。

- 早戻し再生・・・2 倍速で逆方向再生します。
- 逆再生・・・・・・逆方向再生します。
- コマ戻し・・・・逆方向に 1 フレームのみ進みます。
- 停止・・・・・・・・録画映像の先頭に戻ります。
- 一時停止・・・・再生を一時停止します。

・ コマ送り・・・・・・・・・ 順方向に 1 フレームのみ進みます。
・ 順再生・・・・・・・・・・ 順方向再生します。
・ 早送り再生・・・・・・・ 2 倍速で順方向再生します。
・ キャプチャボタン・・・静止画記録します。

(!) 録画映像の先頭に追いついた場合、再生を停止します。録画映像の最後尾に到達した場合、再生を停止します。

(4)再生速度設定

録画映像**の再生速度を指定します。**
・ 通常・・・・・・・・記録時とほぼ同様の速度で再生します。
・ 早い(左側)・・・逆方向に向けて高速再生を行います。(最大 100 倍速)
・ 早い(右側)・・・順方向に向けて高速再生を行います。(最大 100 倍速)

(!) 再生速度は目安です。実速度はパソコンの性能、ドライブの性能等に依存します。

(!) 再生速度を変えて早送り/早戻しを実施した場合、記録データの先頭もしくは最後尾に到達する前に再生が止まることがありますが、異常ではありません。この場合、再生速度を遅く(通常速度方向に移動する)してください。

(5)再生画像情報表示エリア 1

再生中の録画映像の情報を表示します。

表示順は「カメラ名称/記録開始時刻/終了時刻」

(6)再生画像情報表示エリア 2

表示中の画像が記録された時刻を表示します。

(7)拡大表示

現状の拡大率を表示します。
等倍・・・100%
2 倍・・・200%
4 倍・・・400%

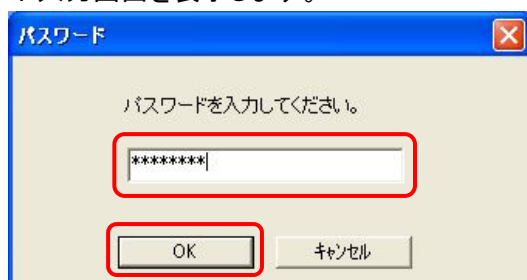
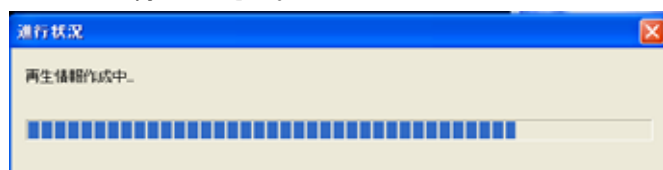
(8)『画面サイズ』ボタン

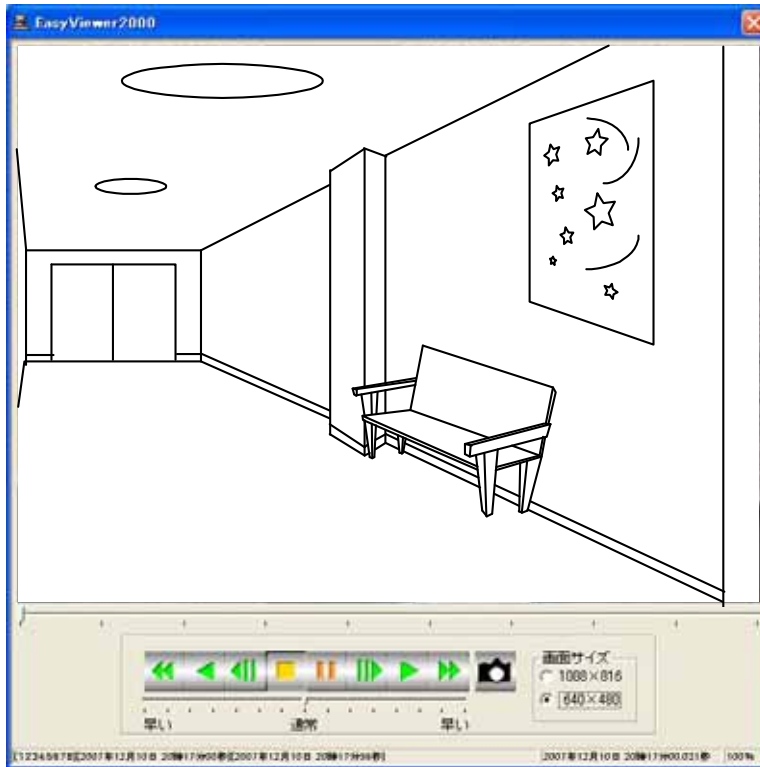
表示エリアに表示する画面サイズを指定します。
・1088×816
・640×480

11.2.2. 起動する

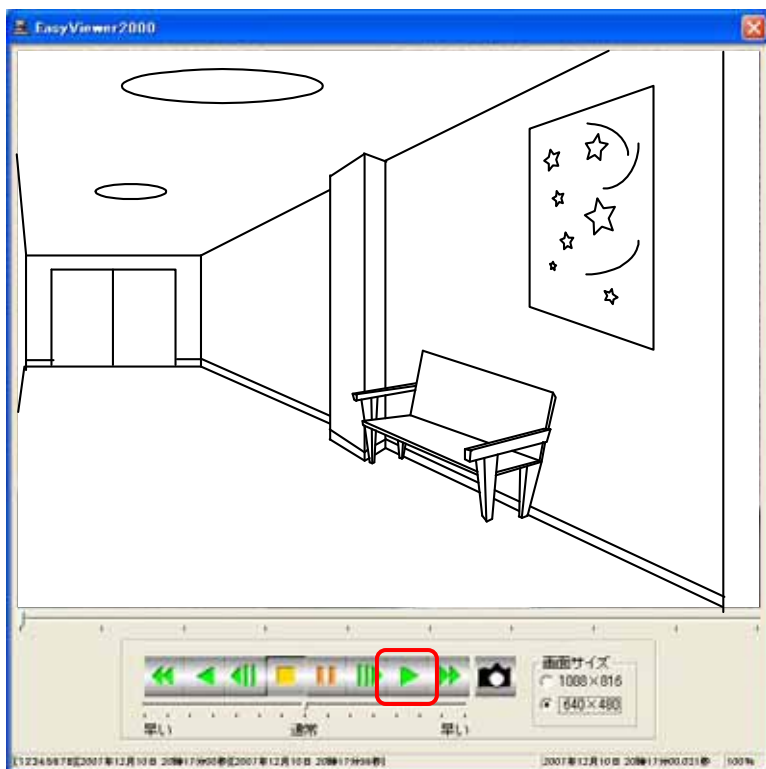
(1)「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」 →「エクスプローラ」を選択してください。
エクスプローラが起動します。

(2)コピー先のフォルダに移動してください。

(3)フォルダ内の「EasyViewer2000.exe」をダブルクリックしてください(上図)。
パスワード入力画面を表示します。

(4)9.2.5.「録画画像をコピーする」で設定した、パスワードを入力し、『OK』ボタンをクリックしてください(上図)。
パスワード認証に成功するとコピーされた画像データの読み込みを開始します。
そのまましばらくお待ちください。

- 記録時間や保存メディアの種類によっては、数分から数十分かかることがありますが、異常ではありません。
- DVD-RW 4.7(GB)のコピーデータの読み込みに約 5 分かかります。
- 保存時に設定したパスワードは忘れないように注意してください。

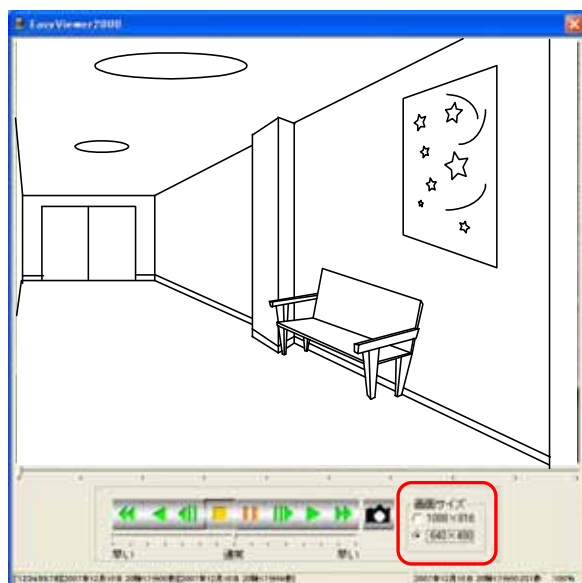
(5)コピーされた画像データの先頭画像を表示します。

映像表示画面

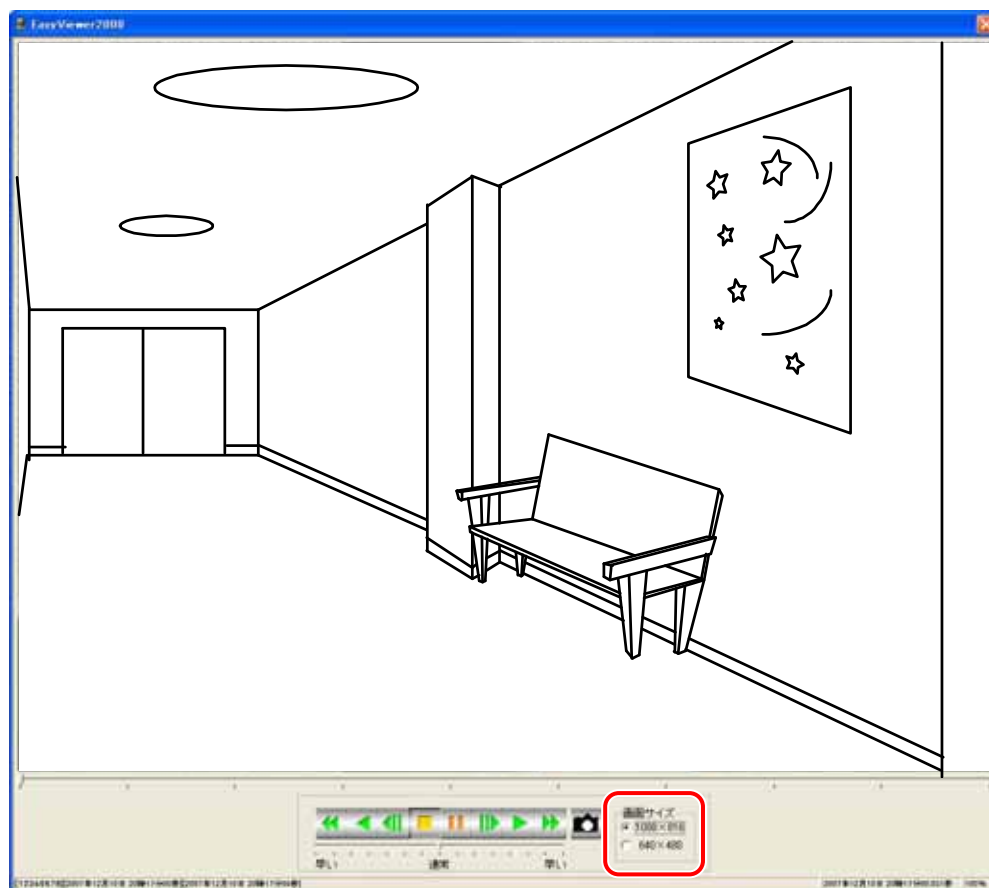
11.2.3. コピー画像を再生する

映像表示画面で ▶『再生』ボタンをクリックすると再生が開始されます。

11.2.4. 再生画像を拡大表示する

再生中に画像表示エリアをマウスで左クリックすることで、その位置を中心に画像を拡大表示することができます。拡大範囲は、2 倍(200%)、4 倍(400%)です。
右クリックで拡大表示を解除します。

11.2.5. 再生画像サイズを変更する

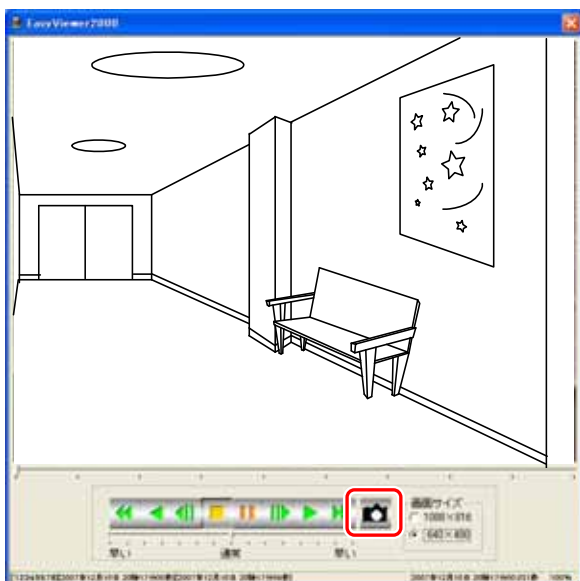
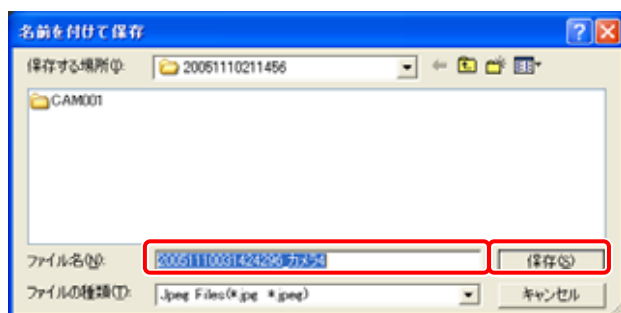
『画面サイズ』ボタンをクリックします。画面サイズ 640×480 と画面サイズ 1088×816 を切替えることができます。

映像表示画面

画面サイズ
640×480

映像表示画面

画面サイズ
1088×816

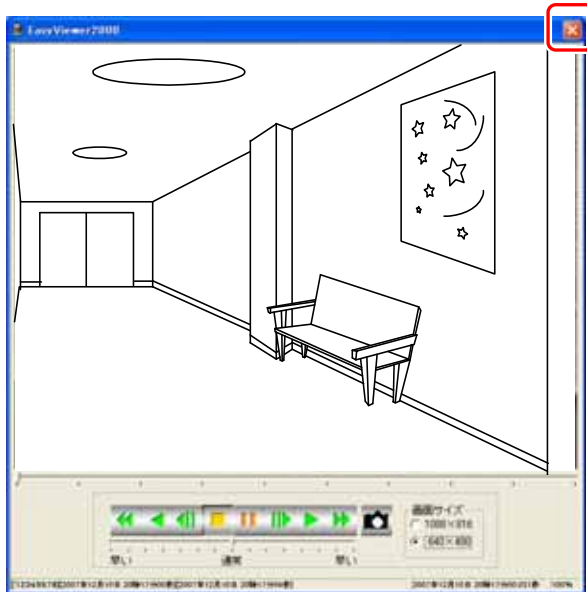
(!) 画面サイズ 1088×816 をご使用の場合、SXGA 以上のモニタを使用してください。

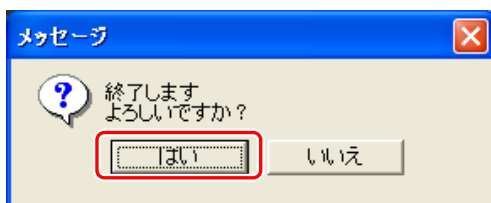
11.2.6. 再生画像を静止画保存する

(1)映像表示画面で 『キャプチャ』ボタンをクリックします。自動で一時停止状態になります。キャプチャした画像を確認してください。

(2)ファイル名を入力する画面を表示します。保存先フォルダとファイル名を指定して『保存』ボタンをクリックしてください。

ファイル保存画面

保存されるファイルの種類は JPEG です。

11.2.7. 終了する

(1)映像表示画面で『×』ボタンをクリックし終了します。

映像表示画面

(2)終了確認のメッセージを表示します。『はい』ボタンをクリックして終了してください。

12.遠隔監視機能

本レコーダーを遠隔監視により、遠隔地からのライブ映像参照や蓄積映像の再生が可能です。

12.1. ご使用前に

12.1.1. コンピュータ要件

ご使用になるネットワーク情報セキュリティの点で IP-VPN を推奨します。インターネットをご利用になる場合は、ルーターでの暗号化が必要です。

下記の要件を満足するコンピュータで使用してください。

(1) OS	Microsoft Windows XP SP3
(2) CPU	Intel社製 Pentium 4、1.3GHz 以上
(3) HDD	10GB 以上
(4) メインメモリ	512MB 以上
(5) ビデオ	1280×1024dot 32bit 以上
(6) Web ブラウザ	Internet Explorer v6 SP1、SP2 v7
(7)ネットワーク	100Mbps 以上

上記仕様の全てのコンピューターで正常動作を保証するものではありません。

12.1.2. その他の機器の要件

下記の要件を満足する機器を使用してください。

(1)HUB
- ・スイッチング容量 200Mbps/port 以上
- ・フローコントロール
- ・MDI/MDI-X 自動切替え

NEC 製：QX-S408B/S416B/S424B にて動作確認を行なっています。

(2)ルータ
- ・LAN 側接続速度は 100Mbps 以上
- ・NAT 変換/IP マスカレード機能を有する

YAMAHA 製：RT107e にて動作確認を行なっています。

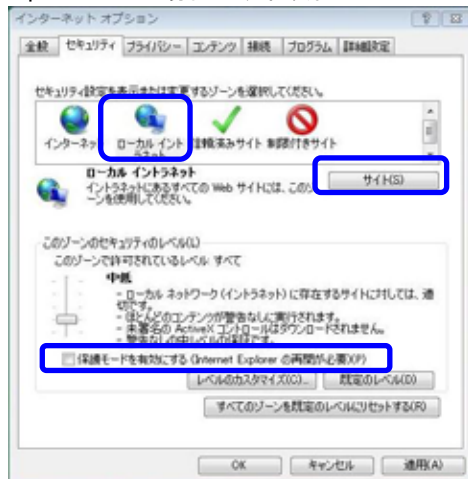
12.1.3. ご注意事項

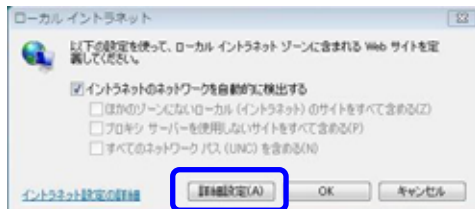
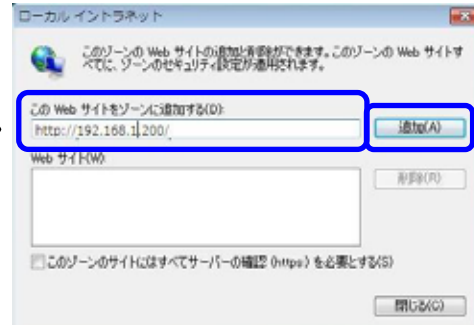
本レコーダーの Web 配信機能に関する注意事項を以下に記載します。

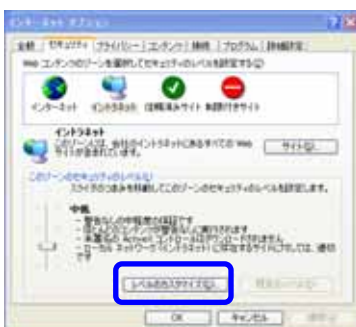
(1)遠隔 PC とレコーダー本体でそれぞれ再生は可能ですが、同時再生はできません。また、レコーダー本体のコピー機能と遠隔 PC での再生機能の同時使用はできません。
(2)複数の遠隔 PC から接続制御、レコーダーと遠隔 PC の同時再生制御に関しては、先取り優先とします。
(3)ライブ映像、再生映像ともに Web で表示するためには、レコーダーにおいて当該カメラの蓄積をおこなっている必要があります。また、記録レート以上でライブ表示することはできません。
(4)カメラ制御とレコーダー本体との競合制御は後取り優先となります。
(5)部分拡大機能、自動スキャン機能、ライブ中再生機能はありません。
(6)遠隔 PC 側は、Administrator 権限でログインする必要があります。
(7)遠隔 PC 側のブラウザ設定で、Javascript、ActiveX、Cookie を有効にする必要があります。
(8)ライブ表示中にアラームが発生しても、Web 表示中のカメラは連動しません。
(9)遠隔 PC のブラウザは、同時に複数起動しないでください。
(10)ブラウザの『戻る』、『進む』機能は使用しないでください。
(11)ソフトウェア VPN は、保証対象外です。
(12)アラーム検索機能は、ソートのみで時刻、発生箇所、種別を指定した絞込み機能はありません。
(13)遠隔 PC での監視中に本レコーダーを再起動した場合には、通信が終了します。再度、接続してください。

12.1.4.InternetExplorerの設定変更

NR-2000 シリーズに接続する前に、InternetExplorer に対して、NR-2000 シリーズの IP アドレスを「ローカルイントラネット」に登録してください。

登録手順(InternetExplorer　v7 について記載します。)
①InternetExplprer を起動し、[ツール]メニューから[インターネットオプション]を選択します。
②「インターネットオプション」ウィンドウが開いたら、「セキュリティ」タブを開き、「ローカルイントラネット」を選択します。
③「保護モードを有効にする(InternetExplorer の再開が必要)(P)」のチェックを外します。
　(InternetExplorer v6 の場合は、本項目はないので、設定は不要です。)

インターネットオプション画面

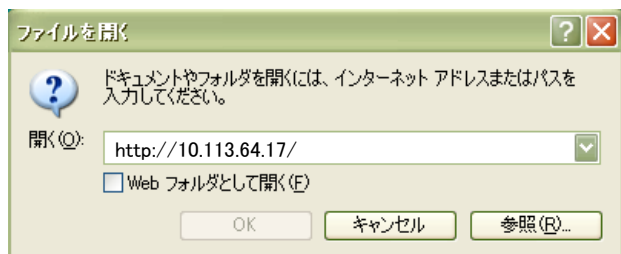
④「インターネットオプション」ウィンドウで『サイト』ボタンを押すと、「ローカルイントラネット」ウィンドウが開くので、『詳細設定(A)』ボタンを押します。
⑤『詳細設定(A)』ボタンを押すと、「ローカルイントラネット」ウィンドウが開くので、「この Web サイトをゾーンに追加する(D):」に NR-2000 シリーズの IP アドレス(例：http://192.168.1.200/)を入力し、『追加(A)』ボタンを押します。

ローカルイントラネット画面

⑥「Web サイト(M)」欄に NR-2000 シリーズの IP アドレスが追加されたことを確認し、「ローカルイントラネット」ウィンドウの『閉じる』ボタンを押して、「ローカルイントラネット」ウィンドウを閉じ、更に「インターネットオプション」ウィンドウの『OK』ボタンを押して、「インターネットオプション」ウィンドウを閉じてください。

➡ InternetExplorer v6 の場合は、更に「インターネットオプション」ウィンドウにて、『レベルのカスタマイズ(C)』ボタンを押して、「セキュリティの設定」ウィンドウを開き、「スクリプトを実行しても安全だとマークされていない ActiveX コントロール」の設定を「有効にする」に変更してください。

インターネット
オプション画面

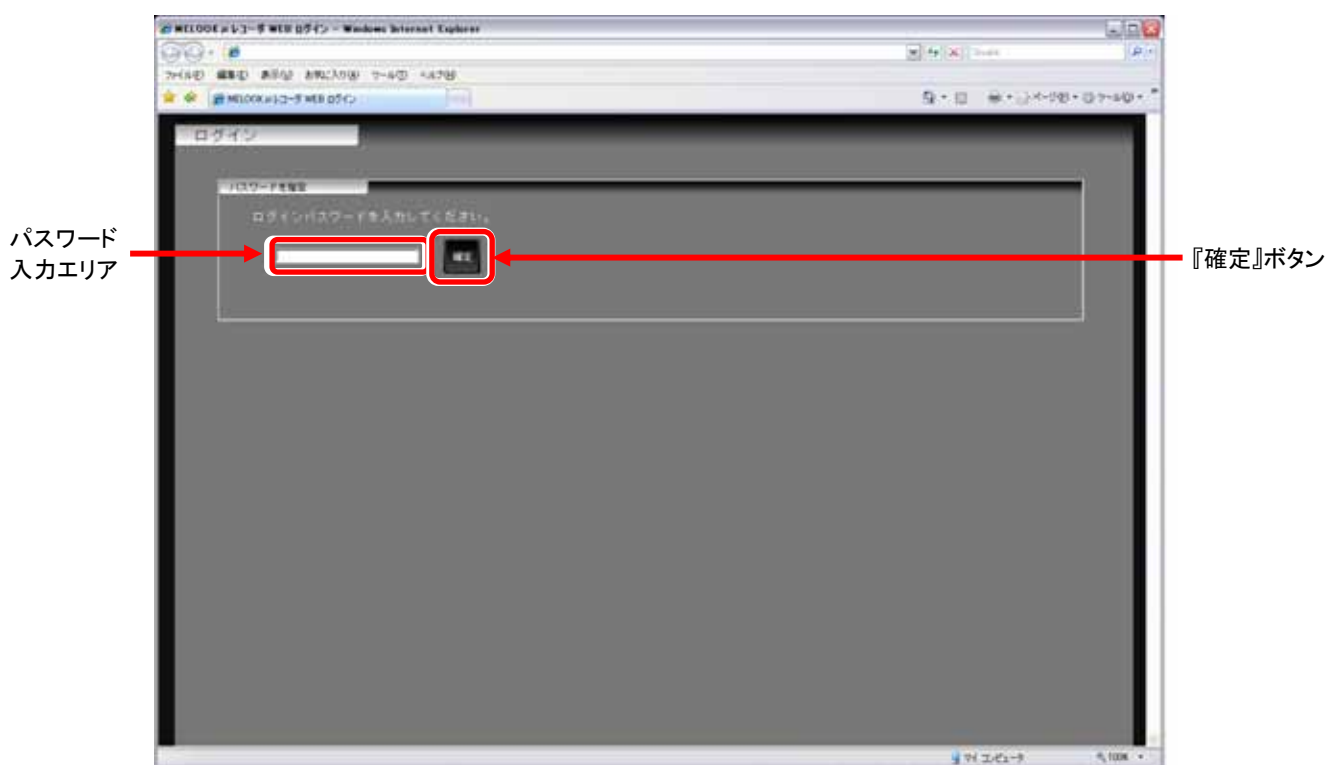
セキュリティーの
設定画面

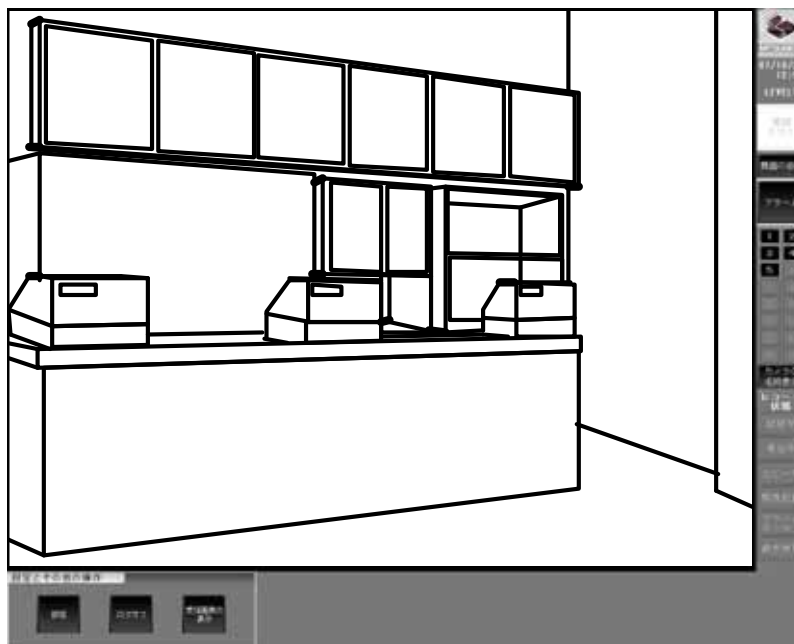
12.2. 起動する

(1)デスクトップ上の InternetExplorer のアイコンをクリックするか、「スタート」→「プログラム」→「InternetExplorer」から InternetExplorer を起動してください。

(2)InternetExplorer のファイルメニューの開くを選択し、表示されたファイルを開くダイアログに本レコーダーの IP アドレスを入力してください。(例:http://10.113.64.17/)

URL 入力画面

(3)IP アドレスを入力後、『OK』ボタンを押してください。

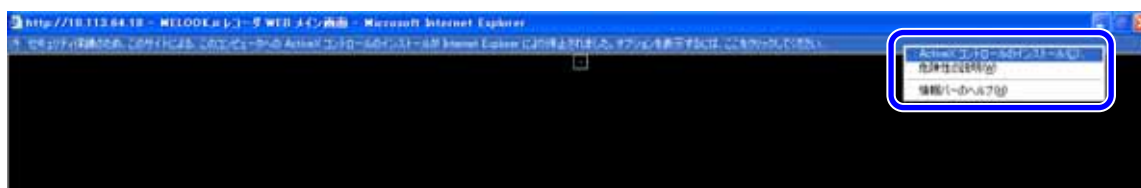
(4)ログイン画面が表示されますので、パスワードを入力して、『確定』ボタンを押してください。

ログイン画面

(5)監視画面が表示され、最も若い番号のカメラ映像が表示されます。

通常メイン画面

Web 接続時のレコーダー画面には、「ステータス表示」パネルの「デバイス情報」に下記表示がされます。
・Web で接続時、レコーダーに「Web 接続中」が表示されます。
・Web で再生時、レコーダーに「Web 再生中」が表示されます。

参考 詳細は「9.4.4.ステータス表示パネル」42 頁を参照してください。

<<ActiveX コントロールのインストールについて>>

はじめて NR-2000 シリーズに接続した場合や、NR-2000 シリーズのソフトウェアがバージョンアップされた場合は、ログイン時に「ActiveX コントロールのインストール」ポップアップが表示される場合があります。「ActiveX コントロールのインストール」ポップアップが表示された場合は、「ActiveX コントロールのインストール(c)」を選択してください。

InternetExplprer 画面

また、ActiveX コントロールのインストール時は、[セキュリティの警告]ウィンドウが表示される場合があります。[セキュリティの警告]ウィンドウが表示された場合は、『インストールする(T)』ボタンを選択してください。

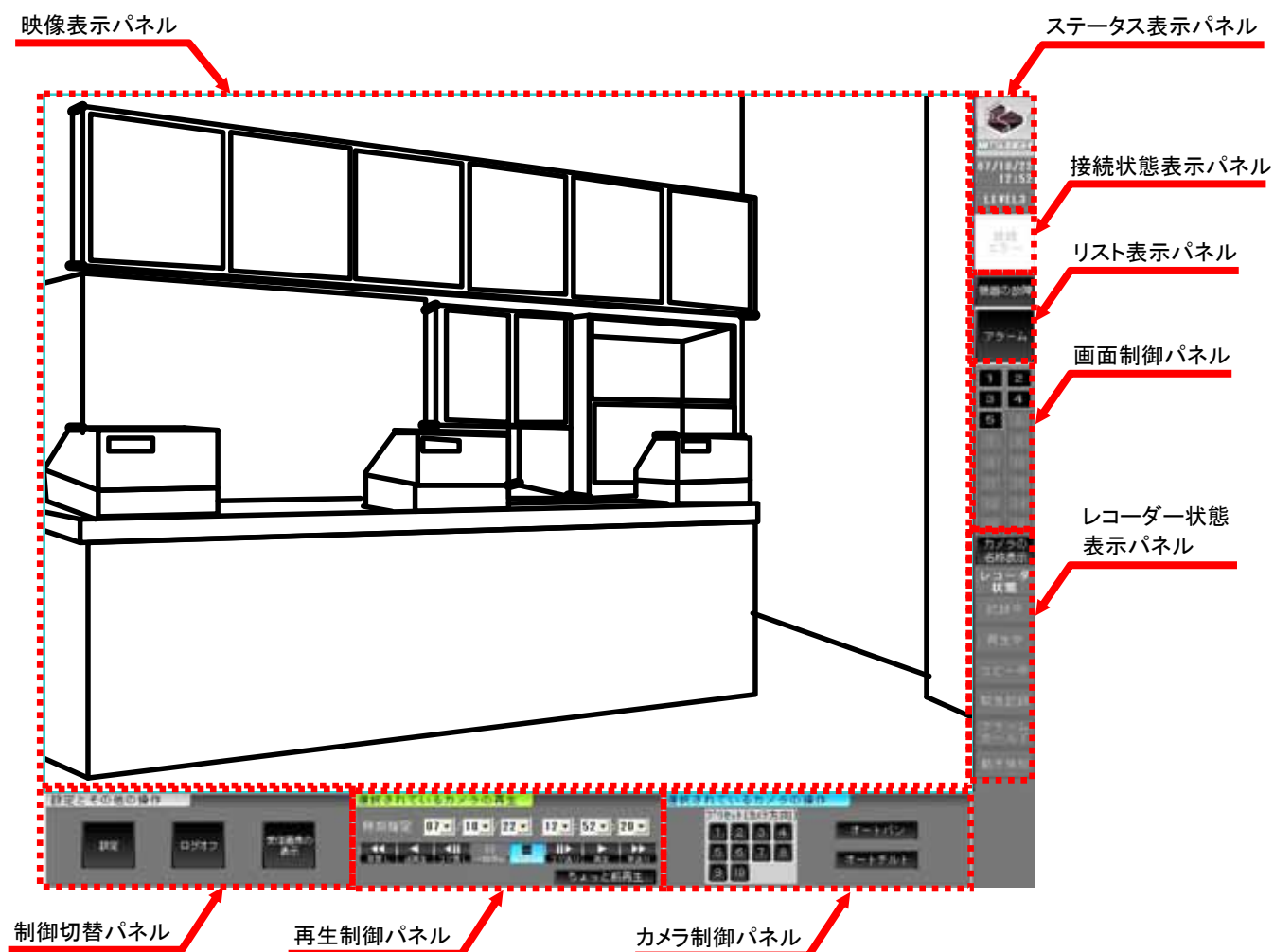
[セキュリティの警告]ウィンドウ

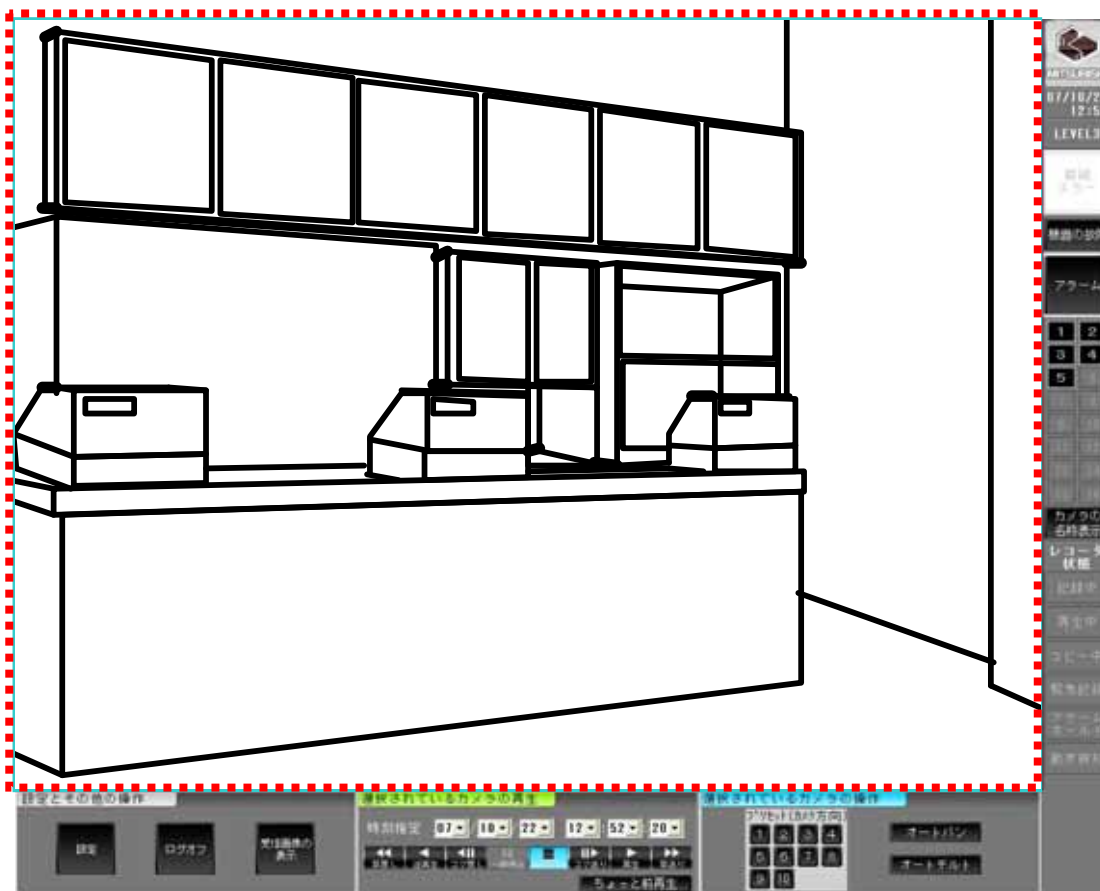
12.3. 画面説明

本項では、遠隔操作時の各画面について説明します。

12.3.1. 通常（メイン）画面について

下図の初期画面が表示されます。

起動後は、接続されているカメラのうち、最も若い番号のカメラが表示されます。

12.3.2. 映像表示パネル

接続先レコーダからのライブ映像または記録されている映像を表示するパネルです。
本パネルは単画表示のみ可能となります。

映像表示パネル

12.3.3. ステータス表示パネル

ロゴ、現在時刻、ログイン時のユーザーレベルを表示します。
本レコーダーの状態を示すパネルです。本パネルは、常に表示します。

ステータス表示パネル

(1) MITSUBISHI
(2) 07/10/22 12:52
(3) LEVEL3

(1)ロゴ　　ユーザーロゴを表示します。

(2)カレンダー表示　　装置のシステム時刻を表示します。
1 行目　　YY/MM/DD
YY は西暦下 2 桁
MM は 2 桁固定(1 月なら"01")
DD は 2 桁固定(9 日の場合は"09")
2 行目　　hh:mm
hh は 2 桁固定(9 時の場合は"09")
mm は 2 桁固定(3 分の場合は"03")

(3)ユーザーレベル表示　　ユーザーレベル(操作制限レベル)を表示します。

12.3.4.接続状態表示パネル

接続先レコーダーとの接続状態を表示するパネルです。

接続状態表示パネル

<<正常時表示>>

<<異常時表示>>

接続先レコーダーとの接続状態を表します。

接続が正常の場合、背景色は白、文字色は薄グレーで表示されます。
接続が異常の場合、背景色は赤、文字色は白で表示されます。

➡ 接続エラーが継続する場合には、レコーダーの電源、ネットワーク等のご確認のうえログオフし、再度接続しなおしてください。

12.3.5.リスト表示パネル

接続先レコーダーのアラーム発生通知、機器故障通知を行うパネルです。

(!) リスト表示パネルは、ユーザーレベル 3 のときのみ有効となります。
ユーザーレベル 1 及びユーザーレベル 2 の場合には、無効表示となります。

リスト表示パネル

(1) 機器の故障

(2) アラーム

(1)『機器の故障』ボタン　ボタンを押すと、接続先レコーダの故障履歴リストを表示します。
接続先レコーダで機器故障が発生した場合は、発生中状態（赤色）となり、本ボタンを押すまで継続します。

(2)『アラーム』ボタン　本ボタンを押すと、接続先レコーダのアラームリストを表示します。
接続先レコーダでアラームが発生した場合は、発生中状態（赤色点滅）となり、本ボタンを押すまで継続します。

<<表示無効状態>>

(!) ログインレベルがユーザーレベル 1、 ユーザーレベル 2 の場合は無効となります。

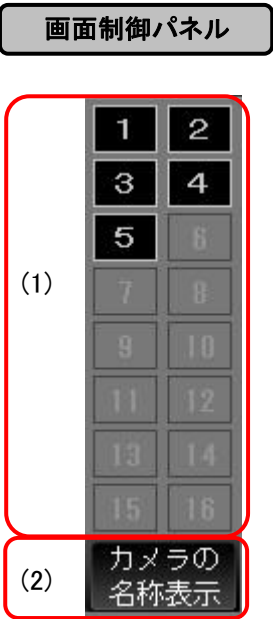
<<異常時表示>>

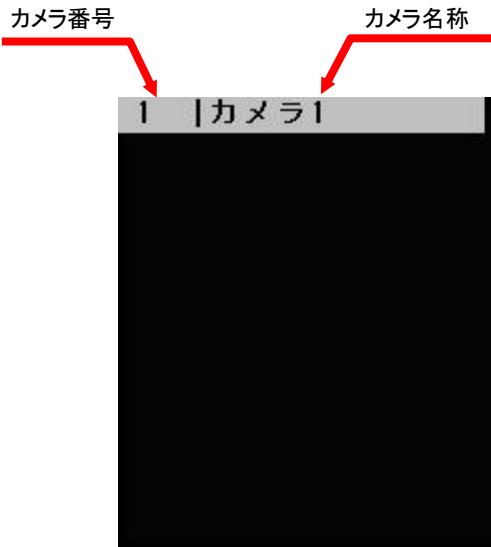
(!) ユーザーレベル 1、 ユーザーレベル 2 の場合（無効時の場合）においても機器故障とアラームの発生中状態を表示します。

(!) アラーム音が「あり」と設定されている場合には、機器の故障、アラームが発生した場合に、アラーム音が鳴動します。『機器の故障』、『アラーム』ボタンを押して停止してください。
ユーザーレベル 2、ユーザーレベル 1 の場合もアラーム音は、鳴動します。（ユーザーレベル 3 でログインし、「アラーム」、「機器の故障」を確認してください。）

12.3.6.画面制御パネル

映像表示パネルの動作制御を行うパネルです。また、カメラ名称表示 On/Off の切替制御もできます。

画面制御パネル

(1)『単画切替え』ボタン　　ユーザが指定したカメラ番号に割当てられているカメラの映像（接続先レコーダからの映像）を表示します。任意のカメラを選択できます。カメラ映像表示部にカメラ番号が表示されます。

(2)『カメラの名称表示』ボタン　　カメラ名称が表示されます。本ボタンを押すと、各カメラ映像の左上に名称を表示するしないを選択します。

カメラ映像表示部

12.3.7.レコーダー状態表示パネル

接続先レコーダーの操作状態や外部入力状態などを表示するパネルです。

レコーダー表示パネル

レコーダ状態

(1) 記録中

(2) 再生中

(3) コピー中

(4) 緊急記録

(5) アラームホールド

(6) 動き検知

(1)記録状態表示　接続先レコーダーの記録状態を表示します。
点燈時、レコーダー記録中を表します。

(2)再生状態表示　接続先レコーダーの再生状態を表示します。
点燈時、レコーダー再生中を表します。

(!) レコーダーで再生中は、遠隔 PC での再生はできません。

(3)コピー状態表示　接続先レコーダーのコピー状態を表示します。
点燈時、レコーダーのコピー中を表します。

(!) レコーダーでコピー中は、遠隔 PC での再生はできません。

(4)緊急記録状態表示　接続先レコーダーの緊急記録状態を表示します。
点燈時、レコーダー緊急記録中を表します。

(5)アラームホールド表示　接続先レコーダーのアラームホールド状態を状態を表示します。
点燈時、レコーダーのアラームホールド中を表します。

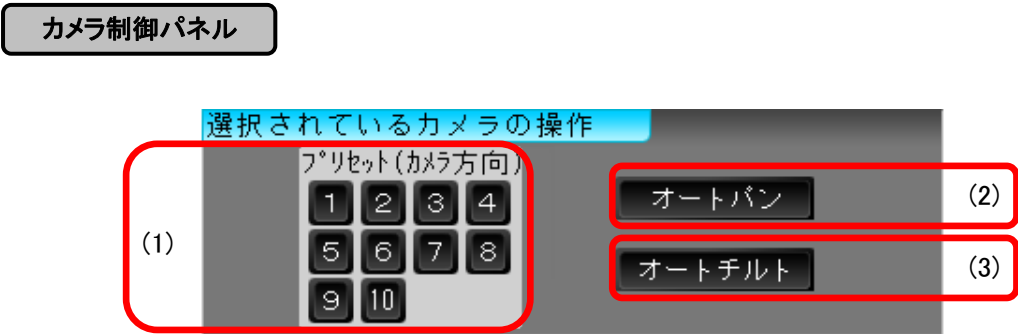
(6)動き検知状態表示　接続先レコーダーの動き検知状態を表す。
点燈時、レコーダーの動き検知を表します。

12.3.8.カメラ制御パネル

カメラ毎の動作を制御するパネルです。
カメラ制御が可能なカメラを選択したとき、本パネルを表示します。

(!) ログインレベルがユーザーレベル 1 の場合、本パネルは非表示となります。

(!) 制御の対象カメラにカメラ制御がない場合には、本パネルは非表示となります。

カメラ制御パネル

(1)『プリセット』ボタン

選択中カメラに対しプリセット動作を指示します。
カメラの仕様に関わらず、1 カメラ最大 10 点までとなります。

(!) プリセット選択時、オートパン、オートチルトは停止します。

(2)『オートパン』ボタン

旋回型カメラに対するオートパン動作を指示します。
オートパンは、指定プリセット位置間を旋回します。
本ボタンを押すと、オートパン開始コマンドを接続先レコーダへ送信します。

(3)『オートチルト』ボタン

旋回型カメラに対するオートチルト動作を指示します。
オートチルトは、指定プリセット位置間を旋回します。
本ボタンを押すと、オートチルト開始コマンドを接続先レコーダへ送信します。

(!) オートパン、オートチルトを停止する場合には、「再生制御パネル」の『停止』ボタンを押してください。

12.3.9.再生制御パネル

接続先レコーダーで記録した映像の再生制御を行うパネルです。

ユーザーレベル 1 の場合、本パネルは非表示となります。

再生制御パネル

(1)時刻指定

時刻指定方法を、YY(年)/MM(月)/DD(日) hh(時):mm(分):ss(秒) とし、それぞれ指定範囲は次の通りとします。

例)07/10/22 15:00:00

起動直後は現在時刻が設定されています。一度再生を実施すると再生停止時刻が設定されます。

時刻指定範囲

指定	範囲
西暦(下 2 桁)	08～37 (2 桁表示)※西暦は 2008 年～2037 年が有効範囲となります。
月	01～12(2 桁表示)
日	01～31(2 桁表示)※月指定、閏年に関係なく最大 31 まで指定が可能です。
時	00～23(2 桁表示)
分	00～59(2 桁表示)
秒	00～59(2 桁表示)

表示例) 08/01/10 15:00:00

(2)『再生』ボタン

記録した映像・音声を再生するボタンです。

【早戻し】 2 倍速で逆再生を行います。

【逆再生】 1 倍速逆再生を行います。

【コマ戻し】 1 フレーム逆再生を行い、一時停止状態となります。

【一時停止】 再生中、一時停止となります。
停止中(ライブ中)は無効表示となります。

【停止】 再生を停止(このときライブ表示に切替わります)します。

【コマ送り】 1 フレーム順再生を行い、一時停止状態となります。

【再生】 1 倍速順再生を行います。

【早送り】 2 倍速で順再生を行います。

(3)『ちょっと前再生』ボタン

ライブ表示中は現在時刻、再生中は再生時刻の 5 秒前から再生(1 倍速順再生)開始します。

12.3.10. 制御切替パネル

保守モードへの切替、ログオフ、受信画像フォルダの表示制御を行うパネルである。

ⓘ ログインレベルがユーザーレベル 1、ユーザーレベル 2 の場合、ログオフのみ有効となります。

制御切替パネル

(1)『設定』ボタン　保守モードに遷移するボタンです。

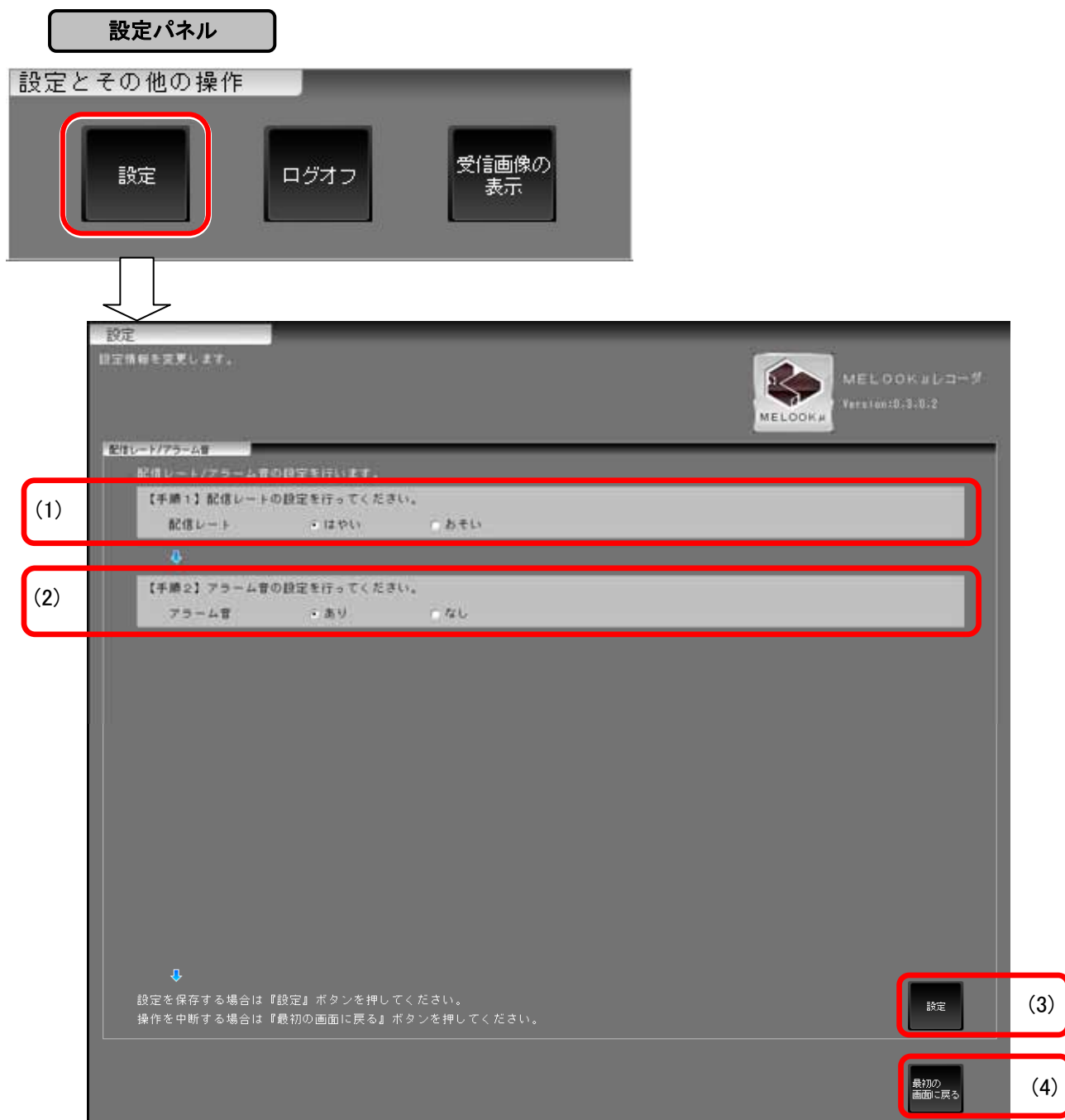
ⓘ ログインレベルがユーザーレベル 1、ユーザーレベル 2 の場合、本ボタンは非表示となります。

(2)『ログオフ』ボタン　接続先レコーダからログオフを行うボタンです。
本ボタンを押すと確認メッセージが表示され、ログオフを確定すると接続先レコーダとの接続が解除されてアプリケーションが終了します。

(3)『受信画面の表示』ボタン　受信画像フォルダを表示するボタンです。
本ボタン押すと、接続先レコーダから受信した画像を保存しているフォルダを表示します。

ⓘ ログインレベルがユーザーレベル 1、ユーザーレベル 2 の場合、本ボタンは非表示となります。

12.3.10.1. 設定パネル

制御切替パネルの設定ボタンを押すと、設定画面を表示します。

【手順 1】配信レート設定を行ないます。

（1）配信レート設定

SXVGA と VGA の配信レートの設定を実施します。
画像表示が SXVGA、VGA の設定はそれぞれ下記のとおりとなります。
「はやい」…SXVGA の最大配信レートを最大 1fps に設定します。
VGA の最大配信レートを最大 4fps に設定します。
「おそい」…SXVGA の最小配信レートを最小 0.25fps に設定します。
VGA の最小配信レートを最小 1fps に設定します。

(!) 実際の配信レートは、ネットワークの状況により設定した配信レートを下回る場合があります。

【手順 2】アラーム音の設定を行ないます。

（2）アラーム音設定　　　アラーム、機器故障発生時、アラーム音を出力するかを設定します。
「あり」　…アラーム音を出力する。
「なし」　…アラーム音を出力しない。

【手順 3】『設定』ボタンで、設定を保存します。

（3）『設定』ボタン　　　設定された内容を保存します。

設定した内容を有効にするには、ログオフ後再接続する必要があります。

12.3.10.2. 受信画像の表示パネル

制御切替パネルの受信画像の表示ボタンを押すと、再生時に接続先レコーダから受信した画像ファイルを保存しているフォルダをエクスプローラで表示します。

受信画像表示パネル

受信画像の表示パネル

- 受診画像の表示をおこなうと、タスクバーが表示される場合があります。「タスクバーを自動的に隠す」設定をおこなうと、タスクバーを表示させせないようにすることができます。「受診画像の表示」パネルを閉じる場合には、右上の ボタンを押してください。
エクスプローラーが表示されている状態で、通常メイン画面を操作（クリック）すると、エクスプローラーが裏側に隠れます。再度表示する場合は、『受信画像の表示』ボタンを押してください。
- 表示状態は、エクスプローラーの設定に依存します。

12.3.11. 機器の故障リスト

『機器の故障』ボタンを押すと、以下のリストが画面の左下部分(設定とその他の操作パネル表示エリア)に表示されます。
表示される詳細は最大 5 件です。リスト更新時は発生日時の降順で、最新の情報からリスト上位に表示します。

機器の故障リスト表示部

(1)発生日時リスト	機器故障が発生、または復旧した日時を表示します。
(2)状態リスト	故障の状態(「発生」/「復旧」)を表示します。
(3)発生場所リスト	故障機器の名称を表示します。
(4)故障内容リスト	機器の故障内容を表示します。 <例> 通信異常 記録停止
(5)『×』ボタン	「機器の故障リスト」を非表示にし、「設定とその他の操作」パネルを表示します。

- 各項目名をクリックすると表示が項目ごとに自動的にソート(昇順/降順)されます。
- 機器の故障リストのセルの幅は自由に変更できます。
- リスト表示中に再度『機器故障』ボタンを押すと非表示になります。
- リスト表示が 5 件を超えると最過去のリストから順に消去されます。

12.3.12. アラームリスト

『アラーム』ボタンを押すと、以下のリストが画面の左下部分(設定とその他の操作パネル表示エリア)に表示されます。
表示される詳細は最大 100 件です。リスト更新時は発生日時の降順で、表示されます。

アラームリスト表示部

(1)アラームリスト制御

【『再生』ボタン】　アラームリストが選択されている場合、本ボタンを押すと、アラーム発生した時刻から再生(1 倍速順再生)が開始されます。
アラームリストの項目が 0 件の場合は本ボタンが無効表示となります。

➡ リスト内の項目のダブルクリックでも再生を開始します。

(2)発生日時リスト　アラーム、エマージェンシーの発生・解除日時を表示します。

(3)状態リスト　「発生」か「解除」であるかを表示します。
(「解除」はエマージェンシーのみです。)

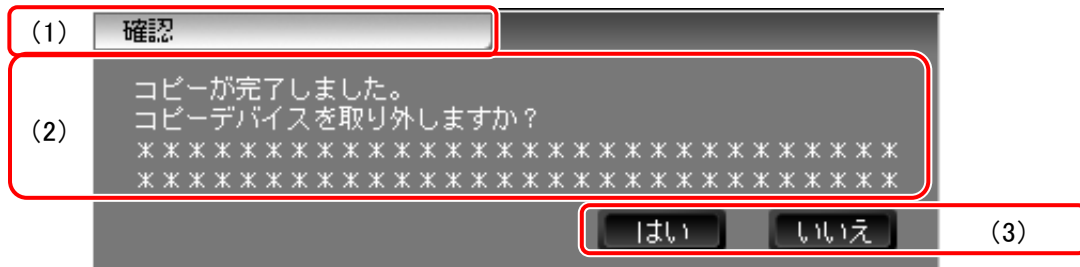
(4)発生場所リスト　アラーム、エマージェンシーが発生、または解除した場所を表示します。

(5)連動カメラリスト　発生したアラームに連動しているカメラの番号を表示します。カメラ番号はカンマ区切りで表示します。

(6)『×』ボタン　「アラームリスト」を非表示にし、「設定とその他の操作」パネルを表示します。

- ➡ 各項目名をクリックすると各表示が項目ごとに自動的にソート(昇順/降順)されます。
- ➡ アラームリストのセルの幅は自由に変更できます。
- (!) リスト表示中に再度『アラーム』ボタンを押すと非表示になります。
- (!) リスト表示が 100 件を超えると、最過去のリストから順に消去されます。
- (!) アラームリストから再生した場合、アラームの解除時間された以降は、ノーマル記録となります。
- (!) 記録停止中に発生したアラーム記録とエマージェンシー記録の再生時の動作は以下となります。
  - ・アラーム記録：操作エラーを出力し、アラーム連動カメラへ画面切替えをおこない、ライブ表示します。
  - ・エマージェンシー記録：最新時刻にて一時停止します。

13.確認メッセージ

各種設定を実行すると、下図の確認メッセージを表示します。

(1)メッセージ表示部分　確認メッセージの時には「確認」、エラーメッセージの時には「エラー」と表示されます。
エラーメッセージが表示された時には「14.エラーメッセージ」140 頁を参照してください。

(2)確認メッセージ　確認メッセージ、エラーメッセージに対応したメッセージを表示します。
表示されたメッセージを確認の上、『確認』ボタンを押してください。

(3)確認ボタン　確認メッセージの内容を確認し『はい』ボタン、『いいえ』ボタンを押してください。

項目	メッセージ	説明・対応
全項目	記録が停止しています。 記録を再開する場合は、設定画面の『情報表示』内にある『記録再開』ボタンを押してください。	記録停止中に 10 分間隔で表示します。 『確認』… ダイアログを閉じます。
起動	初回起動です。 記録データの暗号化を行いますか?	本レコーダーを始めて機動する場合に、記録データの暗号化処理をするかどうかの選択をします。 『はい』… 記録データの暗号化処理を行います。 『いいえ』…記録データの暗号化処理は行いません。 ※本設定は初回起動時のみ行います。起動後の設定変更はできません。
	設定ファイルが異常です。 前回起動時の設定ファイルで起動しますか？ はい ： 前回設定で起動 いいえ： 終了	システムの設定情報が異常な状態となっているため、バックアップ情報に差し替えて、起動を試みる場合に表示します。 『はい』 … バックアップ情報に差し替えてシステムの起動を試みます。 『いいえ』… システムを終了します。
コピー	指定したデバイスの残容量が足りません。 『無制限』指定でコピーを開始しますか？	コピー時に指定デバイスの残容量よりコピーサイズが多い場合に表示します。 『はい』 …サイズを『無制限』指定に変更しコピーを開始します。 『いいえ』…コピー画面へ戻ります。
	コピー実行中です。 コピーを停止してもよろしいですか？	コピー実行中に『録画映像のコピー中止』ボタンを押した場合に表示します。 『はい』 …コピーを停止します。 『いいえ』…コピーを続行します。
	コピーが完了しました。 コピーデバイスを取外しますか？ コピー完了時刻は、YYYY/MM/DD hh:mm:ss です。	USB メモリにコピーを行い、コピーが完了した際に表示します。 『はい』 …USB メモリの取外しを行います。 『いいえ』…USB メモリの取外しを行いません。
	コピーが完了しました。 コピー完了時刻は、YYYY/MM/DD hh:mm:ss です。	CD/DVD にコピーを行い、コピーが完了した際に表示します。 『確認』 …ダイアログを閉じます。
	コピーを中止しました。 コピーデバイスを取外しますか？	USB メモリへのコピーを中止した場合(コピー準備のみで実際にはコピーしなかった場合)に表示します。 『はい』 …USB メモリの取外しを行います。 『いいえ』…USB メモリの取外しを行いません。
	コピーを中止しました。	CD/DVD へのコピーが失敗した場合(コピー準備のみで実際にはコピーしなかった場合)に表示します。 『確認』 …ダイアログを閉じます。
	コピーを中止しました。 コピーデバイスを取外しますか？ コピー完了時刻は、YYYY/MM/DD hh:mm:ss です。	USB メモリへのコピーを中止した場合(実際にはコピーを行った場合)に表示します。 『はい』 …USB メモリの取外しを行います。 『いいえ』…USB メモリの取外しを行いません。
	コピーを中止しました。 コピー完了時刻は、YYYY/MM/DD hh:mm:ss です。	CD/DVD へのコピーが失敗した場合(実際にはコピーを行った場合)に表示します。 『確認』 …ダイアログを閉じます。

項目	メッセージ	説明・対応
コピー	コピーを中止しました。 コピーデバイスを取外しますか？ コピーデータはありません。	USB メモリへのコピーを中止した場合(コピーを行わなかった場合)に表示します。 『はい』… USB メモリの取外しを行います。 『いいえ』…USB メモリの取外しを行いません。
	コピーを中止しました。 コピーデータはありません。	CD/DVD へのコピーを中止した場合（コピーを行わなかった場合）に表示します。 『確認』 …ダイアログを閉じます。
システム設定	変更した内容は『最初の画面に戻る』ボタンを押して再起動してから反映されます。 設定を変更してもよろしいですか？	設定ファイルが更新される項目を変更した場合に表示します。 『はい』 …変更内容を保持し、設定画面へ戻ります。 『いいえ』…変更内容を保持せず、設定画面へ戻ります。
映像表示設定	変更した内容は『最初の画面に戻る』ボタンを押して再起動してから反映されます。 設定を変更してもよろしいですか？	設定ファイルが更新される項目を変更した場合に表示します。 『はい』 …変更内容を保持し、設定画面へ戻ります。 『いいえ』…変更内容を保持せず、設定画面へ戻ります。
記録設定	変更した内容は『最初の画面に戻る』ボタンを押して再起動してから反映されます。 設定を変更してもよろしいですか？	設定ファイルが更新される項目を変更した場合に表示します。 『はい』 …変更内容を保持し、設定画面へ戻ります。 『いいえ』…変更内容を保持せず、設定画面へ戻ります。
	記録設定を変更すると『スケジュール設定』が自動で変更されます。 再度、確認してください。	記録設定画面で設定変更した場合に表示します。 『確認』 …設定画面へ戻ります。
	記録サイズを変更すると登録している全カメラの最大記録レートが半分になります。 設定を変更してもよろしいですか？	全カメラの記録サイズが同じ状態から SXVGA、VGA 混在に変更した場合に表示します。 『はい』 …設定変更し、全カメラの最大記録レートが 1/2 になります。 『いいえ』…設定画面へ戻ります。
スケジュール設定	変更した内容は『最初の画面に戻る』ボタンを押して再起動してから反映されます。 設定を変更してもよろしいですか？	設定ファイルが更新される項目を変更した場合に表示します。 『はい』 …変更内容を保持し、設定画面へ戻ります。 『いいえ』…変更内容を保持せず、設定画面へ戻ります。
アラーム設定	変更した内容は『最初の画面に戻る』ボタンを押して再起動してから反映されます。 設定を変更してもよろしいですか？	設定ファイルが更新される項目を変更した場合に表示します。 『はい』 …変更内容を保持し、設定画面へ戻ります。 『いいえ』…変更内容を保持せず、設定画面へ戻ります。
デバイス設定	映像記録を停止する必要があります。 停止してもよろしいですか？	記録データの復旧を実行時、デバイス設定変更時に表示します。 『はい』 …記録停止して処理を実行します。 『いいえ』…設定画面へ戻ります。
	○○(マスター/バックアップ/ミラーリング)用デバイスとして使用されています。 初期化してから登録してもよろしいですか？	指定した種別と異なる種別で初期化されていた場合に表示します。 『はい』 …初期化実施後、デバイス登録を行います。 『いいえ』…設定画面へ戻ります。
	映像記録を停止すると再起動するまで記録を開始できません。 記録を停止してもよろしいですか？	『記録停止』を行う時に表示します。 『はい』 …記録を停止します。 『いいえ』…設定画面に戻ります
	デバイスを初期化すると記録映像が削除されます。 初期化してもよろしいですか？	デバイスの初期化時に表示します。 『はい』 …デバイスの初期化を行います。 『いいえ』…設定画面に戻ります。
	登録している全カメラの最大記録レートが半分になります。 よろしいですか？	増設 HDD ユニットを登録したときに、記録レート設定の変更が必要な場合に表示します。 『はい』 …記録レート設定が半分になります。 『いいえ』…設定画面に戻ります。
	『記録設定』、『スケジュール設定』が自動で更新されます。 再度、確認してください。	記録設定、スケジュール設定を自動で変更した場合に表示します。 『確認』 …設定画面に戻ります。
	縦続接続されている上位デバイスを登録削除するため、下位デバイスも登録削除されます。よろしいですか？	縦続接続（カスケード接続）されている上位デバイスを登録解除しようとした場合に表示されます。 『はい』 …登録解除を行います。 『いいえ』…設定画面に戻ります。
	全てのマスター/ミラーリングデバイスを登録解除するとデータの記録が行なえません。よろしいですか？	登録されている全デバイスを登録解除しようとした場合に表示されます。。 『はい』 …登録解除を行います。 『いいえ』…設定画面に戻ります。

項目	メッセージ	説明・対応
デバイス設定	縦続接続されている上位デバイスを登録削除するため、下位デバイスも登録削除されます。 また、全てのマスター/ミラーリングデバイスを登録解除するとデータの記録が行なえません。よろしいですか？	カスケード接続されている上位デバイスを登録解除すると、全デバイスが登録解除されることになる場合に表示されます。 『はい』　…登録解除を行います。 『いいえ』…設定画面に戻ります。
	縦続接続されている上位デバイスを取外すため、下位デバイスも取外されます。よろしいですか？	カスケード接続されている上位デバイスを取外す場合に表示されます。 『はい』　…登録解除を行います。 『いいえ』…設定画面に戻ります。
パスワード設定	変更した内容は『最初の画面に戻る』ボタンを押して再起動してから反映されます。 設定を変更してもよろしいですか？	設定ファイルが更新される項目を変更した場合に表示されます。 『はい』　…変更内容を保持し、設定画面へ戻ります。 『いいえ』…変更内容を保持せず、設定画面へ戻ります。
	変更した内容は『最初の画面に戻る』ボタンを押して再起動してから反映されます。 入力したパスワードに変更してもよろしいですか？	パスワード変更時に表示します。 『はい』　…入力されたパスワードに変更します。 『いいえ』…変更内容を保持せず、設定画面へ戻ります。
ネットワーク設定	変更した内容は『最初の画面に戻る』ボタンを押して再起動してから反映されます。 設定を変更してもよろしいですか？	設定ファイルが更新される項目を変更した場合に表示されます。 『はい』　…入力されたパスワードに変更します。 『いいえ』…変更内容を保持せず、設定画面へ戻ります。
	ネットワーク設定を変更すると装置が再起動されます。 設定を変更してもよろしいですか？	ネットワーク設定時に表示されます。 『はい』　…ネットワーク設定を実行します。 『いいえ』…設定画面へ戻ります。
	「DIGITAL MELOOK」のモーションディテクトを使用している場合は「DIGITAL MELOOK」のモーションディテクト通知先 IP アドレスを変更してください。	ネットワーク設定に成功した場合に表示します。 『確認』 …設定画面へ戻ります。
静止画保存	静止画を保存しました。 コピーデバイスを取外しますか？	静止画保存が完了した場合に表示します。 『はい』　…USB メモリの取外しを行います。 『いいえ』…USB メモリの取外しを行いません。
	既に同一ファイルが存在します。 上書きしますか？	指定したデバイスに同一ファイルがある場合に表示します。 『はい』　…上書き保存します。 『いいえ』…デバイス指定ダイアログに戻ります。
簡易ビューワ	同一ファイル名が存在します。 上書きしてもよろしいですか？	同一名のファイルが既に存在しています。 上書き保存する場合は、『はい』ボタンをクリックしてください。 ファイル名を変更してから保存する場合は、『いいえ』ボタンをクリックしてください。
	終了します。 よろしいですか？	アプリケーションを終了しようとしました。 終了する場合は、『はい』ボタンをクリックしてください。 終了しない場合は、『いいえ』ボタンをクリックしてください。
遠隔操作機能	変更した内容は、ログオフ・ログインすることで反映されます。 設定を変更してもよろしいですか？	設定ファイルが更新される項目を変更した場合に表示される。 『はい』　…変更内容を設定ファイルに書込み。 『いいえ』…設定画面へ戻る。
	ログオフしてもよろしいですか？	制御切替パネルのログオフボタンを押した場合に表示される。 『はい』　…アプリケーションを終了する。 『いいえ』…通常画面へ戻る。

14.エラーメッセージ

メッセージ	説 明	対 応
起動時		
前回設定で起動できません。 シャットダウンします。	バックアップ情報に差し替えてシステムの起動を試みましたが失敗した場合に表示します。	『確認』ボタンを押して、システムをシャットダウンし、再度電源投入を試みてください。 同様の症状が続くようでしたら、電源を切って、サービスまでお申し付けください。
H/W エラーが発生しました。 アプリケーションが動作できません。	ハードウェア(FAN 異常、制御ボードなど)の異常を検知したため、システムの起動に失敗した場合に表示します。	メッセージ表示約 10 秒後にシステムの再起動を行います。 同様の症状が続くようでしたら、電源を切って、サービスまでお申し付けください。
アプリケーションエラーが発生しました。 アプリケーションが動作できません。	プログラムの初期化や動作異常を検知したため、システムの起動に失敗した場合に表示します。	メッセージ表示約 10 秒後にシステムの再起動を行います。 USB メモリなどが挿入されている場合、初回起動に失敗する場合があります。USB メモリを抜いた状態で起動を試みてください。 同様の症状が続くようでしたら、電源を切って、サービスまでお申し付けください。
コピー時		
パスワードを入力してください。	パスワードが未入力であった場合に表示します。	『確認』ボタンを押して、パスワード入力してください。
パスワードが一致していません。 パスワードを両方のテキストボックスに入力してください。	パスワードが一致していなかった場合に表示します。	『確認』ボタンを押して、パスワード入力し直してください。
時刻指定が不正です。 もう一度設定してください。	コピーの開始時刻と終了時刻が逆転している場合に表示します。	開始時間、終了時間があっているか確認し、時刻指定を再入力してください。
コピーデバイスが登録されていないかメディアが挿入されていません。 コピーの準備をしてから再度実行してください。	コピーデバイスが 1 つも無い場合に表示します。	コピーデバイスを接続後、再度コピー設定してください。
指定したデバイスの残容量が足りません。	コピーデバイスの残容量が少ない場合に表示します。	時刻の範囲指定を見直しするか、コピーデバイスの不要なデータを消去する。もしくは新しいデバイスを指定してください。
コピーできません。 入力情報または Web 接続状態を確認してください。	指定したカメラが記録していないの状態の場合または遠隔再生中の場合にに表示します。	指定したカメラが間違っていないか、遠隔操作中でないかを確認し再度コピーしてください。
コピーデバイスが初期化されていません。 コピーの準備をしてから再度実行してください。	CD/DVD が UDF 以外のフォーマットで初期化されている場合に表示します。	CD/DVD をフォーマットしてから再度実行してください。
コピーに失敗しました。 コピーデバイスを取外しますか？ コピー完了時刻は、YYYY/MM/DD hh:mm:ss です。	USB メモリへのコピー中に異常が発生した場合に表示します。	USB メモリの取外しを行なう場合は『はい』ボタンを押します。 USB メモリの取外しを行わない場合は『いいえ』ボタンを押します。
コピーに失敗しました。 コピー完了時刻は、YYYY/MM/ DD hh:mm:ss です。	CD/DVD へのコピー中に異常が発生した場合に表示します。	『確認』ボタンを押し、再度コピー設定をしてください。
コピーに失敗しました。 コピーデバイスを取外しますか？ コピーデータはありません。	USB メモリへのコピー中に異常が発生した場合(データをコピーしなかった場合)に表示します。	USB メモリの取外しを行なう場合は『はい』ボタンを押します。 USB メモリの取外しを行わない場合は『いいえ』ボタンを押します。
コピーに失敗しました。 コピーデータはありません。	CD/DVD へのコピー中に異常が発生した場合(データをコピーしなかった場合)に表示します。	『確認』ボタンを押し、CD/DVD に異常がないか確認し、再度コピー設定してください。
コピー準備に失敗しました。	コピーの前準備に失敗した場合に表示します。	CD/DVD に異常がないか確認し、再度コピー設定してください。
コピーに失敗しました。 電源ボタンを押して再起動してください。	コピー中に異常が発生した場合に表示します。	電源ボタンを押して、再起動してください。
スケジュール設定時		
過去日付は登録できません。 再度、設定してください。	特定日登録時に指定日が過去であるときに表示されます。	『確認』ボタンを押して、年月日を確認後、再度設定してください。
既に登録されています。 異なる特定日を指定してください。	特定日追加で既に登録されている年月日を追加しようとした際に表示します。	『確認』ボタンを押して、年月日を確認後、再度設定してください。

メッセージ	説 明	対 応
スケジュール設定時		
指定年が範囲外です。 2008 年から 2037 年の間で指定してください。	時刻指定で 2008～2037 以外の年を指定した際に表示します。	『確認』ボタンを押して、指定年を 2008 年～2037 年の範囲内で設定してください。
指定日が選択されていません。 再度、設定してください。	カレンダーの日時を指定しない状態で設定した際に表示します。 『確定』… 設定画面へ戻る	『確認』ボタンを押して、年月日を指定してください。
映像表示設定時		
同一ページに同一カメラを割付けることはできません。 もう一度設定してください。	映像表示設定の分割画面でのページ設定において、同一ページに同一カメラを割り付けて、『設定』ボタンをクリックした場合に表示します。	『確認』ボタンを押して、カメラ割付を再度設定しなおしてください。
パスワード設定時		
パスワードが一致していません。 指定したレベルのパスワードを入力してください。	現在のパスワード入力で入力した値が現在のパスワードと異なる場合に表示します。	『確認』ボタンを押して、再度パスワード入力してください。
入力したパスワードは既に使用されています。 異なるパスワードを入力してください。	入力したパスワードが別レベルのパスワードとして入力されている場合に表示します。	『確認』ボタンを押して、再度パスワード入力してください。
パスワードの設定に失敗しました。 再度、実行してください。	パスワード設定に失敗した場合に表示します。	『確認』ボタンを押して、パスワード入力してください。
パスワードを入力してください。	パスワードが未入力であった場合に表示します。	『確認』ボタンを押して、パスワード入力してください。
パスワードが一致していません。 パスワードを両方のテキストボックスに入力してください。	パスワードが一致していなかった場合に表示します。	『確認』ボタンを押して、パスワード入力してください。
アラーム設定時		
指定したカメラは既に登録されています。 再度、設定してください。	連動カメラに既に登録されているカメラを追加しようとした際に表示します。 『確認』… 設定画面へ戻る。	『確認』ボタンを押して、カメラ設定確認し再度設定してください。
デバイス設定時		
デバイスの登録解除に失敗しました。 再度、実行してください。	デバイスの登録解除に失敗した場合に表示します。	『確認』ボタンを押して、再度設定してください。
デバイスの登録に失敗しました。 再度、実行してください。	デバイスの登録に失敗した場合に表示します。	『確認』ボタン押して、再度設定してください。
デバイスの初期化に失敗しました。 再度、実行してください。	デバイスの初期化に失敗した場合に表示します。	『確認』ボタン押して、再度設定します。
デバイスの取外しに失敗しました。 再度、実行してください。	デバイスの取外しに失敗した場合に表示します。	『確認』ボタンを押して、再度設定します。
時刻設定時		
時刻の設定に失敗しました。 再度、実行してください。	時刻の設定に失敗した場合に表示します。 『確認』… 設定画面へ戻る。	『確認』ボタンを押して、再度設定します。
指定年が範囲外です。 2008 年から 2037 年の間で指定してください。	時刻指定で 2008～2037 以外の年を指定した際に表示します。	『確認』ボタンを押して、指定年を 2008 年～2037 年の範囲内で設定してください。
指定日が選択されていません。 再度、設定してください。	カレンダーの日時を指定しない状態で設定した際に表示します。	『確認』ボタンを押して、年月日を指定してください。
カメラ詳細設定時		
画質設定情報の取得に失敗しました。	カメラ詳細設定の画質設定情報取得に失敗した場合に表示します。	『確認』ボタンを押して、再度設定してください。
モーションディテクト情報の取得に失敗しました。	カメラ詳細設定のモーションディテクト情報取得に失敗した場合に表示します。	『確認』ボタンを押して、再度設定してください。
カメラへの登録に失敗しました。	カメラへの登録に失敗した場合に表示します。	『確認』ボタンを押して、再度設定してください。
カメラの初期化に失敗しました。	カメラの初期化に失敗した場合に表示します。	『確認』ボタンを押して、再度設定してください。
静止画保存時		
静止画保存用のデバイスが設定されていません。 静止画保存用の USB メモリを接続してください。	USB メモリが 1 つも無い場合に表示されます。	USB メモリ接続後、再度静止画保存を行なってください。

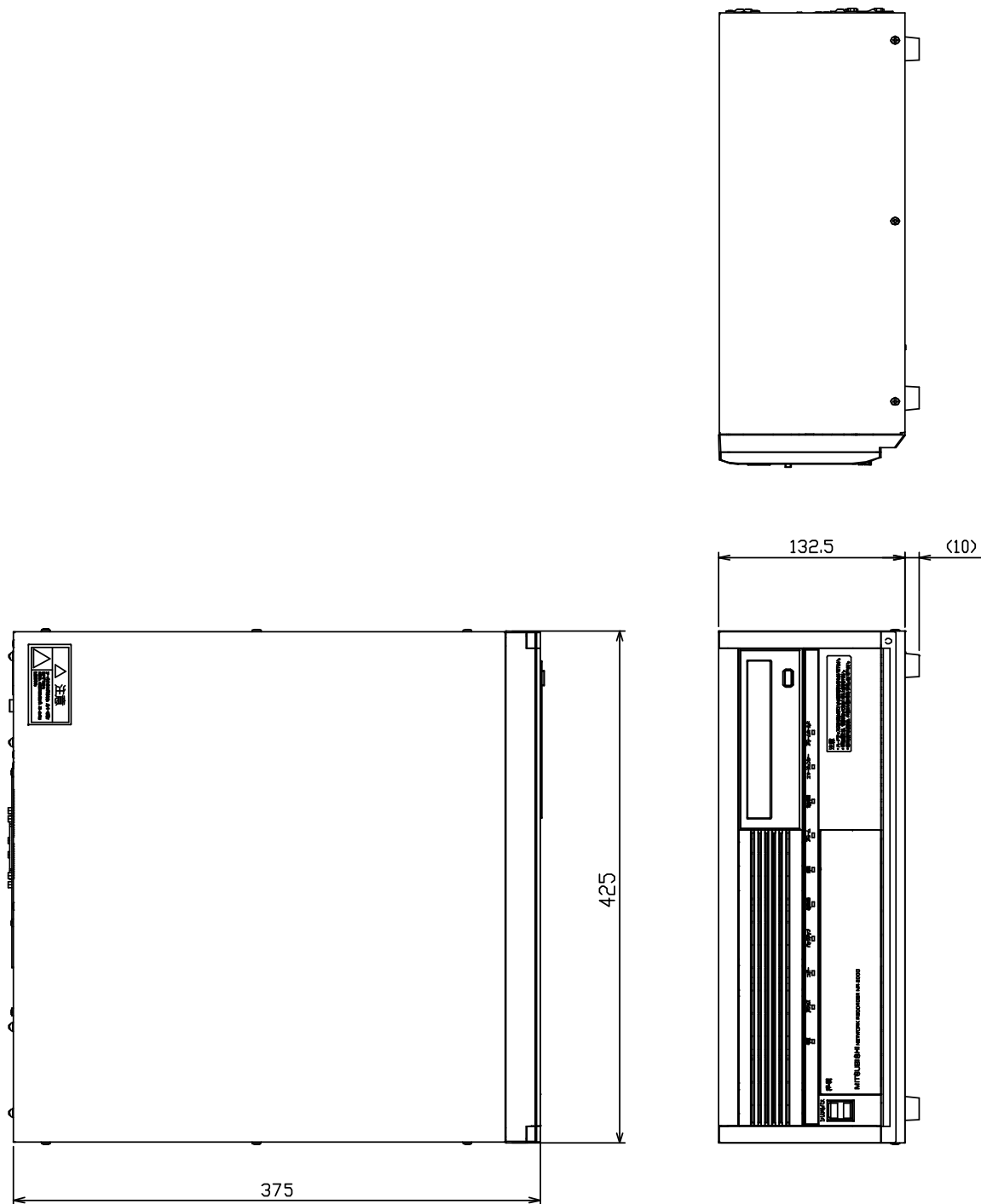
メッセージ	説　明	対　応
静止画保存時		
静止画保存を中止しました。 コピーデバイスを取外しますか？	静止画保存を中止した場合に表示されます。	USB メモリの取外しを行う場合は『はい』ボタンを押します。 USB メモリの取外しを行わない場合は『いいえ』ボタンを押します。
簡易ビューワ		
データが壊れている為再生できませんでした。	①再生画像ファイルの全てまたは一部が存在しない可能性があります。	再生しようとしているデータが正しいか再度確認してください。
	②再生データが壊れている場合、簡易ビューワが終了することがあります。	簡易ビューワを再起動し、エラー発生後の時刻に進めて再生してください。
既に起動されています。	本アプリケーション動作中に再度、起動しようとしました。	本アプリケーションを複数起動することはできません。 起動中のアプリケーションを一旦終了してください。
同一ファイル名が存在します。 上書きしてもよろしいですか？	同一名のファイルが既に存在している可能性があります。	上書き保存する場合は、『はい』ボタンをクリックしてください。 ファイル名を変更してから保存する場合は、『いいえ』ボタンをクリックしてください。
静止画を保存することができませんでした。 保存先を確認してください。	ファイルオープンまたはデータの書き込みに失敗しました。	保存先のフォルダが書き込み禁止になっている可能性があります。 保存先を変更するか、保存先フォルダの属性を確認してください。
終了します。 よろしいですか？	アプリケーションを終了しようとしました。	終了する場合は、『はい』ボタンをクリックしてください。 終了しない場合は、『いいえ』ボタンをクリックしてください。
遠隔操作機能		
記録映像の制御に失敗しました。	記録映像の制御（再生、逆再生など）が失敗した場合に表示されます（応答エラー、応答タイムアウト時）。	レコーダー側に、当該カメラの記録映像がない場合などに発生します。カメラや再生日時を変更して、再度再生してください。
画像保存先ドライブの空き容量が不足しています。 空き容量不足のため画像の保存を停止します。	画像保存先ドライブの空き容量が不足した場合に表示されます。	HDD の容量を空けて、起動しなおしてください。
画像データの書込みに失敗しました。	画像データの書込みに失敗した場合などに表示されます。	『確認』…元の画面へ戻る
アプリケーションエラーが発生しました。 アプリケーションを終了します。	アプリの起動（初期化）処理に失敗した場合やアプリケーション内部で予期せぬエラー（内部バッファ確保エラーなど）が発生した場合に表示されます。（アプリ起動リトライ処理に失敗した場合に表示されます。）	ログインしなおしてください。
設定の変更に失敗しました。	設定ファイルの書込みなどに失敗した場合に表示されます。	『確認』…元の画面へ戻る
ブラウザが不正です。 InternetExplorer を使用してください。	InternetExplorer 以外のブラウザで接続した場合に表示されます。	InternetExplorer を使用して接続してください。
パスワードを入力してください。	パスワードを入力せず『確認』ボタンを押した場合に表示されます。	パスワードを入力してください。
パスワードが誤っています。 再度入力してください。	入力したパスワードが登録されているパスワードと一致しない場合に表示されます。	パスワードを確認し、ログインしなおしてください。
ログインできません。 しばらく待ってから再度ログインしてください。	すでに他の PC からログインしている場合や、ログアウト直後にログインした場合に発生します。	しばらく待ってから、再度ログインしなおしてください。

15.故障かなと思ったら

下記の点をもう一度お確かめください。お確かめの結果、なお異常のある場合は、機種名、接続構成、現象および発生時の状況を記録し、電源を切ってからサービスをお申しつけください。

症状	ここをお調べください。	参照頁
電源が入らない。 (電源ランプが消灯)	AC 電源コードはコンセントからはずれていませんか？	22 頁
	後面の MAIN スイッチが「OFF」になっていませんか？	17、26 頁
モニタに映像が出ない。	モニタやカメラが正しく接続されていますか？	19、20、24 頁
	選択されたカメラ番号にカメラ信号が入力されていますか？ 16 分割表示にして、確認してください。	19、69 頁
	モニタの AC 電源コードは接続されていますか？	モニタの取扱説明書を参照してください
	モニタ(SXGA)接続ケーブルが正しく接続されていますか？	19、20 頁
	モニタの電源は入っていますか？	モニタの取扱説明書を参照してください
	モニタの解像度は正しく設定されていますか？	モニタの取扱説明書を参照してください
モニタの映像が不鮮明である。	接続ケーブルの接続不良はありませんか？	19、20、26 頁
	カメラのピントは正しく調整されていますか？	カメラの取扱説明書を参照してください
記録ができない。	ライブ映像が表示されていますか？	28 頁
	各ケーブルが正しく接続されていますか？	19 頁
	記録設定は済んでいますか？	71 頁
リピート記録ができない。	「記録設定画面」でリピート記録を「しない」に設定していませんか？	71 頁
アラーム記録ができない。	記録容量がなくなっていませんか？	62、80 頁
	外部のセンサーなどが正しく接続されていますか？	19、23、91 頁
	アラーム設定が済んでいますか？	80 頁
再生ができない。	記録が設定されているカメラを選択して再生していますか？	62、71 頁
本レコーダーを通してカメラが制御できない。	制御するカメラは正しく接続されていますか？	20 頁
	各カメラの設定は済んでいますか？	カメラの取扱説明書を参照してください
DVD ドライブからメディアが取り出せない。	本体前面の『開閉』ボタンを押してください。 デバイス設定画面から『取出し』ボタンを押してください。 本体前面のイジェクトホールをクリップなどで押してください。	19 頁、80 頁
電源ランプは点灯しているが、モニタは黒画面のままである。	本体前面部の電源ボタンを押して電源を落としてください。 電源ランプが消灯してから 5 秒以上間隔をあけて、再度本体前面部の電源ボタンを押して電源を入れ直してください。	20 頁
遠隔操作 PC からカメラが制御できない。	制御するカメラは正しく接続されていますか？	20 頁
	遠隔操作 PC の仕様、設定はあっていますか？	120 頁

16.外形図

NR-2000 の外形図を下図に示します。NR-2010/2020 とも外形は同一です。

17.お手入れのしかた

(1) 装置後面の MAIN スイッチを切ってからお手入れをしてください。
(2) ケースの清掃は乾いたやわらかい布(ネル布またはガーゼ)でからぶきしてください。
(3) 汚れがひどいときは、水で十分うすめた石けん(中性洗剤)水を少しつけ、よく絞った布で拭きとった後、乾いた布で拭いてください。

18.用語集

アイソレーション端子
フォトカプラを用いた出力端子のこと。
電気的に絶縁されている。

圧縮率
記録データの圧縮前後の容量の比率のこと。
圧縮率を上げると、画質が低下し、記憶容量が低くなります。

エマージェンシー記録
本レコーダーに接続した外部スイッチを使用して、緊急事態が発生したときなどに優先的に記録を行う機能です。

動き検知
映像の中の動きを検知する機能のこと。動いているものがある時だけ録画開始の信号を送ることで記録容量を減らせます。モーションディテクトとも呼ばれる。

オートチルト
カメラをこのモードに設定すると、自動的にあらかじめ設定された 2 点間を垂直に回転します。この機能が使用できるかどうかは、接続したカメラの仕様によります。

オートパン
カメラをこのモードに設定すると、自動的にあらかじめ設定された 2 点間を水平に回転します。この機能が使用できるかどうかは、接続したカメラの仕様によります。

プリアラーム記録
プリアラーム記録設定を実施すると、アラーム信号入力以前の時刻から記録を開始することができます。

ミラーリング
データを記録する場合、2 台以上のディスクを用意し同じデータを書き込むこと。

CALL OUT
単独の出力端子で、システムに問題が発生したり、状態の情報を持っているときに信号を出力します。

MODE OUT
接触出力端子で、本レコーダーの動作モードを出力します。この端子の状態は、通信で管理することができます。

Brouillard(ブルイヤール)
三菱電機が開発した、機器組込み用高性能暗号化アルゴリズム映像データの暗号化などをリアルタイムに高速処理することができます。

SXGA
画面解像度のこと。1280×1024 サイズ。

SXVGA
画面解像度のこと。1280×960 サイズ。

VGA
画面解像度のこと。640×480 サイズ。

USB(ユニバーサルシリアルバス)
プラグ&プレイに対応しているシリアル通信の規格で、一本のケーブルで構成され、PC の周辺機器の接続用として便利で、ハブを用いて、ポートを増やすことも可能です。

19.アフターサービス

1　本保証書は、販売店が所定事項を記入後お渡ししますので、お受け取りの際は「保証期間」、「販売会社」をご確認の上、大切に保管してください。

2　無償修理規定

（1） 保証期間内(お買い上げ日より1年間)に正常な使用状態において万一故障した場合には無料で修理いたします。

（2） 保証期間中でも次の場合には有償修理になります。

① ご使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。

② 火災、地震、水害、塩害、異常電圧、指定外の使用電源、その他天災地変などによる故障及び損傷。

③ 特殊環境(極度の湿気、薬品のガス、公害、塵埃など)による故障及び損傷。

④ 本書のご提示がない場合。

⑤ 本書の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合。

⑥ 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。
（THIS WARRANTY IS VALID ONLY IN JAPAN.）

3　補修用性能部品の保有期間
補修用性能部品の最低保有期間は、生産終了後7年です。
（性能部品とは製品の機能を維持するために不可欠な部品です。）
詳しくはお求めの販売店にご相談してください。

【索引】

保　証　書

形名	NR-2000/2010/2020	製造番号	
お客様	お客様 様		
	ご住所　〒 TEL		
保証期間	年　月　日から 1年間　※	※販売店住所・店名 印または サイン TEL　(　)	

お問い合わせは、保証書に記載の販売店へどうぞ

この製品は厳密な品質管理のもとで製品検査に合格したものです。お客様の正常な使用状態において万一故障した場合には、保証規定に基づきサービスセンターが修理いたしますので本書を提示してください。
本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
保証書にご記入いただいた個人情報は、保障期間内のサービス活動及びその後の安全点検のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

三菱電機株式会社
コミュニケーション・ネットワーク製作所
郡山工場　TEL(024)932-1220(大代表)
〒963-8586 福島県郡山市栄町 2 番 25 号